

第 5 次枚方市総合計画

第 2 期 実行計画

< 令和 2 年度～令和 5 年度 >

枚方市

目 次

～はじめに～	1
基本目標 安全で利便性の高いまち	
（施策目標1）災害に対する備えができているまち	4
（施策目標2）災害時に、迅速・的確に対応できるまち	8
（施策目標3）暮らしに身近な安全が確保されたまち	10
（施策目標4）安全で快適な交通環境が整うまち	12
（施策目標5）快適で暮らしやすい環境を備えたまち	14
基本目標 健やかに、生きがいを持ってくらせるまち	
（施策目標6）誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち	16
（施策目標7）公衆衛生や健康危機管理が充実したまち	21
（施策目標8）安心して適切な医療が受けられるまち	23
（施策目標9）高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち	24
（施策目標10）障害者が自立し、社会参加ができるまち	27
（施策目標11）すべての人がお互いの人権を尊重しあうまち	31
（施策目標12）男女がともに参画し、個性を発揮できるまち	34
（施策目標13）平和の大切さを後世に伝えるまち	35
基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち	
（施策目標14）安心して妊娠・出産できる環境が整うまち	36
（施策目標15）子どもたちが健やかに育つことができるまち	38
（施策目標16）子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	45
（施策目標17）誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち	51
基本目標 地域資源を生かし、人々が集い活力みなぎるまち	
（施策目標18）人々が集い賑わい、魅力あふれる中心市街地のあるまち	56
（施策目標19）地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち	57
（施策目標20）いきいきと働くことのできるまち	61
（施策目標21）地域産業が活発に展開されるまち	63
（施策目標22）農を守り、生かすまち	66
基本目標 自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち	
（施策目標23）豊かな自然環境を大切にするまち	67
（施策目標24）まちなかのみどりを育てるまち	68
（施策目標25）ごみを減らし、資源の循環が進むまち	70
（施策目標26）安全で良好な生活環境が確保されたまち	71
（施策目標27）地球温暖化対策に取り組むまち	73
（施策目標28）美しく魅力あるまち並みが育まれるまち	74
計画の推進に向けた基盤づくり	75
施策指標一覧	80
枚方市SDGs 相対表	97

～ はじめに ～

実行計画について

実行計画は、第5次枚方市総合計画基本計画を推進するため、基本計画に掲げる重点施策などを踏まえながら、4年間で実施していく具体的な実現計画です。

～ 第2期実行計画＜令和2年度～令和5年度＞ ～

第2期実行計画は、計画期間を令和2年度から令和5年度の4年間とし、総合計画の基本計画に掲げる防災、健康、子育て、都市基盤、環境などのさまざまな部門にわたる28の施策目標や、基本計画の推進に向けた基盤づくりとなる4つの計画推進を具体化していくための実行計画を構成する事業を定めています。第1期実行計画と比べ、実行計画ごとの予算や評価の見える化に主眼をおき、構成する事業について、常に見直しを行うこととしています。

※第5次枚方市総合計画について

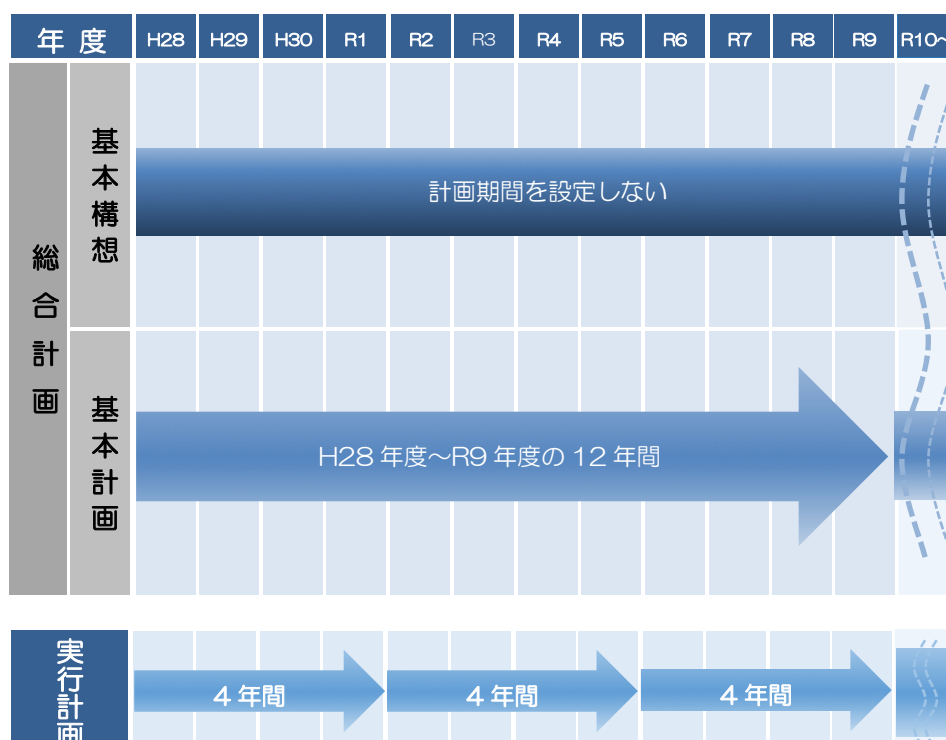
基本構想

平成28年度を計画始期として、計画期間を設定せず、長期的な視点に立って、本市のめざすまちの姿を「持続的に発展し、一人ひとりが輝くまち 枚方」とし、その実現に向けて5つの基本目標等を定めています。

基本計画

基本構想の具体化を図るため、平成28年度から令和9年度までの12年間において重点的に進める施策を示すとともに、広く各分野における取り組みなどを定めています。また、部門ごとに、市民の評価により進捗を測る主観的指標と客観的な数値により進捗を測る客観的指標を組み合わせた施策指標を設定しています。

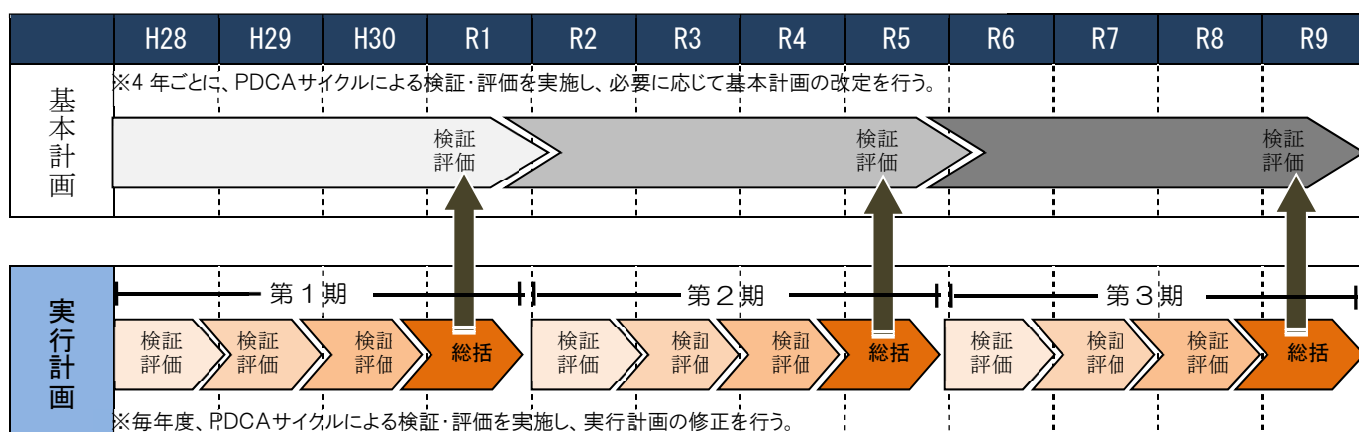
○計画の構成と期間



実行計画の進行管理について

実行計画については、実行計画を構成する事務事業やその指標の実績を活用することで、毎年度、検証・評価しながら進行管理を行い、評価結果や社会状況等を踏まえて、必要に応じて実行計画の見直しを行います。なお、検証・評価については、有識者などの外部評価員や市民により、計画が適切な内部評価をもとに効率的・効果的に推進しているかなどについて意見をいただきながら行います。また、実行計画 4 年間の総括を基に基本計画の検証・評価を行い、必要に応じて基本計画の改定を行います。

○基本計画と実行計画の検証・評価、推進の流れ



【実行計画シートの見方】

当該実行計画の、第5次枚方市総合計画基本計画における位置づけ(28の施策目標と4つの計画推進)や枚方市まち・ひと・しごと創生総合戦略における基本目標・施策目標の位置づけのほか、市長公約との関係などを記載しています。

市長公約とは所信表明及び市政運営方針に掲げているものです。

実行計画名称	1-3	水施策の推進			
総合計画体系	基本目標等	安全で、利便性の高いまち			市長公約との関係
	施策目標等	1 災害に対する備えができています			○
と総合戦略関係	基本目標				
	施策目標				

取り組みの概要	上下水道施設整備や既存施設の改良・耐震化及び汚水管の老朽化対策などに計画的に取り組む。
---------	---

進捗を測る主な指標

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
各年度における雨水計画進捗率	目標値	100	100	100	100	%
	実績	10				
指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
下水道総合地震対策計画に位置付けた施設の耐震化率	目標値	0	33	67	100	%
	実績	0				
指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
基幹管路の耐震化	目標値	32	32.3	32.8	32.9	%
	実績	33.3				

当該実行計画の、進捗を測る主な指標については、構成する事務事業のアウトプット指標またはアウトカム指標を記載しています。今後、より有効な指標が設定できる場合は、指標を変更します。なお、基本計画については施策目標の実現に向けた取り組みの進捗・成果を測る指標(施策指標(別紙))で進捗を管理しています。

実行計画を構成する事務事業

公共下水道(雨水)整備事業	10年確率降雨に対応した雨水計画を基本に、雨水幹線等の根幹施設の整備やポンプ場の老朽化対策を進め、浸水被害の軽減を図る。	担当課	雨水整備課
公共下水道(汚水)改良事業	下水道施設の的確な改築、既存施設の耐震化を図る。	当該実行計画を構成する事務事業の目的や概要を記載しています。詳細については、各事務事業実績測定調書にてご確認ください。	
基幹管路整備事業	安全で安心な水道水を安定的に供給する。	担当課	上水道工務課
河川改良事業	準用河川の流水機能を確保し、災害等から市民の財産を守る。	担当課	道路河川整備課
雨天時浸入水対策事業	流量活用	当該実行計画の令和2年度の実績に基づく評価を記載しています。 A・・・効果的である B・・・おおむね効果的である C・・・改善に向けた検討を要する D・・・課題の検証を要する E・・・見直しを要する ・・・新型コロナウイルスの影響により、事業の判定が難しいもの	
令和2年度事業費(決算ベース)			
事業費総額	711,89		

実績と評価

実績	各年度における雨水計画進捗率は、楠葉雨水貯留管整備工事においてシールドマシンが損傷し、掘進作業が中断したため、目標値は未達となった。 一方で、基幹管路の耐震化は、発注時期の平準化等に取り組んだため、予定通り事業の発注を行うことができ、目標値を達成した。	評価	B
----	---	----	---

実行計画シート

実行計画 名称		1－1	防災体制の充実			
総合計 画体 系	基本目標等		安全で、利便性の高いまち		市長公約との関係	○
	施策目標等		1 災害に対する備えができていますまち			
との総 合関 係略	基本目標					
	施策目標					

取り組みの概要	地域が担う「共助」の推進に向けた取り組みの他、事業者・関係団体との災害時応援・連携協定や情報収集手段について専門機関と連携して検討するなど、様々な主体と協力関係を構築しながら、地域の防災体制の充実を図る。
---------	--

進捗を測る主な指標

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
各校区の自主防災訓練の参加者数	目標値	9,000	9,000	9,500	9,500	人
	実績	714				
指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
地域防災推進員育成研修会修了者数(累計)	目標値	950	1,040	1,130	1,220	人
	実績	－				
指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
消防団員の訓練や啓発活動の従事人数	目標値	7,000	7,100	7,200	7,300	人
	実績	1,014				
指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
避難支援者設定人数	目標値	420	420	420	420	人
	実績	494				

実行計画を構成する事務事業

自主防災組織育成事業	大規模災害等から被害を最小限に食い止めるためには、地域住民自らの適切な防災活動が求められるため、自主防災組織が継続的かつ効果的な地域防災活動を行えるよう組織の育成を図り、地域防災力の向上を目指す。	担当課	危機管理室
地域防災推進員育成事業	地域住民一人ひとりの防災対策の重要性を地域全体に普及する役割を担い、いざという時に、自助・共助の精神で人命救助や応急消火等を行える人材を育成し、継続的かつ効果的に地域防災力を向上させる。	担当課	危機管理室
消防団運営事務	常備消防に協力して、市民の生命・身体及び財産を火災等の災害から守ることを使命として活動する消防団の円滑な運営及び消防団車両の保守・点検・修理等の維持管理を行う。	担当課	危機管理室
災害時要援護者避難支援事業	災害が発生した場合、自力で避難指定場所まで避難することが困難な高齢者や障害者の逃げ遅れの防止を行う。	担当課	健康福祉総務課

令和2年度事業費(決算ベース)

事業費総額	86,812千円
-------	----------

実績と評価

実績	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、地域防災推進員育成研修会はその全てが中止され、目標値は未達となった。 自主防災訓練や消防団員の訓練についても、その多くが中止となり目標値は未達であったが、それぞれ、新型コロナウイルス感染症に対応した避難所開設・運営訓練又は緊急事態宣言下における消防団車両での外出自粛啓発活動など、これに代わる取り組みが実施された。 避難支援者設定人数は目標値を達成したものの、すべての災害時要援護者への避難支援者設定に向け、検証が必要であるとともに、新たに市町村に名簿作成が義務付けられた避難行動要支援者との整合に向けた調整が必要である。	評価	A
----	--	----	---

実行計画シート

実行計画 名称		1－2	防災対策の推進			
総合計 画体 系	基本目標等	安全で、利便性の高いまち			市長公約との関係	○
	施策目標等	1 災害に対する備えができているまち				
総 と の 合 関 係 略	基本目標					
	施策目標					

取り組みの概要	住宅耐震化施策のより効果的な展開を図るとともに、都市インフラの的確な維持管理、更新を行うなど、災害発生時の被害軽減に向けた取り組みを進める。
---------	--

進捗を測る主な指標

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
枚方市備蓄目標量(重要物資備蓄品の備蓄量)達成率	目標値	100	100	100	100	%
	実績	127.1				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
耐震補助制度を活用し改修・除却された木造住宅等の件数(累計)	目標値	700	800	900	1,000	戸
	実績	687				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
橋梁点検を終了した個所数	目標値	30	141	85	2	橋
	実績	30				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
配水場の耐震化率	目標値	59	59	71	71	%
	実績	59				

実行計画を構成する事務事業

防災対策事業	自然災害の発生に備えた訓練の実施、備蓄品の管理。災害時の警戒・対策本部の設置、耐震性貯水槽及び防火水槽の維持管理を行い市民生活の安全・安心の確保を図る。	担当課	危機管理室
消防施設等整備補助事業	消防施設等の整備等を行い、もって市民の生命・財産を守る。	担当課	危機管理室
土砂災害特別警戒区域内既存不適格住宅への支援事業	土砂災害による被害の軽減を図るため、国への働きかけや、国及び大阪府と連携した支援及び土砂災害特別警戒区域等の周知を行う。	担当課	土木政策課
住宅・建築物耐震改修促進事業	住宅・建築物の所有者に対する耐震診断補助および木造住宅の所有者に対する耐震改修補助等を通じ、住宅・建築物の耐震化の促進を図るとともに、枚方市住宅・建築物耐震改修促進計画(第Ⅱ期)の進捗管理を行う。	担当課	住宅まちづくり課
舗装長寿命計画事業	道路施設全般のメンテナンスサイクル(点検・診断・措置・記録)を確立させ、又橋梁や舗装など長寿命化(個別計画)を運用していくことで、今後、老朽化が懸念される道路施設の維持補修等に係る財政負担の平準化を図るとともに、予防保全型管理による道路施設の長寿命化を図る。	担当課	みち・みどり室
橋梁長寿命化修繕計画事業	橋梁の管理手法として、従来の事後的な修繕及び架替えから計画的な補修、架替え等、予防的見地へ転換を図り、橋梁の長寿命化並びに橋梁の修繕及び架替えに係る費用の縮減を図るとともに、道路網の安全性、信頼性を確保する。	担当課	道路河川管理課
水道施設整備事業	市民の皆様に、安全で安心な水道水を安定的に供給するために、老朽化した水道施設の更新・改良及び耐震化を行う。	担当課	浄水課

令和2年度事業費(決算ベース)

事業費総額	679,303千円
-------	-----------

実績と評価

実績	枚方市備蓄目標量(重要物資備蓄品の備蓄量)達成率は、目標値を達成した。 耐震補助制度を活用し改修・除却された木造住宅等の件数(累計)は、目標件数よりやや下回っているものの、概ね想定通りの件数であった。 「橋梁長寿命化修繕計画」に基づく橋梁点検必要箇所について、計画に従い橋梁点検を完了し、目標値を達成した。 配水場の耐震化率は、鷹塚山配水場更新事業が完了し、目標値を達成した。 木造住宅等の耐震化については、補助内容や啓発方法を検討しながら、更に推進していく必要があるが、防災備蓄や都市インフラの維持管理は堅調で、災害発生時の被害軽減に向けた防災対策の推進は、概ね順調に進んでいる。	評価	A
----	---	----	---

実行計画シート

実行計画 名称		1－3	水施策の推進			
総合計 画体 系	基本目標等	安全で、利便性の高いまち			市長公約との関係	○
	施策目標等	1 災害に対する備えができているまち				
との 総合 関係 戦略	基本目標					
	施策目標					

取り組みの概要	上下水道施設整備や既存施設の改良・耐震化及び汚水管の老朽化対策などに計画的に取り組む。
---------	---

進捗を測る主な指標

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
各年度における雨水計画進捗率	目標値	100	100	100	100	%
	実績	10				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
下水道総合地震対策計画に位置付けた施設の耐震化率	目標値	0	33	67	100	%
	実績	0				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
基幹管路の耐震化	目標値	32	32.3	32.8	32.9	%
	実績	33.3				

実行計画を構成する事務事業

公共下水道（雨水）整備事業	10年確率降雨に対応した雨水計画を基本に、雨水幹線等の根幹施設の整備やポンプ場の老朽化対策を進め、浸水被害の軽減を図る。	担当課	雨水整備課
公共下水道（污水）改良事業	下水道施設の的確な改築、更新を行っていくとともに災害時における安全性の観点から既存施設の耐震化を図っていく。	担当課	污水整備課
基幹管路整備事業	安全で安心な水道水を安定的に供給する。	担当課	上水道工務課
河川改良事業	準用河川の流水機能を確保し、災害等から市民の財産を守る。	担当課	道路河川整備課
雨天時浸入水対策事業	流量調査等を実施し、雨天時浸入水箇所の特定制および対策を行う。また、既存施設を活用し一時貯留する手法の調査・研究を進める。	担当課	污水整備課

令和2年度事業費（決算ベース）

事業費総額	711,893千円
-------	-----------

実績と評価

実績	各年度における雨水計画進捗率は、楠葉雨水貯留管整備工事においてシールドマシンが損傷し、掘進作業が中断したため、目標値は未達となった。 一方で、基幹管路の耐震化は、発注時期の平準化等に取り組んだため、予定通り事業の発注を行うことができ、目標値を達成した。	評価	B
----	---	----	---

実行計画シート

実行計画 名称		2-1	災害時の応急処置活動の充実				
総合計 画体 系	基本目標等		安全で、利便性の高いまち			市長公約との関係	—
	施策目標等		2.災害時に、迅速・的確に対応できるまち				
との 総 合 関 係 略	基本目標						
	施策目標						

取り組みの概要	災害時に迅速な医療の応急措置が行えるよう、災害医療連携訓練の実施や医薬品の備蓄等を進める。
---------	---

進捗を測る主な指標

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
災害医療訓練の関係機関からの参加者数	目標値	30	30	30	30	人
	実績	—				

実行計画を構成する事務事業

災害医療対策関係事務	災害時における市民の生命や身体を保護するため、地域防災計画に基づく医療救護体制の充実を図る。 新型インフルエンザ等の発生に備え、体制を整備する。	担当課	健康福祉総務課
------------	---	-----	---------

令和2年度事業費（決算ベース）

事業費総額	688千円
-------	-------

実績と評価

実績	災害医療訓練の関係機関からの参加者数は、新型コロナウイルス感染症拡大により、訓練開催に至らなかったため、目標値は未達となった。	評価	—
----	---	----	---

実行計画シート

実行計画 名称		2-2	災害時の情報通信体制の整備			
総合計 画体 系	基本目標等		安全で、利便性の高いまち		市長公約との関係	○
	施策目標等		2.災害時に、迅速・的確に対応できるまち			
との 総 合 関 係 略	基本目標					
	施策目標					

取り組みの概要	災害時における避難勧告等の情報を迅速かつ正確に伝達するため、同報系防災行政無線やメールサービス等の情報通信手段による訓練の実施など非常時通信体制の強化を図る。
---------	---

進捗を測る主な指標

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
災害情報システム操作研修受講者累計数 (令和元年度より)	目標値	80	120	160	200	人
	実績	102				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
災害時に遅滞なく市民へ情報伝達できた割合(避難情報発令時における、エリアメール・緊急速報メールで遅滞なく伝達できた割合)	目標値	100	100	100	100	%
	実績	0				

実行計画を構成する事務事業

災害情報システム整備事業	平成24年度、平成25年度に発生した水害等における教訓を踏まえ、新たに災害情報システムを導入することで、市民(被災者)への電話対応・災害対応を迅速かつ効率的に行えるようにする。	担当課	危機管理室
地域安心安全情報ネットワーク事業	防災機器は、平常時には情報収集等に使用し、災害時には本市関係部局、防災関係機関及び市民に対して災害情報伝達手段として、また、被害状況を把握し災害対策の方針決定の手段として使用できるように維持管理を行う。	担当課	危機管理室

令和2年度事業費(決算ベース)

事業費総額	28,610千円
-------	----------

実績と評価

実績	災害情報システム操作研修受講者累計数は、災害対策対策本部事務局員を増員し、防災体制を充実させたため、目標値を達成した。 災害時に遅滞なく市民へ情報伝達できた割合は、避難情報の発令がなかったため、実績は無かったが、防災行政無線システムや気象情報システムの保守点検を適正に実施する等、速やかに市民に必要な情報を伝達できる体制の確保に努めた。	評価	B
----	---	----	---

実行計画シート

実行計画 名称		3-1	地域の防犯対策の充実				
総合計 画体 系	基本目標等		安全で、利便性の高いまち			市長公約との関係	○
	施策目標等		3.暮らしに身近な安全が確保されたまち				
との 合 関 係 略	基本目標						
	施策目標						

取り組みの概要	街頭犯罪の未然防止と犯罪発生時の迅速な対応等を目的として、防犯カメラの設置・運用及びその周知を行うとともに、住民の防犯意識の向上のための取り組みや、防犯に関する市民との情報の共有化を行う。
---------	--

進捗を測る主な指標

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
防犯カメラによる抑止効果を感じている防犯協議会支部の割合	目標値	80	80	80	80	%
	実績	97				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
青色防犯パトロールを実施する団体の増加数	目標値	1	1	1	1	団体
	実績	0				

実行計画を構成する事務事業

防犯カメラ設置事業	街頭犯罪の未然防止と犯罪発生時の迅速な対応等を目的とした防犯カメラの設置を促進することにより、地域における安全・安心を確保する。	担当課	危機管理室
地域青色防犯パトロール補助事業	市民の自主防犯活動の活性化及び防犯意識の向上を図り、子どもその他の市民が安心して暮らせるまちづくりを推進し、市民生活の安全・安心を確保する。	担当課	危機管理室
防犯対策事業	犯罪のない明るい社会を目指し、市民生活の安全・安心を確保する。	担当課	危機管理室

令和2年度事業費（決算ベース）

事業費総額	109,511千円
-------	-----------

実績と評価

実績	防犯カメラによる抑止効果を感じている防犯協議会支部の割合は目標値を達成しており、防犯カメラの設置が犯罪抑止に繋がっていると強く感じられている。もっとも、防犯カメラの設置が概ね地域全体に設置されていると感じている防犯協議会支部の割合は想定より低く、通学路における危険箇所等への設置は随時行ってきたが、まだ不十分であると感じられている。 青色防犯パトロールを実施する団体の増加数は、目標値未達となった。現在45の防犯協議会支部の中で、青色防犯パトロールを実施しているのは前年度と変わらず14支部にとどまり、実施地域拡大に向けた課題の検証が必要である。	評価	B
----	--	----	---

実行計画シート

実行計画 名称		3-2	安全な消費生活の推進				
総合計 画体 系	基本目標等		安全で、利便性の高いまち			市長公約との関係	○
	施策目標等		3.暮らしに身近な安全が確保されたまち				
との 合 関 係 略	基本目標						
	施策目標						

取り組みの概要	複雑化・多様化する消費者問題に対し消費者が的確な対応ができるよう、消費生活相談体制を充実するとともに、消費者教育・啓発に取り組む。
---------	---

進捗を測る主な指標

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
消費生活セミナー及び消費者教育講演会への参加者数(交付金事業分除く)	目標値	400	400	400	400	人
	実績	22				
指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
各種活動の参加者の満足度(アンケートで、「とてもわかりやすかった」「わかりやすかった」と回答した人の割合)	目標値	100	100	100	100	%
	実績	84				
指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
消費生活相談件数(一年間あたり)	目標値	3,000	3,000	3,000	3,000	件
	実績	3,414				

実行計画を構成する事務事業

消費者等教育啓発事業	消費者の自立を支援するため、消費生活に関する知識の普及及び情報の提供等市民に対する啓発活動を推進する。	担当課	消費生活センター
消費生活相談関係事業	商品及び役務に関し事業者と消費者との間に生じた苦情等を、専門的知見に基づいて適切かつ迅速に解決することにより、消費者の利益の擁護及び増進を図り、消費生活の安定及び向上を確保する。	担当課	消費生活センター

令和2年度事業費(決算ベース)

事業費総額	1,720千円
-------	---------

実績と評価

実績	消費生活セミナー及び消費者教育講演会への参加者数は、新型コロナウイルスの影響により人数制限をしたうえで、消費生活セミナーを1回実施するにとどまったため、目標値未達となった。参加者の満足度は、概ね良好であったものの、目標値を下回った。 一方で、消費生活相談件数は新型コロナウイルスに関連する相談が増加したことで、目標値を達成した。	評価	B
----	---	----	---

実行計画シート

実行計画 名称		4-1	道路などの整備の推進			
総合計 画体 系	基本目標等	安全で、利便性の高いまち			市長公約との関係	○
	施策目標等	4.安全で快適な交通環境が整うまち				
との 関 係 略	基本目標	3.産業の活性化と人々の交流・賑わいの創出によりまちの魅力を高める				
	施策目標	3-3.安全で快適な交通環境が整うまち				

取り組みの概要	都市計画道路等の整備を計画的に進めるとともに、新名神高速道路のアクセス道路となる淀川渡河橋(牧野高槻線)等の早期完成に向けた府や関係機関への働きかけや、周辺市道の改良に取り組む。
---------	---

進捗を測る主な指標

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
連続立体交差事業用地取得率	目標値	80	90	100	-	%
	実績	80				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
樟葉駅前ロータリー改良工事事業全体の進捗率	目標値	22	51	100	-	%
	実績	0				

実行計画を構成する事務事業

長尾杉線整備事業	国道307号の津田山手から杉1丁目の区間の渋滞解消と共に、第二京阪道路へのアクセスとして地域住民の利便性の向上を図る。	担当課	道路河川整備課
御殿山小倉線整備事業	京阪御殿山駅と小倉東町地区を結ぶ地区内幹線道路であり、中部地域の交通網の強化を図る。	担当課	道路河川整備課
中振交野線整備事業	南部地域における東西方向の幹線道路として整備することにより、交通網の強化を図る。	担当課	道路河川整備課
牧野長尾線整備事業	市域北部の東西幹線道路として整備することにより、府道枚方高槻線、JR長尾駅周辺の交通渋滞の緩和を図ると共に、交通網の強化を図る。	担当課	道路河川整備課
北山通線整備事業	大阪府が主体となって進めている内里高野道線整備と連携して整備を行うことで、自動車交通を円滑にアクセスでき、また、他府県との地域レベルの交流を強化することで物流ネットワークを形成する。	担当課	道路河川整備課
京阪本線連続立体交差事業	踏切の除去に伴う渋滞の解消と事故の防止等都市交通の円滑化、平面鉄道で分断化されていた市街地の一体化、新たに創出される高架下の有効利用などを目的に連続立体交差事業を行う。	担当課	市街地整備室
京阪本線連続立体交差事業 関連光善寺駅周辺まちづくり事業	京阪光善寺駅周辺地区にて、地元組合施行の市街地再開発事業による都市計画道路北中振線及び駅前交通広場と施設建築物の一体的な整備を図るため、本市は事業の実現に向け、財政的・技術的支援を行う。	担当課	市街地整備室
樟葉駅前ロータリー改良事業	樟葉駅前広場ロータリー内の交通混雑などを解消するための再整備を行う。	担当課	道路河川整備課
新名神高速道路等整備促進事業	新名神高速道路の整備に伴い、生活環境や企業活動など地域への影響もあることから、事業者である西日本高速道路㈱と庁内関係課及び沿線住民の窓口として連絡調整を行う。	担当課	土木政策課
牧野高槻線等整備促進事業	本市と北摂地域の地域間交流の拡大や防災面での機能向上等を図るため、事業者である大阪府に対し、牧野高槻線等の早期完成を働きかける。	担当課	土木政策課

令和2年度事業費(決算ベース)

事業費総額	5,117,189千円
-------	-------------

実績と評価

実績	連続立体交差事業用地取得率は、任意交渉の成果として予定通りの事業用地が取得でき、目標値を達成した。 一方、樟葉駅前ロータリー改良工事事業全体の進捗率は、工事の契約締結及びバス・タクシー事業者との工程調整等の影響により想定よりも工事の着手が遅れたため、目標値未達となった。 また、他の都市計画道路等の整備についても、関係機関、地元関係者との協議調整に想定以上に時間を要したものが多く、進捗が遅れている。	評価	B
----	--	----	---

実行計画シート

実行計画 名称		4-2	交通安全対策の充実			
総合計 画体 系	基本目標等	安全で、利便性の高いまち			市長公約との関係	○
	施策目標等	4.安全で快適な交通環境が整うまち				
との 総合 関 係 略	基本目標	3.産業の活性化と人々の交流・賑わいの創出によりまちの魅力を高める				
	施策目標	3-3.安全で快適な交通環境が整うまち				

取り組みの概要	自転車や歩行者の通行空間の整備を計画的に進めるとともに、自転車の活用を推進するまちづくりに取り組む。また、信号のある交差点における歩道への車両乗り上げ防止対策や、高齢ドライバーによる事故防止の観点から公共交通の利用促進啓発を行うなど、交通事故防止に向けた取り組みを進める。
---------	--

進捗を測る主な指標

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
交通安全教室参加人数	目標値	21,000	21,500	22,000	22,500	人
	実績	-				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
市内の交通事故発生件数	目標値	1,150	1,100	1,050	1,000	件
	実績	1,080				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
バリアフリー道路整備事業全体の進捗率	目標値	20	29	39	45	%
	実績	20				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
自転車通行空間整備事業全体の進捗率	目標値	10	13	16	24	%
	実績	10				

実行計画を構成する事務事業

交通安全啓発事業	市民に交通安全思想の普及、浸透を図り、交通事故を減少させ、安全な交通社会を実現する。	担当課	交通対策課
交通安全施設整備事業	地域の道路交通環境を改善し交通事故の削減を図る。	担当課	交通対策課
交通バリアフリー道路整備事業	交通バリアフリー基本構想に基づき策定した道路特定事業計画により、高齢者や障害者などの誰もが安全快適に移動できるよう宮之阪駅周辺地区他重点整備地区における特定経路及び生活関連経路の歩道整備を行う。	担当課	道路河川整備課
自転車通行空間整備事業	枚方市自転車活用推進計画に位置付けられた枚方市主要鉄道駅周辺自転車ネットワーク計画に基づき、歩行者と自転車の安全対策と快適な通行環境の整備を進めるため、主要鉄道駅へのアクセス性を中心に、公共施設等、拠点となる施設を結ぶ自転車通行空間整備を楠葉中央線他で行う。	担当課	道路河川整備課
歩道拡幅整備事業（枚方新香里線）	枚方市通学路交通安全プログラムに基づき、通学路の安全確保を図るため、市道枚方新香里線の歩道拡幅整備事業を行う。	担当課	道路河川整備課
長尾船橋線道路空間再配分事業	枚方市自転車活用推進計画に位置付けられた枚方市主要鉄道駅周辺自転車ネットワーク計画や枚方市通学路交通安全プログラムに基づき、歩行者と自転車の安全対策と快適な通行環境の整備を進めるため、市道長尾船橋線の自転車通行空間整備と歩道の拡幅・段差解消を組み合わせた道路空間再配分整備を行う。	担当課	道路河川整備課

令和2年度事業費（決算ベース）

事業費総額	161,541千円
-------	-----------

実績と評価

実績	交通安全教室参加人数は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、全ての交通安全教室が中止となり、目標値未達となった。もともと、市内の交通事故発生件数は減少し、目標値を達成した。バリアフリー道路整備事業全体の進捗率及び自転車通行空間整備事業全体の進捗率についても目標値を達成し、交通安全対策の充実に向けた取り組みは概ね堅調に進んでいる。	評価	A
----	--	----	---

実行計画シート

実行計画 名称		5-1	公共交通環境の整備			
総合計 画体 系	基本目標等		安全で、利便性の高いまち		市長公約との関係	○
	施策目標等		5.快適で暮らしやすい環境を備えたまち			
との 総合 関係 略	基本目標		3.産業の活性化と人々の交流・賑わいの創出によりまちの魅力を高める			
	施策目標		3-4.快適で暮らしやすい環境を備えたまち			

取り組みの概要	枚方市総合交通計画に基づき、市民生活の利便性向上や環境負荷の低減などを図るため、効率的で利便性が高く、持続可能な公共交通環境の整備を図るとともに、公共交通機関の利用を促進する。あわせて交通不便地域の移動支援策の取り組みを進める。
---------	--

進捗を測る主な指標

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
バスの走行環境に対する市民・バス事業者等の満足度	目標値	80	80	80	80	%
	実績	80				
指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
公共交通利用促進イベントの参加者数	目標値	600	600	600	600	人
	実績	96				
指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
アンケート調査による電車やバスに乗る回数が増えた人の割合	目標値	40	40	40	40	%
	実績	-				

実行計画を構成する事務事業

バス走行環境整備事業	バス走行に適した路面標示改良やバス待ち環境の改善などを行うことにより、公共交通機関としてのバス利用促進と利便性の向上を図る。	担当課	交通対策課
公共交通利用促進（モビリティ・マネジメント）事業	過度に自家用車に依存することなく、多様な交通手段を選択することができるように、鉄道、バス、タクシーなどの公共交通の利用を促進し、持続可能な交通機能を確保する。	担当課	土木政策課

令和2年度事業費（決算ベース）

事業費総額	6,270千円
-------	---------

実績と評価

実績	バスの走行環境に対する市民・バス事業者等の満足度は、市が「地域公共交通における感染拡大防止対策事業費補助」を実施したことで、ビニールカーテンや消毒などの感染防止対策を公共交通機関が積極的に講じるなど、乗降客・乗務員の安心度を高めたこともあり、目標値を達成した。 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、集合形式でのイベントが開催されなかったため、公共交通利用促進イベントの参加者数及びアンケート調査による電車やバスに乗る回数が増えた人の割合は、目標値未達となった。	評価	A
----	--	----	---

実行計画シート

実行計画 名称		5-2	空き家、空き地等の適正管理の推進				
総合計 画体 系	基本目標等		安全で、利便性の高いまち			市長公約との関係	○
	施策目標等		5.快適で暮らしやすい環境を備えたまち				
との 総合 関係 略	基本目標		3.産業の活性化と人々の交流・賑わいの創出によりまちの魅力を高める				
	施策目標		3-4.快適で暮らしやすい環境を備えたまち				

取り組みの概要	空き家・空き地の適正管理を図るとともに、起業支援や子育て世帯誘導策など、他の行政課題と合わせた解決策につながるような空き家活用の方策について検討する。
---------	---

進捗を測る主な指標

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
市内の空き家が不動産流通等により解消された件数	目標値	30	30	30	30	件
	実績	1				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
若者世代空き家活用補助制度に係る交付申請件数	目標値	30	30	30	30	件
	実績	1				

実行計画を構成する事務事業

空き家・空き地対策推進事業	適切な管理が行われていない空家等が、防災、衛生、景観等の地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼすことが考えられるため、空き家の未然防止や活用など、空き家対策について総合的、計画的に取り組むことで、公共の福祉の増進と地域の振興に寄与する。	担当課	住宅まちづくり課
---------------	---	-----	----------

令和2年度事業費（決算ベース）

事業費総額	2,063千円
-------	---------

実績と評価

実績	補助制度の協議申請件数自体は、23件あったが、コロナ禍の影響で工期が延びるなど、年度内に完了したものがその内1件だけであったため、市内の空き家が不動産流通等により解消された件数は目標値未達となった。	評価	－
----	---	----	---

実行計画シート

実行計画 名称		6-1	保健医療制度の充実			
総合計 画体 系	基本目標等	健やかに、生きがいを持って暮らせるまち			市長公約との関係	○
	施策目標等	6.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち				
との 総合 関係 戦略	基本目標	2.市民の健康増進や地域医療の充実を図る				
	施策目標	2-2.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち				

取り組みの概要	各種健診の受診率向上に向けた受診勧奨に取り組むとともに、医療費の抑制に向けた生活習慣病等の予防や早期発見などの取り組みを推進する。
---------	---

進捗を測る主な指標

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
大腸がん検診受診率（職場等で実施されているものを含む）	目標値	11.3（40）	11.3（40）	11.3（40）	11.3（40）	%
	実績	8.60				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
歯周病検診の要治療者の受診率	目標値	92	92	92	92	%
	実績	71.3				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
生活習慣病の患者数	目標値	35,000	35,000	35,000	35,000	人
	実績	33,262				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
本人や家族、関係機関等からのこころの健康相談件数	目標値	4,900	4,900	4,900	4,900	件
	実績	4,224				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
自殺死亡率	目標値	-	-	-	11.0以下	%
	実績	13.2				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
特定健康診査受診率	目標値	40	45	45	50	%
	実績	30.1				

実行計画を構成する事務事業

成人保健事業（がん対策事業除く）	生活習慣病の予防、健康増進等健康に関する正しい知識の普及や支援により『自らの健康は自ら守る』という認識と自覚を高め、壮年期からの健康の保持増進に資する。	担当課	地域健康福祉室 健康増進・介護予防担当
がん対策事業	がん検診の受診率向上を図るとともに、がんの早期発見と正しい健康意識の普及および啓発を図り、もって健康の保持増進を図る。	担当課	地域健康福祉室 健康増進・介護予防担当
歯科口腔保健推進事業	歯・口腔の健康を保つことは、生涯を通して食事や会話を楽しむなど豊かな人生や生きがいのある充実した生活を送るための基礎である。むし歯や歯周病(歯肉炎・歯周炎)を予防し、歯や口の機能を保ち出来る限り自分の歯を残す8020達成を目指す。	担当課	地域健康福祉室 健康増進・介護予防担当
栄養改善指導事業	特定給食施設の適切な栄養管理の実施を行うことにより、給食内容の向上を図り、利用者に対して給食を通じ生活習慣病予防を始めとする健康づくりを推進する。	担当課	保健医療課
精神保健福祉事業	精神障害者の早期治療の促進、並びに精神障害者の社会復帰及び自立と社会経済活動への参加の促進を図るとともに、地域住民の精神的健康の保持増進、さらには精神疾患に関する正しい知識の普及を図る。	担当課	保健医療課

自殺予防対策事業	自殺予防を推進し、誰もがよりよく生きることができるまちづくりを目指す。	担当課	保健医療課
特定健康診査・特定保健指導事業	生活習慣病の発症や重症化を予防し、将来の医療費の削減を目指す。	担当課	地域健康福祉室 健康増進・介護予防担当
糖尿病性腎症重症化予防事業	糖尿病等の発症や重症化を予防し、将来の医療費の削減を目指す。	担当課	地域健康福祉室 健康増進・介護予防担当
国民健康保険保健事業	被保険者の健康増進を図る。	担当課	地域健康福祉室 健康増進・介護予防担当

令和2年度事業費（決算ベース）

事業費総額	670,327千円
-------	-----------

実績と評価

実績	大腸がん検診受診率（職場等で実施されているものを含む）及び特定健康診査受診率は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、目標値未達となった。 歯周病検診受診率は、年度当初の緊急事態宣言下において検診の一時中止などもあったが、検診機会を選した人を対象に特例受診券の発行を行ったことや、案内ハガキの内容見直しなど効果があり、想定を上回った。もともと、要治療者の受診率は目標値未達となった。 生活習慣病の患者数は目標値を達成したものの、新型コロナウイルス感染症の影響による特定健康診査や人間ドックの受け控えが生じている。 本人や家族、関係機関等からのこころの健康相談件数は、目標値には達しなかったものの、新型コロナウイルス感染症の影響で保健所への電話がつながりにくかったという背景も考えられ、概ね想定通りの実績となった。 自殺死亡率は、令和5年度目標値11.0を1.2ポイント上回っている。	評価	B
----	--	----	---

実行計画シート

実行計画 名称		6-2	健康づくりの推進			
総合計 画体 系	基本目標等		健やかに、生きがいを持って暮らせるまち		市長公約との関係	○
	施策目標等		6.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち			
との 総合 関係 略	基本目標		2.市民の健康増進や地域医療の充実を図る			
	施策目標		2-2.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち			

取り組みの概要	様々な市民参加事業の実施、相談体制の充実などにより健康づくりを推進するとともに、受動喫煙防止に向けた取り組みや、喫煙者の禁煙サポートを進める。また、本市でも一事業者として「健康経営」の取り組みを実践するとともに、市内の産業振興の観点からも市内事業所への普及に取り組む。
---------	--

進捗を測る主な指標

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
ウォーキングイベント参加者数	目標値	500	500	500	500	人
	実績	0				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
各種スポーツ大会参加者数	目標値	22,000	21,500	21,000	20,500	人
	実績	5,800				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
市民の喫煙率	目標値	11.5	11.0	10.5	10.0	%
	実績	11.0				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
朝食を欠食している小学生の割合	目標値	0	0	0	0	%
	実績	-				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
ひらかた健康優良企業の登録数	目標値	50	55	60	65	社
	実績	45				

実行計画を構成する事務事業

健康づくり推進事業	早世の減少及び健康寿命の延伸を図り、市民自らの健康づくりを支援することで、生活の質の向上を目指す。	担当課	地域健康福祉室 健康増進・介護予防担当
各種スポーツ大会等開催事業	市民のスポーツ振興を図るため、各種スポーツ大会やレクリエーション事業等を実施し、市民の健康維持・体力増進とスポーツ活動をより活発にする。	担当課	スポーツ振興課
市民スポーツカーニバル開催事業	毎年体育の日に、市民の体力向上及び健康増進を図り、生涯スポーツの普及・振興及び市民相互の交流と親睦を促進するため気軽に参加できるスポーツイベントを開催する。	担当課	スポーツ振興課
スポーツ推進事業	だれもが生涯にわたってスポーツに親しみ、スポーツを通じて健康を増進し、人と人との交流を深めることを支える。	担当課	スポーツ振興課
健康医療都市ひらかた推進事業	市民が安心して、生き生きと暮らせるまちの実現にあたって、地域医療の充実や健康増進を図る取り組みが求められており、また、激しい都市間競争を勝ち抜くため、『健康医療都市ひらかた』の確立を図り、市民の定住志向をより一層確かなものとするとともに、広域からの住民流入を促進する。	担当課	健康福祉総務課
禁煙支援事業	喫煙及び受動喫煙による健康被害を減らし、禁煙を促進するため、健康保険による禁煙外来治療費の補助を行う。	担当課	地域健康福祉室 健康増進・介護予防担当
食育推進事業	「枚方市食育推進計画」に基づき、食育の推進を図る。	担当課	地域健康福祉室 健康増進・介護予防担当

地域保健対策推進事業	地域の職域、地域の組織・団体、医療機関等との連携を総合的に展開し、生涯を通じた健康づくりを支援するため、関係者が情報の共有化を図り、それぞれが有する保健医療資源の相互活用、また、保健事業の共同実施等により、連携体制の構築を図るための会議開催や、地域で活動する団体等への協力・支援を行う。 また、大阪府保健医療計画の推進に係る取り組みに参画し、地域の医療体制の充実を図る。	担当課	保健医療課
------------	--	-----	-------

令和2年度事業費（決算ベース）

事業費総額	37,039千円
-------	----------

実績と評価

実績	ウォーキングイベント参加者数は、新型コロナウイルス感染拡大の影響によりウォーキングイベントが中止となり、目標値未達となったが、オンラインでの講演会や個人で出来る健康づくりの啓発を行った。各種スポーツ大会参加者数は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で多くのスポーツ大会が中止となり、目標値未達となった。 市民の喫煙率は想定より低く、目標値を達成した。 朝食を欠食している小学生の割合は、「全国学力・学習状況調査」が実施されなかったため把握できなかったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止となった各種啓発イベントに代え、オンラインイベントやレシピ動画の配信等、情報発信の方法を工夫し、食育に関する正しい知識を普及した。 ひらかた健康優良企業の登録数は目標値未達となった。	評価	B
----	--	----	---

実行計画シート

実行計画 名称		6-3	地域福祉の推進				
総合計 画体 系	基本目標等		健やかに、生きがいを持って暮らせるまち			市長公約との関係	○
	施策目標等		6.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち				
との 総 合 関 係 略	基本目標		2.市民の健康増進や地域医療の充実を図る				
	施策目標		2-2.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち				

取り組みの概要		住民一人ひとりが、ともに地域を創っていく「地域共生社会」の実現に向けて、アウトリーチの機能を強化し、地域の中で孤立している要援護者に寄り添い、見守るなどの総合的な支援体制を構築する。
---------	--	---

進捗を測る主な指標

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
「いきいきネット相談支援センター」での延べ相談件数	目標値	9,670	10,869	12,217	13,732	件
	実績	8,999				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
当該年度保護開始世帯数	目標値	672	682	692	702	世帯
	実績	560				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
保護廃止世帯数	目標値	583	568	553	538	世帯
	実績	575				

実行計画を構成する事務事業

コミュニティソーシャル ワーカー配置事業	コミュニティソーシャルワーカーを配置し、地域の高齢者、障害者、ひとり親家庭など援護を要するあらゆる者又はその家族・親族等の支援を通じて、地域福祉の向上と自立生活支援のための基盤作りを行い、地域福祉の計画的な推進に資することで、健康福祉のセーフティネットの構築を図る。	担当課	健康福祉総務課
生活保護事業	生活に困窮するすべての国民に対し、その困窮の程度に応じ必要な保護を行い、その最低限度の生活を保障するとともにその自立を助長する。	担当課	福祉事務所 生活福祉担当
生活支援事業	貸付や給付を行うことで、市民の生活の自立を支援し、生活の安定を図る。	担当課	健康福祉総務課

令和2年度事業費（決算ベース）

事業費総額	12,920,303千円
-------	--------------

実績と評価

実績	「いきいきネット相談支援センター」での延べ相談件数は、新型コロナウイルス感染症の影響で、窓口来庁者が減少するとともに、アウトリーチの機会が減り、地域からの相談が減少したため、目標値未達となった。 当該年度保護開始世帯数は、新型コロナウイルス感染拡大による増加が見込まれたものの、給付金等の支給により、前年並みとなったため、目標値を達成した。 保護廃止世帯数は、目標値未達となった。	評価	A
----	--	----	---

実行計画シート

実行計画 名称		7-1	感染症対策の推進			
総合計 画体 系	基本目標等		健やかに、生きがいを持って暮らせるまち		市長公約との関係	○
	施策目標等		7.公衆衛生や健康危機管理が充実したまち			
との 総合 関係 略	基本目標		2.市民の健康増進や地域医療の充実を図る			
	施策目標		2-3.健康危機管理が充実したまち			

取り組みの概要	新型コロナウイルスなど、感染症の発生予防・まん延の防止を図るため、国・大阪府・関係機関と連携しながら新たな感染症対策のための体制を整える。また、結核予防に向けた取り組みや、その他感染症の定期予防接種及び任意予防接種に対する費用助成等を実施する。
---------	--

進捗を測る主な指標

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
予防啓発事業参加者数	目標値	2,650	2,700	2,750	2,800	人
	実績	4				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
MR1期(麻しん・風しん含む)の接種率	目標値	95	95	95	95	%
	実績	97				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
高齢者インフルエンザ予防接種接種率	目標値	50	50	50	50	%
	実績	66				

実行計画を構成する事務事業

感染症対策事業	感染症の発生予防、まん延の防止を図り、公衆衛生の向上を図る。	担当課	保健予防課
予防接種事業	伝染の恐れがある疾病の発生および蔓延を予防するために予防接種法に基づき、各種予防接種を行い、公衆衛生の向上及び増進に寄与する。	担当課	地域健康福祉室 母子保健担当

令和2年度事業費(決算ベース)

事業費総額	1,446,347千円
-------	-------------

実績と評価

実績	予防啓発事業参加者数は、新型コロナウイルス感染症の影響により対面での啓発事業やキャンペーンが実施できなかったため、目標値未達となったが、MR1期(麻しん・風しん含む)の接種率や高齢者インフルエンザ予防接種接種率は目標値を達成するなど、予防接種の接種率の減少はなく、目標値を達成した。新型コロナウイルス感染拡大により、市民の感染対策や行動自粛の効果から、結核をはじめとする他の感染症の発生は減少したと推測されるが、発見時に悪化している事例も多くあり、健診や受診控えによる発見の遅れが課題となっている。	評価	A
----	---	----	---

実行計画シート

実行計画 名称		7-2	動物愛護の啓発推進			
総合計 画体 系	基本目標等		健やかに、生きがいを持って暮らせるまち		市長公約との関係	—
	施策目標等		7.公衆衛生や健康危機管理が充実したまち			
との 総合 関係 略	基本目標		2.市民の健康増進や地域医療の充実を図る			
	施策目標		2-3.健康危機管理が充実したまち			

取り組みの概要		人と動物の共生を推進するため、動物の適正飼養の啓発・指導を行うとともに、野犬の捕獲や負傷動物の収容のほか、やむを得ず飼い主から引き取った犬・猫の譲渡の促進等を進める。
---------	--	---

進捗を測る主な指標

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
飼い猫の不妊手術件数	目標値	900	900	900	900	件
	実績	922				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
犬・猫の殺処分数	目標値	0	0	0	0	件
	実績	0				

実行計画を構成する事務事業

動物愛護・適正飼養推進事業	野犬の捕獲、負傷動物の収容、飼えなくなった犬・猫の引取り等を行うとともに、動物の適正飼養の啓発・指導を行うことにより、動物愛護の推進を図る。猫の不妊手術を実施した者からの申請に基づいて、補助金を交付する。	担当課	保健衛生課
---------------	--	-----	-------

令和2年度事業費（決算ベース）

事業費総額	15,406千円
-------	----------

実績と評価

実績	飼い猫の不妊手術件数は目標値を達成した。 また、犬・猫の殺処分数についても、捕獲・収容・引取件数が少なかったこと、譲渡・返還が促進されたことから0となり、目標値を達成した。 動物愛護管理に関する一部の啓発事業は、感染症対策の必要があり、実施方法に苦慮する点があった。	評価	A
----	---	----	---

実行計画シート

実行計画 名称		8-1	医療体制の充実			
総合計 画体系	基本目標等	健やかに、生きがいを 持つて暮らせるまち			市長公約との関係	○
	施策目標等	8.安心して適切な医療が 受けられるまち				
との 総合 関係 略	基本目標	2.市民の健康増進や地域医療の 充実を図る				
	施策目標	2-4.安心して適切な医療が 受けられるまち				

取り組みの概要	住み慣れた地域で必要な医療を受けられる環境の整備に向けて、地域医療体制や救急医療体制の充実を図るため、地域の医療機関の連携を推進し、安心して医療を受けることができる体制を強化する。
---------	--

進捗を測る主な指標

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
健康福祉総務課が設置・所管するAEDの正常作動率	目標値	100	100	100	100	%
	実績	100				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
休日・土曜夜間急病診療の患者受け入れ率	目標値	100	100	100	100	%
	実績	100				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
休日歯科急病診療の患者受け入れ率	目標値	100	100	100	100	%
	実績	100				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
通訳士派遣依頼件数のうち派遣できた割合	目標値	95	95	95	95	%
	実績	100				

実行計画を構成する事務事業

公共施設・コンビニへのAED設置事業	市内公共施設や24時間営業のコンビニエンスストアにAEDを設置し、常時AEDを使用できる環境を整備する。	担当課	健康福祉総務課
休日・土曜夜間急病診療事業	枚方市医師会の協力を得て、休日及び土曜夜間における初期救急医療体制を確保する。	担当課	健康福祉総務課
休日歯科急病診療所補助事業	本市の休日における歯科急病診療需要に応えるため、歯科医師会が開設している休日歯科急病診療所を補助する。	担当課	健康福祉総務課
高度救命救急医療推進協議会負担金交付事業	北河内北東部の高度救命救急体制を維持する。	担当課	健康福祉総務課
二次救急医療負担金交付事業	北河内7市の行政で「北河内二次救急医療協議会」を組織し、北河内医療圏域の二次救急医療に関する事務を共同で行う。	担当課	健康福祉総務課
北河内夜間救急センター運営事業	北河内7市の夜間における初期救急体制の整備を促進する。	担当課	健康福祉総務課
医療通訳士登録派遣事業	日本語を話せない外国人住民等が、安心して市内の医療機関を利用できるとともに、コミュニケーションギャップに起因する医師の負担や診療上のリスクを軽減できるよう医療通訳士を養成し、医療機関への派遣を行う。	担当課	健康福祉総務課

令和2年度事業費（決算ベース）

事業費総額	220,421千円
-------	-----------

実績と評価

実績	健康福祉総務課が設置・所管するAEDの正常作動率は目標値を達成した。 休日・土曜夜間急病診療の患者受け入れ率及び休日歯科急病診療の患者受け入れ率は、新型コロナウイルス感染症の影響により、患者数が大幅に減少したこともあり、目標値を達成した。 通訳士派遣依頼件数のうち派遣できた割合は目標値を達成した。もっとも、新型コロナウイルス感染症の影響により、派遣の中止が長期にわたったため、派遣件数自体は目標値を大幅に下回る結果となった。	評価	A
----	---	----	---

実行計画シート

実行計画 名称		9-1	認知症予防の推進と相談体制の充実			
総合計 画体 系	基本目標等		健やかに、生きがいを持って暮らせるまち		市長公約との関係	○
	施策目標等		9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち			
との 総合 関係 略	基本目標		2.市民の健康増進や地域医療の充実を図る			
	施策目標		2-1.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち			

取り組みの概要	認知症予防プログラムを大阪精神医療センターと連携して実施するなど、「認知症にやさしい地域づくり」に向けて取り組む。加えて、成年後見制度を必要とする人が地域でいつまでも生き生きと暮らせるよう、円滑な制度利用のための取り組みを推進する。
---------	--

進捗を測る主な指標

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
地域包括支援センターの総合相談のうち介護・医療に関する相談件数	目標値	9,200	9,300	9,400	9,500	件
	実績	11,590				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
認知症サポーター養成人数(累計)	目標値	27,300	28,900	30,500	32,100	人
	実績	24,615				

実行計画を構成する事務事業

認知症総合支援等事業	在宅で介護を行っている家族等に対する適切な介護知識や技術の習得、徘徊高齢者の早期発見や家族介護者の精神的肉体的負担を軽減等すること等で、高齢者や介護者の生活環境の向上を図る。	担当課	福祉事務所 健康福祉総合相談担当
------------	---	-----	---------------------

令和2年度事業費(決算ベース)

事業費総額	7,063千円
-------	---------

実績と評価

実績	地域包括支援センターの総合相談のうち介護・医療に関する相談件数は、総合相談28,891件のうち、11,590件の約40%が介護・医療に関する相談となり、目標値を達成した。 認知症サポーター養成人数(累計)は、新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から、認知症サポーター養成講座の開催回数が減少し、目標値未達となったが、早期発見・早期支援に関する動画を作成し、市ホームページのYouTube枚方市公式チャンネルに掲載(令和2年度末:100,000回再生)した。	評価	A
----	---	----	---

実行計画シート

実行計画 名称		9-2	高齢者の生きがいづくりと外出支援				
総合計 画体 系	基本目標等		健やかに、生きがいを持って暮らせるまち			市長公約との関係	○
	施策目標等		9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち				
と総 合 戦 略 の 関 係	基本目標		2.市民の健康増進や地域医療の充実を図る				
	施策目標		2-1.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち				
取り組みの概要			全ての小学校区で高齢者の多様な通いの場が充実した活動を展開できるよう、関係団体との連携を図るなど、外出機会を増やすためのきっかけづくりや健康づくりに資する活動の場の提供に取り組む。併せて、アクティブシニアを増やす取り組みを展開する。				

進捗を測る主な指標

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
高齢者居場所など通いの場への参加率	目標値	6	6	6	6	%
	実績	6				
指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
高齢者お出かけ推進事業の延べ参加者数	目標値	101,000	101,000	101,000	101,000	人
	実績	2,557				
指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
枚方市シルバー人材センターの会員の就業率	目標値	69.5	69.6	69.7	69.8	%
	実績	76.9				
指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
補助金交付申請時の老人クラブ会員数	目標値	12,621	12,621	12,621	12,621	人
	実績	11,670				

実行計画を構成する事務事業

高齢者居場所支援事業	高齢者が住み慣れた地域の中で、健康でいきいきとした暮らしができるように、自由に集まり、交流することができる居場所を創ることで、閉じこもりを防ぎ、高齢者の社会参加、生きがいづくり、介護予防の促進を図る。	担当課	地域健康福祉室 健康増進・介護予防担当
高齢者お出かけ推進事業	高齢者が外出する機会を増やすための後押しやきっかけとなる仕組みを構築し、人々との交流・社会参加の促進・生きがいづくり・健康づくりに資する活動を通じた健康寿命の延伸や介護予防の推進を図る。	担当課	地域健康福祉室 長寿・介護保険担当
シルバー人材センター事業費補助事業	枚方市シルバー人材センターの事業にかかる経費の一部について補助を行うことにより、高齢者が長年培ってきた知識や技能を社会に還元し、就業の場を通じた生きがいづくりを促進する。	担当課	地域健康福祉室 長寿・介護保険担当
老人クラブ育成補助事業	老人クラブ等が行う社会奉仕、健康増進等の諸活動にかかる経費を助成することにより、高齢者の生活を健全で豊かなものにする。	担当課	地域健康福祉室 長寿・介護保険担当
高齢者福祉タクシー基本料金補助事業	在宅の高齢者が通院等に利用する福祉タクシーの基本料金を助成することにより、経済的負担の軽減及び日常生活の利便性を図る。	担当課	地域健康福祉室 長寿・介護保険担当

令和2年度事業費（決算ベース）

事業費総額	58,836千円
-------	----------

実績と評価

実績	高齢者居場所など通いの場への参加率は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う活動自粛の影響で、昨年度に比べ減少したが、目標値は達成した。 高齢者お出かけ推進事業の延べ参加者数は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、多くの対象事業が中止となり、目標値未達となった。 枚方市シルバー人材センターの会員の就業率は、新型コロナウイルス感染症による清掃作業（学校、マンション、商業施設など）の需要が増え、目標値を達成した。 補助金交付申請時の老人クラブ会員数は、目標値未達となった。高齢者人口の増加と対比すると減少傾向にある。	評価	A
----	---	----	---

実行計画シート

実行計画 名称		9-3	介護事業の充実				
総合計 画体系	基本目標等		健やかに、生きがいをもちて暮らせるまち			市長公約との関係	○
	施策目標等		9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち				
との総 合戦 略	基本目標		2.市民の健康増進や地域医療の充実を図る				
	施策目標		2-1.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち				

取り組みの概要	介護予防の取り組みを推進し、高齢者のフレイル予防を実施するとともに、在宅医療と介護の連携を図り、要介護状態になっても安心して生活できる環境づくりを進める。
---------	---

進捗を測る主な指標

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
ひらかた高齢者保健福祉計画21(第7期)において定めるリハ職訪問通所指導事業利用者の状態改善率	目標値	60	60	60	60	%
	実績	94				
指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
「健活フェスタ」や身近な場所で開催する介護予防教室等への参加者数	目標値	25,000	25,000	25,000	25,000	人
	実績	5,273				
指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
ひらかた高齢者保健福祉計画21(第7期)において定める「ひらかた元気くらわんか体操」実践グループ数	目標値	190	195	200	200	グループ
	実績	301				

実行計画を構成する事務事業

地域支援事業任意事業	地域の高齢者が住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができるように、介護保険事業の運営の安定化を図るとともに、地域の実情に応じた必要な支援を行う。	担当課	地域健康福祉室 長寿・介護保険担当
在宅福祉サービス事業	高齢者が在宅生活を継続できるよう、さまざまな福祉サービスを提供する。	担当課	地域健康福祉室 長寿・介護保険担当
介護予防・生活支援サービス事業	生活支援サービスと介護予防事業を一体的に実施し、要支援者等の多様なニーズに、要支援者等の能力を最大限生かしつつ、多様なサービスを提供する。地域の支え合い体制づくりを推進し、要支援者等に対する効果的かつ効率的な支援等を可能とすることを目指す。	担当課	地域健康福祉室 健康増進・介護予防担当
介護予防普及啓発事業	65歳以上の高齢者の健康に対する意識を高めるため、啓発をはじめ、健康づくり・疾病予防・介護予防に関する取り組みの実践の勧奨と機会の提供、地域を基盤とした健康づくり活動の支援を行う。	担当課	地域健康福祉室 健康増進・介護予防担当
地域介護予防活動支援事業	地域における介護予防活動に資する自発的な活動が広く実施され、地域の高齢者が主体的な取り組みができるよう、指導者の育成やスキルアップを支援する。	担当課	地域健康福祉室 健康増進・介護予防担当
在宅医療・介護連携推進事業	医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、在宅医療と介護を一体的に提供するために、医療機関と介護事業所等の関係者の連携を推進する。	担当課	福祉事務所 健康福祉総合相談担当

令和2年度事業費(決算ベース)

事業費総額	998,855千円
-------	-----------

実績と評価

実績	ひらかた高齢者保健福祉計画21(第7期)において定めるリハ職訪問通所指導事業利用者の状態改善率は、目標値を達成した。 ひらかた高齢者保健福祉計画21(第7期)において定める「ひらかた元気くらわんか体操」実践グループ数は、新型コロナウイルス感染拡大により昨年度実績からの微増に留まったが、目標値を達成した。 一方で、「健活フェスタ」や身近な場所で開催する介護予防教室等への参加者数は、緊急事態宣言発令に伴う教室の延期・中止により、目標値未達となった。	評価	A
----	--	----	---

実行計画シート

実行計画 名称		10-1	障害福祉サービスの充実			
総合計 画 体 系	基本目標等	健やかに、生きがいを持って暮らせるまち			市長公約との関係	—
	施策目標等	10.障害者が自立し、社会参加ができるまち				
との 関 係 略	基本目標					
	施策目標					

取り組みの概要	障害者が地域で安心して暮らせる環境をつくるため、必要な支援の充実を図るとともに、生活の場の一つであるグループホームの確保や、相談支援体制の充実を図る。
---------	---

進捗を測る主な指標

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
障害福祉サービスの実利用人数	目標値	4,800	4,900	5,000	5,100	人
	実績	4,519				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
緊急通報装置の利用件数	目標値	50	50	50	50	件
	実績	50				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
精神障害者の相談窓口での相談件数	目標値	1,300	1,300	1,300	1,300	件
	実績	625				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
障害者歯科診療受診者数	目標値	750	750	750	750	人
	実績	672				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
開設・増設住居における入居者定員の増加数	目標値	35	35	35	35	件
	実績	37				

実行計画を構成する事務事業

障害者総合支援法に基づく自立支援給付事業	障害者の適性に応じ、自立した日常生活又は社会生活が営むことができるよう、必要な障害福祉サービスの給付等の支援を行う。	担当課	福祉事務所 障害福祉担当
障害者総合支援法に基づく地域生活支援事業	障害者が障害福祉サービス等を利用しつつ、その適正に応じ、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、地域生活支援事業を実施する。	担当課	福祉事務所 障害福祉担当
障害者総合支援法に基づく地域生活訓練事業	精神障害者がグループホームを体験利用することにより自立した日常生活を目指す。 (居宅生活における自立を支援する生活サポート及び精神障害者を対象にグループホームの体験利用する地域生活訓練、精神科病院に社会的入院をしている精神障害者等の退院促進。)	担当課	福祉事務所 障害福祉担当
身体障害者等の地域生活支援事業	身体障害のある方の地域生活を支援するため、障害の特性に応じて必要な支援を実施する。	担当課	福祉事務所 障害福祉担当
精神障害者等の地域生活支援事業	地域で生活する精神障害者に対し社会復帰等に係る相談窓口に精神保健福祉士を配置し、専門的な立場から相談・助言を行い、精神障害者の社会復帰、自立と社会参加の促進を図る。	担当課	福祉事務所 障害福祉担当
成年後見制度利用支援事業（障害福祉室）	地域で暮らし、障害により判断能力が十分でなく、親族等による援助が見込めない障害者等の権利擁護のため、成年後見制度が円滑に利用できるように支援する。	担当課	福祉事務所 障害福祉担当
障害者歯科診療補助事業	枚方市歯科医師会に対し、障害者（児）歯科診療運営補助金を交付することにより、障害者（児）歯科診療の円滑かつ効果的な運営を図る。診療は、枚方休日歯科急病診療所（保健センター内）にて行う。	担当課	福祉事務所 障害福祉担当

重症心身障害者宿泊訓練補助事業（補）	指定障害福祉サービス事業所(生活介護)を運営する者に対し、重症心身障害者宿泊訓練補助金を交付することにより、在宅で暮らす重症心身障害者の自立した生活ができるよう支援する。	担当課	福祉事務所 障害福祉担当
グループホーム運営安定化補助事業	枚方市内のグループホームに生活支援員を配置して運営する事業者に対して、一定の基準でもって補助することにより、市民利用者の処遇向上及び運営の安定化を図る。また、グループホームの整備を行う事業者に対し、必要経費を補助することにより、市民利用者の処遇向上及びグループホームの整備を図る。	担当課	福祉事務所 障害福祉担当

令和2年度事業費（決算ベース）

事業費総額	9,142,595千円
-------	-------------

実績と評価

実績	障害福祉サービスの実利用人数は、新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者に利用・通所控えなども見られ、目標値未達となった。 緊急通報装置の利用件数は、目標値を達成した。 精神障害者の相談窓口での相談件数は、新型コロナウイルス感染症の影響で減少し、目標値未達となった。 障害者歯科診療受診者数は、目標値未達となった。 開設・増設住居における入居者定員の増加数は、目標値を達成した。	評価	A
----	--	----	---

実行計画シート

実行計画 名称		10-2	障害者の就労と社会参加の促進			
総合計 画体 系	基本目標等		健やかに、生きがいを持って暮らせるまち		市長公約との関係	—
	施策目標等		10.障害者が自立し、社会参加ができるまち			
との 総合 関係 戦略	基本目標					
	施策目標					

取り組みの概要	障害者の就労支援を促進し、福祉的就労の工賃向上に向けた取り組みを進める。また、障害者の社会参加の促進のため、余暇活動や外出支援を充実する。
---------	---

進捗を測る主な指標

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
福祉施設から一般就労へ移行した障害者の人数	目標値	66	70	75	80	人
	実績	調査中				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
移動支援事業の利用実時間数	目標値	267,689	270,365	273,068	275,798	時間
	実績	169,664				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
手話通訳者の対応実績件数	目標値	1,600	1,700	1,750	1,800	件
	実績	33				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
共同配車センターの利用回数	目標値	650	670	690	710	回
	実績	291				

実行計画を構成する事務事業

市立障害者社会就労センター施設維持管理事業	通常の事業所に雇用されることが困難な障害者のうち通常の事業所に雇用されていた障害者に生産活動その他の活動の機会の提供その他の就労に必要な知識及び能力の向上のため必要な訓練その他の必要な支援を行う。	担当課	福祉事務所 障害福祉担当
障害者就労支援強化事業	知的障害のある市職員の職場環境を保全して、安定的な雇用継続を図ることを目的とする。また、障害者の就労を促進する。大阪府が実施する「障がい者就労支援強化事業」を市で実施することにより、障害者の就労・定着支援を促進する。	担当課	福祉事務所 障害福祉担当
移動支援（ガイドヘルプサービス）事業	屋外での移動が困難な障害者について、外出のための支援を行うことにより、障害者の地域での自立生活及び社会参加の促進に資する。	担当課	福祉事務所 障害福祉担当
地域活動支援センター事業	障害者が地域において自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、創作的活動又は生産活動の機会を提供するとともに社会との交流の促進を図り、障害者の地域生活に必要な相談や情報提供を行う。	担当課	福祉事務所 障害福祉担当
福祉移送サービス共同配車事業	〈福祉移送サービス〉 外出が困難な障害者等に、車両による移送サービスを提供して、社会参加の機会を拡充する。 〈共同配車事業〉 ・利用者の利便性等を配慮した共同配車を実施する。 ・一般持ち込み車両（セダン含む）の適正な運行、安全を一元管理する。	担当課	福祉事務所 障害福祉担当
障害者タクシー基本料金補助事業	在宅の障害者で福祉タクシーを利用する者に対し、その利用に係るタクシー料金の一部を助成することにより、経済的負担の軽減及び日常生活の利便等を図り、もってそれらの者の福祉の向上に資する。	担当課	福祉事務所 障害福祉担当
障害者総合支援法に基づく意思疎通支援事業	意思疎通困難な障害者に対する支援者の派遣を行う。（手話通訳、要約筆記、入院時コミュニケーション支援） 意思疎通困難な障害者を支援する者の養成を行う。（手話通訳、要約筆記、点訳、音訳、専門性の高い意思疎通支援） 窓口における手話通訳者の設置を行う。	担当課	福祉事務所 障害福祉担当

令和2年度事業費(決算ベース)

事業費総額	481,609千円
-------	-----------

実績と評価

実績	移動支援事業の利用実時間数及び共同配車センターの利用回数は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い移動支援利用者が減少したため、目標未達となった。 手話通訳者の対応実績件数についても、目標値未達となった。	評価	－
----	--	----	---

実行計画シート

実行計画 名称		11-1	人権意識の啓発と人権教育の推進				
総合計 画 体 系	基本目標等		健やかに、生きがいを持って暮らせるまち			市長公約との関係	○
	施策目標等		11.すべての人がお互いの人権を尊重しあうまち				
との 総 合 関 係 略	基本目標						
	施策目標						

取り組みの概要	様々な人権問題や人権侵害の防止に向けて、人権教育・啓発などの事業を推進し、女性や子ども、高齢者、障害者、外国人などに対する偏見と理解不足から生じる差別や同和問題、インターネットによる人権被害といった様々な人権問題の解決に向けて取り組む。
---------	--

進捗を測る主な指標

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
大阪府人権教育研究協議会等による研修等の参加教職員数	目標値	562	570	580	590	人
	実績	549				
指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
人権啓発に関する各種イベントへの延べ参加人数	目標値	960	980	980	1,000	人
	実績	291				
指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
障害を理由とする差別に関する相談等の課題解決率	目標値	50	50	50	50	%
	実績	100				
指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
在日外国人教育・国際理解教育に関する講演会等の参加教職員の延べ人数	目標値	340	350	360	370	人
	実績	225				

実行計画を構成する事務事業

人権教育推進事業	学校園が教育活動において人権教育を適切に位置づけ、校園長を中心とした組織的な指導に努め、人権教育をすすめるため、枚方市人権教育研究協議会において研究事業（講演会、実践報告会、学習会、研究大会等）に取り組む。	担当課	教育支援室 児童生徒支援担当
人権啓発事業	あらゆる人権問題について学び、市民自らの人権意識を高める。	担当課	人権政策室
障害者差別解消事業	4月の障害者差別解消法の施行に伴い、障害を理由とする差別に関する相談や課題解決の取り組みを進めるため、関係機関による地域のネットワーク組織として障害者差別解消支援地域協議会を設置する。	担当課	福祉事務所 障害福祉担当
多文化共生教育推進事業	本市立学校園における在日外国人教育・国際理解教育を推進する。	担当課	教育支援室 児童生徒支援担当

令和2年度事業費（決算ベース）

事業費総額	11,078千円
-------	----------

実績と評価

実績	大阪府人権教育研究協議会等による研修等の参加教職員数は、目標値未達となったが、概ね想定通りであった。 人権啓発に関する各種イベントへの延べ参加人数は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言の発出等により、人権週間事業の講演会が中止となったほか、部屋の利用人数制限により大幅に減少し、目標値未達となった。 障害を理由とする差別に関する相談等の課題解決率は目標値を達成した。 在日外国人教育・国際理解教育に関する講演会等の参加教職員の延べ人数は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、講演会等が中止となり、目標値未達となった。	評価	C
----	--	----	---

実行計画シート

実行計画 名称		11-2	性的マイノリティへの支援			
総合計 画 体 系	基本目標等		健やかに、生きがいを持って暮らせるまち		市長公約との関係	○
	施策目標等		11.すべての人がお互いの人権を尊重しあうまち			
との 総 合 関 係 略	基本目標					
	施策目標					

取り組みの概要	LGBTなど性的マイノリティが安心して暮らせる環境づくりをめざし、当事者の意見を尊重しながらさらなる取り組みを推進する。
---------	--

進捗を測る主な指標

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
LGBTなど性的マイノリティに関する講座等の参加者数	目標値	100	100	100	100	人
	実績	－				
指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
LGBTなど性的マイノリティに対する理解が深まったと答えた人の割合	目標値	90	90	90	90	％
	実績	－				

実行計画を構成する事務事業

性的マイノリティ支援事業	性の多様性の理解促進に向けて、性的マイノリティ支援宣言「ひらかた・にじいろ宣言」を行い、LGBTなどの性的マイノリティ当事者のカップルが互いをパートナーであると宣誓したことを市が公的に証明する「パートナーシップ宣誓制度」、LGBT専門電話相談、コミュニティスペースを開始。また、誰もが多様性を認め合い、いきいきと暮らせる人権尊重のまちづくりを進めるため、市民向けの啓発講座、職員向け研修を継続して実施する。	担当課	人権政策室
--------------	---	-----	-------

令和2年度事業費（決算ベース）

事業費総額	634千円
-------	-------

実績と評価

実績	LGBTなど性的マイノリティに関する講座等の参加者数及びLGBTなど性的マイノリティに対する理解が深まったと答えた人の割合は、ウィルdeシネマ「his」が中止となったため、実績を挙げることはできなかった。	評価	－
----	--	----	---

実行計画シート

実行計画 名称		11-3	権利擁護の推進			
総合計 画体 系	基本目標等		健やかに、生きがいを持って暮らせるまち		市長公約との関係	○
	施策目標等		11.すべての人がお互いの人権を尊重しあうまち			
との 合 戦 略 係 略	基本目標					
	施策目標					

取り組みの概要		DVや虐待などの人権侵害に関する啓発を行うとともに、発生の防止や解決に向けての支援や情報提供などの取り組みを進める。
---------	--	--

進捗を測る主な指標

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
DV予防教育プログラム参加児童(小学生)	目標値	680	720	760	800	人
	実績	499				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
虐待を受けた障害者等に対して支援につなげた結果件数	目標値	5	5	5	5	件
	実績	4				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
地域包括支援センターの総合相談件数	目標値	25,250	25,350	25,350	25,350	件
	実績	28,891				

実行計画を構成する事務事業

DV防止事業	男女共同参画社会の形成をはばむDVを防止するため、市民のDVについての理解を深めるとともに、DV被害者に対する支援対策の充実を図る。	担当課	人権政策室
障害者虐待防止対策支援事業	障害者に対する虐待が障害者の尊厳を害するものであり、障害者の自立及び社会参加にとって虐待を防止することが極めて重要であること等に鑑み、虐待の防止、早期発見、虐待を受けた障害者に対する保護や自立の支援、養護者に対する支援を行うことにより障害者の権利利益の擁護に資する。	担当課	福祉事務所 障害福祉担当
包括的支援事業	高齢者総合相談支援拠点(地域包括支援センター)を地域の身近な場所に設置し、年々増加する高齢者の介護予防や権利擁護、虐待防止等を含めた相談に対し、地域できめ細かく対応する。	担当課	福祉事務所 健康福祉総合相談担当

令和2年度事業費(決算ベース)

事業費総額	436,857千円
-------	-----------

実績と評価

実績	DV予防教育プログラム参加児童(小学生)は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、実施できなかった学校があり、目標値未達となった。 虐待を受けた障害者等に対して支援につなげた結果件数は目標値を達成した。 地域包括支援センターの総合相談件数は目標値を達成した。高齢者人口増に伴い増加傾向にある。。	評価	A
----	---	----	---

実行計画シート

実行計画 名称		12-1	男女共同参画の推進			
総合計 画体 系	基本目標等	健やかに、生きがいを持って暮らせるまち			市長公約との関係	○
	施策目標等	12.男女がともに参画し、個性を発揮できるまち				
との 総 合 関 係 略	基本目標					
	施策目標					

取り組みの概要	性別による固定的な役割分担を見直し、家庭、職場、地域などあらゆる場で、男女が共に活躍する社会を推進する。
---------	--

進捗を測る主な指標

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
女性相談事業及び男性のための電話相談事業での相談が役に立ったと答えた人の割合	目標値	90	90	90	90	%
	実績	100				
指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
男女共同参画に関する講座等の参加者数	目標値	763	801	841	883	人
	実績	135				

実行計画を構成する事務事業

女性のための各種相談事業	女性相談員や弁護士が、さまざまな相談を受け、必要な情報提供や相談者の自立を図る。	担当課	人権政策室
男女共同参画啓発事業	男女共同参画社会の実現を目指して、市民意識の向上を図る。	担当課	人権政策室
市民参画型啓発事業	男女共同参画を推進する市民活動の活性化と「男女共生フロア・ウィル」の活用を促進する。	担当課	人権政策室

令和2年度事業費（決算ベース）

事業費総額	10,748千円
-------	----------

実績と評価

実績	女性相談事業及び男性のための電話相談事業での相談が役に立ったと答えた人の割合は目標値を達成した。 男女共同参画に関する講座等の参加者数は、イベントの実施回数が少なく、また市民の外出も制限されたため、目標値未達となった。	評価	A
----	--	----	---

実行計画シート

実行計画 名称		13-1	平和意識の啓発			
総合計 画 体 系	基本目標等		健やかに、生きがいを持って暮らせるまち		市長公約との関係	○
	施策目標等		13.平和の大切さを後世に伝えるまち			
との 合 戦 略 関 係	基本目標					
	施策目標					

取り組みの概要	非核平和都市の宣言都市として、「平和の燈火（あかり）」などのさまざまな事業を通じて、平和意識の啓発を行う。
---------	---

進捗を測る主な指標

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
平和に関する啓発イベントへの延べ参加人数	目標値	6,400	6,500	6,600	6,700	人
	実績	1,812				

実行計画を構成する事務事業

平和に関する啓発事業	本市は戦時中、国内屈指の軍需施設を有する軍需のまちであったが、禁野火薬庫大爆発の経験から平和のまちへと歩んできた歴史を持つ。こうした歴史を風化させないため大爆発のあった3月1日を「枚方市平和の日」に制定し、記念事業の実施を通して市民の平和意識の醸成を図る。また、1982年には大阪府内で最初に「非核平和都市宣言」を行うとともに、1986年から日本非核宣言自治体協議会（会長・長崎市長）の副会長市を務めるなど、核兵器のない平和な社会の実現を目指す。	担当課	人権政策室
------------	---	-----	-------

令和2年度事業費（決算ベース）

事業費総額	3,917千円
-------	---------

実績と評価

実績	平和に関する啓発イベントへの延べ参加人数は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言の発出等により、中止としたイベントが多かったため、目標数値に至らなかった。	評価	－
----	---	----	---

実行計画シート

実行計画 名称		14-1	母子の健康づくりの推進			
総合計 画体 系	基本目標等	一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち			市長公約との関係	○
	施策目標等	14.安心して妊娠・出産できる環境が整うまち				
との 合 関 係 略	基本目標	1.安心して子どもを産み育てることができ、子どもの健やかな成長と学びを支える				
	施策目標	1-1.安心して妊娠・出産できる環境が整うまち				

取り組みの概要	妊娠・出産から子育て期までの切れ目ない支援を推進するため、妊産婦健康診査の助成や妊娠・育児に関する知識の普及、産後ケア事業、相談支援など母子の健康づくりを推進する。
---------	--

進捗を測る主な指標

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
特定不妊治療の1人あたりの受診件数(平均)	目標値	1.4	1.4	1.4	1.4	件
	実績	1.3				
指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
不育症治療の1人あたりの治療件数(平均)	目標値	1.1	1.1	1.1	1.1	件
	実績	1.1				
指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
妊婦健康診査受診件数	目標値	31,500	30,600	29,900	29,400	件
	実績	30,231				
指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
産婦健康診査受診件数	目標値	5,109	4,825	4,665	4,509	件
	実績	3,947				
指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
母子健康教育・相談事業における相談者数	目標値	6,225	6,225	6,225	6,225	人
	実績	1,804				
指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
産後ママ安心ケアサービス利用延件数	目標値	200	200	200	200	件
	実績	239				
指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
すこやか健康相談室の相談・支援件数	目標値	4,139	4,139	4,139	4,139	件
	実績	4,212				

実行計画を構成する事務事業

特定不妊治療費助成事業	不妊治療のうち、体外受精及び顕微授精(以下「特定不妊治療」という。)については、1回の治療費が高額であり、その経済的負担が重いことから、特定不妊治療に要する費用の一部を助成することにより、経済的負担の軽減を図り、出産への支援を行う。	担当課	保健予防課
不育症治療費助成事業	妊娠はするが、流産、死産などを2回以上繰り返す等、結果的に子供を持ってない場合に「不育症」とされるが、その検査や治療に要した費用に対して助成を行うことで出産及び育成への支援を図る。	担当課	保健予防課
妊産婦健康診査事業	妊娠中の市民が妊産婦健康診査を受診しやすい環境を整備し、安心、安全な妊娠及び出産を支援する。	担当課	地域健康福祉室 母子保健担当
母子保健事業	母子健康相談や様々な指導サービス等を実施することを通して、妊娠、出産から乳幼児期において、安心して子どもを産み、健やかに育てることができる環境づくりと乳幼児の健やかな心身の成長を支援する。	担当課	地域健康福祉室 母子保健担当

市民の健康を支える地域拠点整備事業	赤ちゃんから高齢者までが健康でいきいきと暮らすことができるまち、安心して楽しく子育てできるまちを実現するため、妊娠・出産から子育て期、さらには高齢期までの切れ目のない支援を提供する相談支援拠点を整備し、より身近な地域で、地域の実情に応じた相談支援を行う。福祉に係る相談機能を付加し、「(仮称)健康福祉相談センター」に改編する。	担当課	福祉事務所 健康福祉総合相談担当
未熟児養育医療給付事業	養育のため病院等で出生後引き続き入院することを必要とする未熟児に対し、その養育に必要な助成を行い保護者の経済的負担の軽減を図る。	担当課	医療助成課

令和2年度事業費(決算ベース)

事業費総額	511,303千円
-------	-----------

実績と評価

実績	特定不妊治療の1人あたりの受診件数(平均)は目標値未達となった。 不育症治療の1人あたりの治療件数(平均)は目標値を達成した。 妊婦健康診査受診件数及び産婦健康診査受診件数は、それぞれ妊娠届出数・出生数が見込みを下回り、受診件数の目標値未達につながった。 母子健康教育・相談事業における相談者数は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため生涯学習市民センターが利用中止になり、乳幼児健康相談の実施回数が大幅に減少し、目標値未達となった。 産後ママ安心ケアサービス利用延件数は目標値を達成した。 すこやか健康相談室の相談・支援件数は、新型コロナウイルス感染拡大により外出しづらい状況ではあったが、目標値を上回った。支援の必要な人が増えているとも言えるので、必ずしも増加することが良いとはいえない。	評価	B
----	--	----	---

実行計画シート

実行計画 名称		15-1	子育て支援の充実				
総合計 画体 系	基本目標等		一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち			市長公約との関係	○
	施策目標等		15.子どもたちが健やかに育つことができるまち				
との 関 係 略	基本目標		1.安心して子どもを産み育てることができ、子どもの健やかな成長と学びを支える				
	施策目標		1-2.子どもたちが健やかに育つことができるまち				

取り組みの概要	子育て世帯が交流できる場を確保するなど、地域の子育て支援を進める。また、子育てに対する相談体制の充実を図るとともに、児童虐待等の問題に対し、発生予防、早期発見、早期対応の取り組みを進める。
---------	--

進捗を測る主な指標

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
地域子育て支援拠点におけるイベント参加親子数	目標値	80,065	80,895	81,733	82,581	人
	実績	24,752				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
「預かり保育についてのアンケート」における「保護者の方は、預かり保育を効果的に利用できていますか？」の質問項目に対する肯定的評価（「利用できている」）の割合	目標値	70	71	71	72	人
	実績	91				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
家庭における安定した養育ができることにより、適正な親子関係を育み、相談終了となった件数	目標値	167	167	167	167	件
	実績	188				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
親子支援プログラムへの参加者数	目標値	178	178	178	178	人
	実績	54				

実行計画を構成する事務事業

地域子育て支援事業	地域の子育て支援機能の充実を図り、子育ての不安感等を緩和し、健やかな育ちを促進する。	担当課	私立保育幼稚園課
ふれあいルーム補助事業	①子どもとその保護者の交流の場を設け、子育てに対する保護者の負担感の軽減と子育て力の向上を図る。 ②子どもが読書に親しむ機会を設けるとともに、読書活動にかかる保護者への支援を行う。	担当課	私立保育幼稚園課
預かり保育事業	幼児の遊び場の確保や保護者の様々な状況に対応した支援を行う「預かり保育事業」を実施し、保護者支援の充実を図る。	担当課	公立保育幼稚園課
多胎児家庭育児支援事業（補）	多胎児を養育している世帯に対して、ホームヘルパーの派遣やファミリーサポートセンターの利用料の助成を行うことで、保護者の精神的、身体的負担を軽減し、子どもの健やかな育ちを促進する。	担当課	私立保育幼稚園課
乳児家庭全戸訪問事業	乳児のいる家庭の孤立化を防ぎ、地域の中で子どもが健やかに育つことができる環境整備を図る。	担当課	私立保育幼稚園課
家庭児童相談業務	子どもの人権を守り、家庭における適正な児童養育とその家庭及び児童の福祉の向上を図る。	担当課	子どもの育ち見守りセンター
土日夜間電話相談事業	夜間、休日も含めいつでも子育てについて気軽に相談ができ、適切なアドバイスが得られるよう電話相談を実施する。	担当課	子どもの育ち見守りセンター
育児支援家事援助事業	育児の孤立化を防ぎ良好な親子関係を育むため、支援が必要な乳児がいる家庭に家事・育児援助を行う。	担当課	子どもの育ち見守りセンター

親子支援プログラム事業	家庭における適切な児童養育とその家庭及び児童福祉の向上を図る。	担当課	子どもの育ち見守りセンター
-------------	---------------------------------	-----	---------------

令和2年度事業費（決算ベース）

事業費総額	98,040千円
-------	----------

実績と評価

実績	地域子育て支援拠点におけるイベント参加親子数は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う子育てイベントの中止により、イベントの開催回数が減少し、目標値未達となった。 「預かり保育についてのアンケート」における「保護者の方は、預かり保育を効果的に利用できていますか？」の質問項目に対する肯定的評価（「利用できている」）の割合は、目標値を大きく上回った。 家庭における安定した養育ができることにより、適正な親子関係を育み、相談終了となった件数は目標値を達成した。子や保護者のニーズを把握し、面接を続けることで一定の方向性をつけることができた。 親子支援プログラムへの参加者数は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、予定より実施回数が減少し、目標値未達となった。これに代えて、動画配信による講座を実施し、子支援プログラムに代わる動画配信では、保育所（園）・幼稚園・認定こども園などの子の所属機関の職員にもプログラムの概要を理解してもらったきっかけとなった。	評価	A
----	--	----	---

実行計画シート

実行計画 名称		15-2	保育環境等の充実			
総合計 画体 系	基本目標等		一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち		市長公約との関係	○
	施策目標等		15.子どもたちが健やかに育つことができるまち			
との 総合 関係 戦略	基本目標		1.安心して子どもを産み育てることができ、子どもの健やかな成長と学びを支える			
	施策目標		1-2.子どもたちが健やかに育つことができるまち			

取り組みの概要		潜在的な待機児童の解消や、年度途中の転入者・育児休業明けの保護者の保育ニーズに対応するため、新たな手法で入所枠の拡大を図るなど、通年の待機児童ゼロを実現する。また、小学校入学以降も安心して就労できる環境、子どもたちが学校で楽しく安全に過ごせる環境の整備を進める。
---------	--	---

進捗を測る主な指標

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
施設整備に伴う増加定員数	目標値	50	40	75	0	人
	実績	50				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
公立保育所民営化実施件数	目標値	0	1	2	1	件
	実績	0				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
年間ショートステイ利用延べ日数	目標値	540	540	540	540	日
	実績	634				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
【ひらかた子ども発達支援センター】通所延べ利用者数	目標値	13,134	13,134	13,134	13,134	人
	実績	10,365				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
【留守家庭児童会室】待機児童数(1月末時点)	目標値	0	0	0	0	人
	実績	0				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
留守家庭児童会室と放課後子ども教室の延べ利用者数	目標値	7,534	26,629	26,778	1,151,679	人
	実績	5,000				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
【枚方子どもいきいき広場】参加児童数	目標値	53,280	53,650	54,020	54,390	人
	実績	10,287				

実行計画を構成する事務事業

私立保育所等施設整備補助事業	私立保育所及び幼保連携型認定こども園の整備・防犯対策などの拡充を推進し、良好な保育環境をつくることと合わせて、定員増を図り、待機児童の解消に努める。	担当課	私立保育幼稚園課
公立保育所民営化事業	公立保育所を民営化することにより、公立保育所にかかる運営経費を削減し、削減した経費をもって保育・子育て支援策の拡充を図る。	担当課	私立保育幼稚園課
小規模保育施設整備事業	年度途中も含めた待機児童の解消に向けた取り組みとして、待機児童の大部分を占める3歳未満児の保育を行う小規模保育施設の整備を行うとともに、小規模保育施設を整備する法人に対して補助を行う。	担当課	私立保育幼稚園課
一時預かり補助事業	保育ニーズが多様化している中で、保育の要件を満たさない児童(保護者の入院や育児疲れ、週2、3日程度の就労)を対象に、市民が安心して子育てができるよう、一時預かりを実施する。	担当課	私立保育幼稚園課
一時預かり補助事業（幼稚園型）	幼稚園（新制度移行園及び私学助成園）及び認定こども園に在籍する児童を対象に、平日の教育時間前後等において一時預かりを実施する。	担当課	私立保育幼稚園課

預かり保育事業	幼児の遊び場の確保や保護者の様々な状況に対応した支援を行う「預かり保育事業」を実施し、保護者支援の充実を図る。	担当課	公立保育幼稚園課
保育士等就職支援センター事業	保育士資格を有する者であって保育士として就業していない潜在保育士の就職や保育所を含めた児童福祉施設、認定こども園、小規模保育事業実施施設等の潜在保育士活用支援等を行い、保育施設における安定的な保育士確保と待機児童対策の円滑な実施を図る。	担当課	私立保育幼稚園課
病児保育事業	病気またはその回復期で、集団保育が適当でない児童の保育を行うことにより、保護者が安心して仕事ができるよう支援する。	担当課	私立保育幼稚園課
子育て短期支援事業	保護者の社会的事由等のために不在になったり、保護者の仕事が恒常的に夜間にわたったりすることにより、一時的に家庭での養育が困難な子どもの生活の安定を図り、子育てを支援する。	担当課	子どもの育ち見守りセンター
障害児相談・通所支援事業	障害児の適性に応じ、自立した日常生活又は社会生活が営むことができるよう、必要な児童福祉サービスの給付等の支援を行う。	担当課	福祉事務所 障害福祉担当
ひらかた子ども発達支援センター施設管理事業	障害や発達上支援の必要がある児に対して、障害や発達に応じた専門的な保育・療育を提供するとともに、保護者や家族に対しても支援することで、保育・子育て支援施策の向上を図る。	担当課	ひらかた子ども発達支援センター
総合型放課後事業（放課後キッズクラブ）	共働き家庭等の「小1の壁」を打破するとともに、次代を担う人材を育成するため、全ての就学児童が放課後等を安全・安心に過ごす、本市の実情に即した児童の放課後環境の整備を図る。	担当課	教育支援室 放課後子ども担当
留守家庭児童会室整備事業	留守家庭児童会室の建替え・修繕、及び余裕教室の改修等を行い、児童の安全性と快適性を確保する。	担当課	教育支援室 放課後子ども担当
留守家庭児童会室運営事業	保護者の労働・病気等により、保育を必要とする小学1年生から6年生までの児童に、放課後に適切な遊び及び生活の場を提供し、もってその健全な育成を図る。	担当課	教育支援室 放課後子ども担当
枚方子どもいきいき広場補助事業	土曜日の学校休業日を基本に、地域の主体的な取り組みとして児童健全育成事業である「子どもいきいき広場」事業を実施する団体に対して、これからの時代を担う児童の「生きる力」を育むとともに、その健全な育成を図ることを目的に、補助金を交付する。	担当課	教育支援室 放課後子ども担当

令和2年度事業費（決算ベース）

事業費総額	2,925,318千円
-------	-------------

実績と評価

実績	施設整備に伴う増加定員数は、樋之上保育園と走谷ちどり保育園の増改築により50人の定員増を行い、目標値を達成した。 年間ショートステイ利用延べ日数は目標値を達成した。 【ひらかた子ども発達支援センター】通所延べ利用者数は、新型コロナウイルス感染症対策のための臨時休所等により、利用者数は見込みを下回った。 【留守家庭児童会室】待機児童数(1月末時点)は0で、目標値を達成した。 留守家庭児童会室と放課後子ども教室の延べ利用者数は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い夏季開催予定であったキッズクラブのモデル事業を中止したため、目標値未達となった。 【枚方子どもいきいき広場】参加児童数は、新型コロナウイルス感染症に因る影響で実施が難しかったため、目標値未達となった。	評価	A
----	---	----	---

実行計画シート

実行計画 名称		15-3	ひきこもりや若年無業者、ひとり親家庭の自立に向けた支援			
総合計 画体 系	基本目標等	一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち			市長公約との関係	○
	施策目標等	15.子どもたちが健やかに育つことができるまち				
との 総合 関係 戦略	基本目標	1.安心して子どもを産み育てることができ、子どもの健やかな成長と学びを支える				
	施策目標	1-2.子どもたちが健やかに育つことができるまち				

取り組みの概要		ひきこもりや若年無業者（ニート）の社会的自立に向けた支援を行うとともに、子どもの貧困対策を推進するなど、子どもや若者が社会生活を円滑に営める環境づくりを進める。また、子どもの健やかな成長を支えるため、ひとり親家庭の自立に向けた取り組みを進める。
---------	--	--

進捗を測る主な指標

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
「枚方市ひきこもり等子ども・若者相談支援センター」で受け付けた延べ相談件数	目標値	2,550	2,550	2,550	2,550	件
	実績	2,418				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
【母子家庭等就業・自立支援センターにおける】相談や講習を通じて、技能の取得や就職が実現した人の数	目標値	10	10	10	10	人
	実績	10				

実行計画を構成する事務事業

ひきこもり等子ども・若者相談支援事業	平成22年4月に子ども・若者育成支援推進法が施行され、本市においてもニート・ひきこもり等の対策を進めるため、平成25年4月に「ひきこもり等子ども・若者相談支援センター」を設置した。また同年5月に「枚方市子ども・若者育成計画～ひきこもり等の子ども・若者の自立に向けて～」を策定するなど、ひきこもりやニート、不登校の子ども・若者の社会的自立に向けた総合的な支援を推進する。	担当課	子どもの育ち見守りセンター
枚方公園青少年センター青少年サポート事業	いじめ、不登校、ひきこもりや人間関係等の、青少年の悩みや青少年問題全般について、早期解決に資することを目的に行う。	担当課	子ども青少年政策課
ひとり親家庭等就業・自立支援事業	母子及び父子並びに寡婦福祉法に基づき就業相談や就業支援講習会を実施する「母子家庭等就業・自立支援センター事業」や母子・父子自立支援員によるひとり親家庭及び寡婦の相談、地域の身近な相談者として概ね小学校区に1名ずつ設置する「母子福祉推進委員」による相談など、ひとり親家庭の相談・支援を行うことにより、ひとり親家庭等の自立促進と福祉の増進を図る。	担当課	子どもの育ち見守りセンター
ひとり親家庭等日常生活支援事業	ひとり親家庭及び寡婦が自立促進に必要な事由や疾病など社会通念上必要な事由のために、日常生活を営むのに一時的に支障が生じている場合に家庭生活支援員を派遣し、福祉の増進を図る。	担当課	子どもの育ち見守りセンター

令和2年度事業費（決算ベース）

事業費総額	5,365千円
-------	---------

実績と評価

実績	「枚方市ひきこもり等子ども・若者相談支援センター」で受け付けた延べ相談件数は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い面接相談が減少し、目標値未達となったが、電話相談は昨年よりも増加した。 【母子家庭等就業・自立支援センターにおける】相談や講習を通じて、技能の取得や就職が実現した人の数は、目標値を達成した。就職・転職相談者のうち1名を就職に結びつけた。	評価	A
----	--	----	---

実行計画シート

実行計画 名称		15-4	健やかな育ちを支える仕組みづくり				
総合計 画体 系	基本目標等		一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち			市長公約との関係	○
	施策目標等		15.子どもたちが健やかに育つことができるまち				
との 総合 関係 戦略	基本目標		1.安心して子どもを産み育てることができ、子どもの健やかな成長と学びを支える				
	施策目標		1-2.子どもたちが健やかに育つことができるまち				

取り組みの概要		子ども医療費への支援策の充実について検討を進める。また、地域と連携して子どもたちの居場所をつくり、さまざまな活動と成長を見守る環境を整える。
---------	--	--

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
1歳6か月児健康診査受診率	目標値	100	100	100	100	%
	実績	94,90				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
【子ども医療証交付対象者】1人あたりの受診件数	目標値	13	13	13	13	件
	実績	10				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
【子ども食堂への】子どもの延べ参加人数	目標値	12,000	12,300	12,600	12,900	人
	実績	5,989				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
子ども110番運動協力件数	目標値	5,000	5,000	5,000	5,000	件
	実績	4,730				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
青少年文化事業への参加者数	目標値	2,590	2,600	2,610	2,620	人
	実績	146				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
課題を抱える子どもやその家庭に対し、関係機関や支援制度等の必要な支援につなげた件数	目標値	20	25	30	35	件
	実績	6				

実行計画を構成する事務事業

乳幼児健康診査事業	乳幼児に対して健康診査を行い疾病の予防や早期発見を図るとともに、保育者に対し健康相談、保健指導を行うことで、安心して子育てが出来るよう支援し、もって乳幼児の健全な育成を図る。	担当課	地域健康福祉室 母子保健担当
子ども医療費助成事業	中学校3年生までの児童に対して、保険診療による自己負担の一部を助成することにより、子どもの保健の向上に寄与し、健やかな育成を図るとともに、子育て世代の経済的負担を軽減する。	担当課	医療助成課
多子世帯医療費助成事業	子ども医療助成およびひとり親家庭医療助成受給者の自己負担月上限額を、多子世帯およびひとり親世帯においても1人分の自己負担月上限額とすることで、医療費負担の軽減を図り、多子世帯の子育て支援策とする。	担当課	医療助成課
ひとり親家庭医療費助成事業（扶）	ひとり親家庭に対し、保険診療による自己負担の一部を助成することにより、生活の安定と児童の健全な育成を図る。	担当課	医療助成課
身体障害児及び長期療養児等療養指導事業	身体の機能に障害のある児及び慢性疾患により長期にわたり療養を必要とする児に対し、その状況に応じた適切な指導を行い、日常生活における健康の保持・増進及び福祉の向上を図る。	担当課	地域健康福祉室 母子保健担当

子どもの居場所づくり補助事業	平成25年6月に、「子どもの貧困対策の推進に関する法律」が制定され、平成26年8月には、「子供の貧困対策に関する大綱」が閣議決定されるなど、各市町村において、家庭的・経済的に問題を抱えた家庭の子どもに対する対策が求められている中、子どもへの「食事の提供」等を行う地域団体の取り組みを支援することで、地域と連携しながら「子どもの居場所づくり」を効果的に推進する。	担当課	子どもの育ち見守りセンター
枚方公園青少年センター青年文化事業	青少年と交流の機会・場所を提供するため、各種学習・文化事業を実施し、青少年の健全育成につなげる。	担当課	子ども青少年政策課
青少年健全育成事業	青少年を取り巻く環境が大きく変化する中、次代を担う青少年が良好な環境のもとで心身共に健やかに成長できるよう、青少年育成指導員間の連携を図り、青少年の健全育成を行うための様々な事業に取り組む。	担当課	子ども青少年政策課
子どもの課題対策事業	貧困の連鎖や虐待、不登校などの子どもが抱える課題に対して、関係部署が連携しながら、効果的な対策を検討し、支援策の充実につなげる。また、関係部署との連携と切れ目ない支援を実現するため子どもの情報を一元管理し共有できるシステムの構築を進める。	担当課	子どもの育ち見守りセンター
「（仮称）子どもを守る条例」制定事務	令和元年度中から令和2年度にかけて、プロジェクトチームによる検討や審議会からの意見聴取の他、パブリックコメントや市民説明会などを実施した上で、令和2年度中の条例制定を行う。	担当課	子どもの育ち見守りセンター

令和2年度事業費（決算ベース）

事業費総額	1,430,779千円
-------	-------------

実績と評価

実績	1歳6か月児健康診査受診率は、新型コロナウイルス感染症対策を講じるため、実施回数を増やすとともに、1回あたりの定員を減らし3密を避けて実施した結果、感染拡大状況においても目標値に近い受診率となった。 【子ども医療証交付対象者】1人あたりの受診件数は、新型コロナウイルス感染症の影響により目標値未達となった。 【子ども食堂への】子どもの延べ参加人数は、新型コロナウイルス感染拡大により開催できない子ども食堂があったため、目標値未達となった。 子ども110番運動協力件数は目標値未達であったが、概ね想定通りだった。 青少年文化事業への参加者数は、コロナ禍により、青少年教室、枚方市少年少女合唱団の定期発表会、サンサン人形劇場、青年祭、1DAYフェスティバルなど大半の活動が中止となり、目標値未達となった。 課題を抱える子どもやその家庭に対し、関係機関や支援制度等の必要な支援につなげた件数は目標値未達となった。相談を受け、関係機関へつなぐまでは支援が進むが、家庭にまで届くのが困難であった。	評価	C
----	---	----	---

実行計画シート

実行計画 名称		16-1	自ら考え生きる力と学力を育む教育の推進			
総合計 画体 系	基本目標等	一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち			市長公約との関係	○
	施策目標等	16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち				
との 総合 関係 戦略	基本目標	1.安心して子どもを産み育てることができ、子どもの健やかな成長と学びを支える				
	施策目標	1-3.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち				

取り組みの概要		情報化社会の進展を踏まえ、自ら学ぶ力を育むため、プログラミング教育や外国語によるコミュニケーション能力の育成などを通じてグローバル社会における生きる力を育む教育を推進する。
---------	--	--

進捗を測る主な指標

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
ICTを活用した授業に対する自己評価に対して肯定的な回答をした児童生徒の割合	目標値	70	80	90	100	%
	実績	94				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
市費負担任期付教員の配置人数	目標値	71	70	68	60	人
	実績	74				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
全国学力・学習状況調査における全国平均正答率から見た本市の平均正答率	目標値	1.01以上	1.01以上	1.01以上	1.01以上	倍
	実績	-				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
外国の人と話したり、接したりしたいと思う児童・生徒の割合	目標値	69	72	75	80	%
	実績	71				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
放課後自習教室等の参加人数	目標値	1,500	1,500	1,500	1,500	人
	実績	1,601				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
受講した研修内容を会議等で伝達したり授業等で実践した教職員の割合	目標値	100	100	100	100	%
	実績	92.4				

実行計画を構成する事務事業

小中学校教育用ＩＣＴ機器等整備事業	将来の予測が難しい社会において、情報や情報技術を受け身で捉えることなく、主体的に選択していく力が必要となる。これらの力を身につけるためには、日々の授業において、主体的・対話的で深い学びを実現することが重要であり、子どもたちの情報活用能力や教育の質の向上を育むため、児童生徒及び教員に一人一台のタブレットPCを整備する。	担当課	学校教育室 教育研修担当
枚方市少人数学級充実事業	小学校における少人数学級編制を充実させ、子どもたち一人ひとりに対し、きめ細かな指導を行うことで、児童への教育効果を高める。	担当課	学校教育室 教職員担当
小中一貫教育推進事業	子どもたちの「確かな学び」と「自立の力」を育み、グローバル時代をたくましく生きぬく子どもを育成するため、各中学校区がそれぞれの現状や課題に応じながら、特色を活かした小中一貫教育を推進する。また、小学1年生から4年生までは、35人学級編制、小学5・6年生は、一部教科担任制や習熟度別指導、ティーム・ティーチング等の少人数指導、中学生は、習熟度別指導等を含む少人数指導など、9年間における児童・生徒の発達段階に応じた指導体制の充実を図る。	担当課	学校教育室 教育指導担当
読書活動推進事業	子どもたちの読書活動を推進し、授業において課題解決や探究活動に取り組む力を育むため、市内の中学校区に学校司書を配置し、市立図書館と連携しながら学校図書館の有効活用に取り組む。	担当課	学校教育室 教育指導担当

英語教育推進事業	子どもたちの英語によるコミュニケーション能力の育成を図るため、小中学校間で連携しながら、外国人英語教育指導助手(NET)や日本人英語教育指導助手(JTE)を配置し、小中学校の英語教育を推進する。また、英語の4技能をバランスよく育成するため、中学生を対象に英語外部検定試験を実施する。	担当課	学校教育室 教育指導担当
学力向上推進事業（放課後自習教室事業）	児童・生徒の学習意欲を高め、学力や自学自習力を育むとともに、基礎学力の向上を図るために、授業・課業時間外や家庭で学習できる環境の整備を推進する。また、民間事業者への委託による放課後自習教室(小学校)や放課後学習教室(中学校)を実施し、児童・生徒の学力向上に取り組む。	担当課	学校教育室 教育指導担当
「まなびング」サポート事業	小中学校において、学習指導をサポートする大学生等を配置することにより、児童・生徒の学ぶ機会の充実を図る。	担当課	学校教育室 教育指導担当
教職員育成事業	教職員の資質・指導力の一層の向上を図るため、市独自の研修カリキュラムのもと、経験年数や職務に応じて行うものや、高い指導力の育成を図るもの等、多種多様な教職員研修を実施する。また、指導主事や教育推進プランナー等が学校へ訪問し研究授業などでの指導助言等を行う。	担当課	学校教育室 教育研修担当

令和2年度事業費（決算ベース）

事業費総額	992,938千円
-------	-----------

実績と評価

実績	ICTを活用した授業に対する自己評価に対して肯定的な回答をした児童生徒の割合は、目標値を達成した。ICTを活用した授業を本格化し、児童生徒には肯定的に受け止められた。 市費負担任期付教員の配置人数は目標値を達成した。 外国の人と話したり、接したりしたいと思う児童・生徒の割合は、日常的にNETが学校にいてことで、英語を自然に使用する機会が定着し、目標値を達成した。 放課後自習教室等の参加人数は、目標値を達成した。民間事業者への委託が、参加人数に影響を与えた。 受講した研修内容を会議等で伝達したり授業等で実践した教職員の割合は目標値未達となった。	評価	C
----	--	----	---

実行計画シート

実行計画 名称		16-2	快適で安心できる学習環境づくり				
総合計 画体 系	基本目標等		一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち			市長公約との関係	○
	施策目標等		16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち				
との 総合 関係 戦略	基本目標		1.安心して子どもを産み育てることができ、子どもの健やかな成長と学びを支える				
	施策目標		1-3.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち				

取り組みの概要		子どもたちと向き合うことに専念できる環境づくりや教職員にとって働きやすい職場づくりなど、学校運営や環境整備を進める。
---------	--	--

進捗を測る主な指標

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
全員給食実施率	目標値	0	10	10	10	%
	実績	0				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
中学校給食喫食率	目標値	35	40	45	50	%
	実績	33.80				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
生徒による暴力行為の発生件数	目標値	320	315	310	305	件
	実績	124				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
スクールカウンセラーによる相談対応件数	目標値	10,500	10,500	10,500	10,500	件
	実績	5,998				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
スクールソーシャルワーカーが対応するケース数	目標値	1,040	1,040	1,040	1,040	件
	実績	467				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
中学校における認知したいじめの対応件数	目標値	190	190	190	190	件
	実績	271				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
小学校における認知したいじめの対応件数	目標値	675	675	675	675	件
	実績	658				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
不登校児童・生徒の割合	目標値	小0.62 中4.0	小0.61 中4.0	小0.60 中4.0	小0.59 中4.0	%
	実績	小1.04 中4.75				

実行計画を構成する事務事業

中学校給食における全員給食実施事業	成長期にある中学生が食育の実践とも言える、栄養バランスのとれた安全・安心な学校給食を安定して摂ることで、健康な心身をつくとともに、生涯に渡る健康で豊かな食生活を送るための基礎を培うことを目的とする。	担当課	おいしい給食課
中学校給食充実事業	中学校給食の全員喫食への拡充をめざす。	担当課	おいしい給食課
コミュニティスクール推進事業	学校と地域住民等が力を合わせて学校運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校づくり」へ転換を図る。	担当課	学校教育室 教育指導担当

部活動指導協力者派遣事業	部活動の活性化と充実を図るとともに、顧問教員の時間的余裕を生み生徒指導や授業研究の時間を確保するため、各中学校に専門的な知識や技能を有する部活動指導協力者を派遣する。	担当課	学校教育室 教育指導担当
枚方市生徒指導体制充実事業	市立中学校に市費負担任期付教員または非常勤講師等を配置し、これまで以上にスクールカウンセラー等との連携を図り、子どもたちの声を受けとめ、きめ細かな対応ができる生徒指導体制を再編する。また、生徒にとって安全・安心な教育環境の充実を図り、生徒の豊かな人格形成を行う。	担当課	学校教育室 教育指導担当
「心の教室相談員」配置事業	小学校における教育相談体制の充実を図り、児童・保護者・教職員の課題等の解決を図る。	担当課	教育支援室 児童生徒支援担当
スクールカウンセラー配置事業	中学校における教育相談体制の充実を図り、生徒・保護者・教職員の課題解決を図る。	担当課	教育支援室 児童生徒支援担当
スクールアドバイザー派遣事業	枚方市立学校園で生じた緊急の課題に対し、幼児・児童・生徒等の心のケア、教職員等に対して助言を行うため、専門的な知識・経験を有する者を派遣する。	担当課	教育支援室 児童生徒支援担当
スクールソーシャルワーカー活用事業	いじめ、暴力行為、児童虐待など生徒指導上の課題、とりわけ不登校児童・生徒の課題の解決のために、教育分野に関する知識に加えて、社会福祉等の専門的な知識や技術を用いて、幼児・児童・生徒の置かれた様々な環境に働き掛けて支援を行うスクールソーシャルワーカーを配置・派遣し、学校・関係機関等と連携して、ケース会議等、多様な支援方法を用いて対応を図る。	担当課	子どもの育ち見守りセンター
教育相談事業	・児童・生徒及び市民からの電話による学校教育等に関わる相談を受け、適切にアドバイスをする。 ・枚方市立小中学校の保護者に対し、面談による継続的教育相談を実施する。 ・枚方市立学校園の教職員の相談を受け、適切にアドバイスをする。	担当課	教育支援室 児童生徒支援担当
いじめ問題対策事業	平成26年、「枚方市いじめ防止基本方針」を策定し、枚方市の関係部課と外部関係機関の連携を強化し、いじめの未然防止等に関する組織としていじめのない社会の実現に向け、本市のいじめ問題等の現状を共通認識するとともに、未然防止について各機関と意見交換を行う「枚方市いじめ問題対策連絡協議会」を設置する。	担当課	教育支援室 児童生徒支援担当
適応指導教室事業	主として心理的要因で不登校状態にある児童・生徒の自立のための支援を指導を行う。	担当課	教育支援室 児童生徒支援担当
不登校児童・生徒支援事業	不登校の兆候が見えた生徒に対して、その要因や背景に応じた適切な支援を行うことにより、不登校の未然防止に努めるとともに、不登校生徒に対して校内適応指導教室などを活用して教育相談や学習支援などを行い、不登校に対する適切な支援を行う。	担当課	教育支援室 児童生徒支援担当

令和2年度事業費（決算ベース）

事業費総額	40,499千円
-------	----------

実績と評価

実績	全員給食実施率は、新型コロナウイルス感染症に伴う緊急時の学校給食体制の検証として、全員給食の臨時的取り組みを実施し、課題等の洗い出しを行った。 中学校給食喫食率は、R1年度達成率より2ポイント上昇したものの、目標値未達となった。 生徒による暴力行為の発生件数は減少傾向で、目標値を達成した。 スクールカウンセラーによる相談対応件数は、新型コロナウイルス感染拡大による休校期間等の影響により、目標値未達となった。 スクールソーシャルワーカーが対応するケース数は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、活動のスタートが遅れたことで、目標値未達となった。 認知したいじめの対応件数は、中学校では目標値を上回り、小学校では目標値を下回った。いじめの認知について、小さな事象から認知されるようになり、学校への周知・指導・助言の効果が現れた。 不登校児童・生徒の割合は、コロナ不安、休校の影響により、想定より多くなり、目標値未達となった。	評価	C
----	--	----	---

実行計画シート

実行計画 名称		16-3	学校園施設等の整備			
総合計 画体 系	基本目標等	一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち			市長公約との関係	○
	施策目標等	16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち				
との 総合 関係 戦略	基本目標	1.安心して子どもを産み育てることができ、子どもの健やかな成長と学びを支える				
	施策目標	1-3.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち				

取り組みの概要	トイレの洋式化などの整備計画や、学校規模の適正化により、子どもたちが快適な学校生活を送ることができるよう、また子どもたちと向き合うことに専念できる環境づくりや教職員にとって働きやすい職場づくりを行うなど、環境整備を進める。
---------	---

進捗を測る主な指標

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
児童、生徒の交通事故件数	目標値	0	0	0	0	件
	実績	0				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
小中学校のトイレ工事实施箇所(系列)数	目標値	10	32	31	31	校
	実績	8				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
学校時間帯における児童生徒の被害件数	目標値	0	0	0	0	件
	実績	0				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
単クラスになっている学年がある、若しくは必要な教室を確保できていない学校数	目標値	10	10	6	6	校
	実績	10				

実行計画を構成する事務事業

校務用ICT機器等管理運営業務	全小中学校に配備した校務用コンピュータの適切な管理運営を行う。	担当課	学校教育室 教育研修担当
小学校安全監視事業	小学校の校門の適正な管理と来校者の受付・確認を行うことにより不審者の侵入を防止するとともに、地域に開かれた学校としての管理運営体制を確保する。また地域・保護者の協力を得ての「安全監視ボランティア」による活動を通して、地域ぐるみ、まちぐるみで子どもの安全を確保しようという意識を高める。	担当課	新しい学校推進室
通学路等安全対策事業	関係機関と協働して、枚方市立学校園の幼児・児童・生徒の通学路等の安全点検や安全確保を図る。	担当課	新しい学校推進室
学校整備・保全事業	学校施設の総合的かつ計画的な整備や保全を行う。	担当課	施設整備室
学習環境整備PFI事業	市立学校園における普通教室等への空調設備の整備並びに校内緑化等の環境負荷軽減策を取り入れた学習環境整備について、民間事業者の資金や技術力、創意工夫等を活用するPFI事業として実施する。	担当課	施設整備室
教室不足対応事業	児童・生徒数の増加により、教室が不足すると予測される学校について、教育環境の整備・向上を図るため、不足する教室等を新たに整備する。	担当課	施設整備室
学校給食事業	児童生徒の身体の健全な発達に資するため、2箇所共同調理場、2箇所の親子調理場及び26か所の単独調理場で、安全で栄養バランスのとれた美味しい学校給食を確実に児童へ提供する。	担当課	おいしい給食課
学校給食調理場施設維持管理事業	学校給食の調理等を行う2箇所の共同調理場、4箇所の親子調理場及び24箇所の単独調理場について、設備機能の維持保全とともに調理環境等の整備を図り、学校給食を確実に児童生徒へ提供する。	担当課	おいしい給食課
香里小学校単独調理場改修事業	より一層の安全・安心な学校給食の提供に向けて、老朽化が進む香里小学校単独調理場について効率的・効果的な整備を図る。	担当課	おいしい給食課

第三学校給食共同調理場の老朽化対策事業	より一層の安全・安心な学校給食の提供に向けて、老朽化が進む小学校給食調理場について効率的・効果的な整備を図る。	担当課	おいしい給食課
学校規模等適正化事業	学校規模等適正化の取り組みにより、子どもたちの教育環境の整備・向上を図る。	担当課	新しい学校推進室

令和2年度事業費（決算ベース）

事業費総額	4,571,085千円
-------	-------------

実績と評価

実績	児童、生徒の交通事故件数は0で、目標値を達成した。 小中学校のトイレ工事実施箇所（系列）数は、新型コロナウイルス感染症による夏休み期間短縮の影響により一部実施できず、目標値未達となった。 学校時間帯における児童生徒の被害件数は0で、目標値を達成した。 単クラスになっている学年がある、若しくは必要な教室を確保できていない学校数に変更はないが、令和4年4月に高陵小学校と中宮北小学校の学校統合を予定している。	評価	B
----	---	----	---

実行計画シート

実行計画名称		17-1	総合文化芸術センターの整備と市民文化の発信		
総合計画体系	基本目標等		一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち	市長公約との関係	○
	施策目標等		17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち		
と総合戦略の関係	基本目標				
	施策目標				

取り組みの概要	まちの価値を高め、集客と賑わいを創出する総合文化芸術センターを整備し、優れた文化芸術に触れる機会を提供するとともに、誰もが文化芸術に親しめる環境づくりを推進する。
---------	---

進捗を測る主な指標

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
総合文化芸術センターの来館者数	目標値	0	200000	304000	304000	人
	実績	0				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
文化芸術事業の参加者の満足度 アンケート結果で肯定的評価を行った回答率の事業平均	目標値	80	80	85	85	%
	実績	90				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
市民ギャラリー 公募展、主催展及び企画展の来場者数	目標値	8000	8000	8000	8000	人
	実績	2,676				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
ひらかた人形劇フェスティバルへの来場者数	目標値	2000	2000	2000	2000	人
	実績	425				

実行計画を構成する事務事業

総合文化施設整備事業	優れた文化芸術の鑑賞機会の提供と創造発信の場となる文化芸術の拠点として、総合文化施設を整備する。	担当課	文化生涯学習課
総合文化施設整備事業（施設整備室）	文化芸術の拠点として総合文化施設を整備する。	担当課	施設整備室
文化芸術補助事業	市民の文化活動の振興を図り、豊かな地域文化の創造を目指す。	担当課	文化生涯学習課
文化芸術創造拠点形成事業	市民による身近な文化芸術活動を促進するとともに、文化芸術に対する市民の関心及び理解を深める取り組みを進める。	担当課	文化生涯学習課
市民ギャラリー主催事業	市民ギャラリーは市民の創作活動の発表だけでなく、美術鑑賞活動と文化交流の場として機能を有しているため、充実した内容の各種事業を行う。	担当課	文化生涯学習課
市民ギャラリー運営事業	市民ギャラリーは、創作活動の発表と美術鑑賞の場として機能を有する文化施設であり、その管理運営を通じて市民の美術文化の向上に資するため、事務事業を円滑に遂行する。	担当課	文化生涯学習課
ふれあいホール運営事業	市民に工芸・クラフト等の発表及び鑑賞の場を提供し、市民文化の向上に資する。	担当課	文化生涯学習課
ひらかた人形劇フェスティバル支援事業	市内や市外の人形劇団の発表・交流や、地域との交流、さらには市民に人形劇の楽しさを味わってもらうことを目的に開催する。	担当課	文化生涯学習課
くずはアートギャラリー運営補助事業	枚方市文化国際財団にくずはアートギャラリー運営事業の補助金を支出することにより、美術家（専門家）等による主体的な交流活動の支援を通して、市民の鑑賞活動を促進し、美術文化の創造活動に寄与する。	担当課	文化生涯学習課

令和2年度事業費（決算ベース）

事業費総額	6,224,356千円
-------	-------------

実績と評価

実績	文化芸術事業の参加者の満足度アンケート結果で肯定的評価を行った回答率の事業平均は目標値を達成した。市民のニーズにあった文化事業を実施することができたため、満足度が高い結果を得られた。市民ギャラリー募展、主催展及び企画展の来場者数は、緊急事態宣言発出により長期間休館となり、主催事業が中止となったことで、目標値未達となった。 ひらかた人形劇フェスティバルへの来場者数は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため参加人数を限定して開催したことにより、目標値未達となった。	評価	－
----	--	----	---

実行計画シート

実行計画 名称		17-2	全ての市民のスポーツの普及と推進			
総合計 画体 系	基本目標等		一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち		市長公約との関係	○
	施策目標等		17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち			
との 総 合 関 係 略	基本目標					
	施策目標					

取り組みの概要	市民がスポーツに接する機会を増やし、誰もが気軽にスポーツを楽しむことができる環境づくりを進める。また、障害者のスポーツの普及・推進に取り組む。
---------	---

進捗を測る主な指標

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
スポーツ少年団活動支援事業 大会・イベントの回数	目標値	11	11	11	11	回
	実績	3				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
市立小学校体育施設開放事業 開放団体による利用回数	目標値	13,000	13,000	13,000	13,000	回
	実績	6,236				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
枚方体育協会 加盟団体主催・主管のスポーツ教室 実施回数	目標値	27	27	27	27	回
	実績	27				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
健康スポーツ普及事業 各事業参加者数	目標値	8,000	8,080	8,160	8,240	人
	実績	3,960				

実行計画を構成する事務事業

スポーツ少年団活動支援事業	スポーツ少年団活動をより活発にさせることによって、少年にスポーツに接する機会を与え、より多くのスポーツを通じ身体的・精神的両面の健全育成に寄与する。	担当課	スポーツ振興課
野外活動センター利用促進事業	野外活動センターの本来の設置目的である青少年の健全育成の場としての原点に戻り、活性化の第一歩として学校キャンプ(日帰り・宿泊)の利用拡大を目指し、その検証を踏まえて、進入路整備や活性化を図る。	担当課	スポーツ振興課
トップアスリートとのふれあい事業	単年度で実施される事業、イベント等を実施し、スポーツの振興を図る。	担当課	スポーツ振興課
市立小学校体育施設開放事業	市立45小学校の体育施設を開放し、市民の体力向上及び青少年の健全育成や明るい市民社会づくり等社会体育の普及振興に寄与する。	担当課	新しい学校推進室
枚方市スポーツ協会加盟団体活動補助事業	市民のスポーツ活動の振興を図るため、公益財団法人枚方体育協会に加盟する団体に補助金を交付し、活動の補助を行う。	担当課	スポーツ振興課
地域・競技スポーツコンサルティング事業補助事業	公益財団法人枚方体育協会の活動を補助して、市民のスポーツ活動の振興を図る。	担当課	スポーツ振興課
スポーツサポーターズバンク事業補助事業	公益財団法人枚方体育協会の活動を補助して、市民のスポーツ活動の振興を図る。	担当課	スポーツ振興課
健康スポーツ普及事業補助事業	公益財団法人枚方体育協会の活動を補助して、市民のスポーツ活動の振興を図る。	担当課	スポーツ振興課
市民オリンピック事業補助事業	公益財団法人枚方体育協会の活動を補助して、市民のスポーツ活動の振興を図る。	担当課	スポーツ振興課
新春走ろうかい事業補助事業	公益財団法人枚方体育協会の活動を補助して、市民のスポーツ活動の振興を図る。	担当課	スポーツ振興課
スポーツ推進委員関係事務	スポーツ基本法に基づき委嘱されたスポーツ推進委員が地域住民のスポーツに関して指導助言を行い、生涯スポーツの普及振興を図る。	担当課	スポーツ振興課

民間スポーツ施設開放事業	枚方市民間施設等活用推進協議会を設立し、市民のスポーツ活動の場の確保のために民間体育施設の開放を行い、効率的な活用を図る。	担当課	スポーツ振興課
--------------	---	-----	---------

令和2年度事業費（決算ベース）

事業費総額	41,045千円
-------	----------

実績と評価

実績	スポーツ少年団活動支援事業大会・イベントの回数は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、多くの大会等が中止となり、目標値未達となったが、枚方体育協会加盟団体主催・主管のスポーツ教室実施回数は、人数を制限して実施し、目標値を達成した。 市立小学校体育施設開放事業開放団体による利用回数は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、数か月施設を利用中止したため、目標値未達となった。 健康スポーツ普及事業各事業参加者数は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、定期講習会が中止され、目標値未達となった。新たな取り組みとしてSNSによる運動動画配信を行った。	評価	－
----	---	----	---

実行計画シート

実行計画 名称		17-3	生涯学習活動の支援			
総合計 画体 系	基本目標等		一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち		市長公約との関係	○
	施策目標等		17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち			
と総 合戦 略 関係	基本目標					
	施策目標					

取り組みの概要	あらゆる世代の人が身近なところで学ぶことができるよう、市民ニーズに合わせた学習機会を創出し、市民同士等がつながりを育める環境づくりを進める。また、魅力ある図書館運営と図書館機能の充実を図る。
---------	---

進捗を測る主な指標

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
生涯学習事業の参加者数	目標値	2,500	2,500	2,500	2,500	人
	実績	341				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
社会教育活動推進事業開催講座の募集定員に対する参加者数の割合	目標値	80	80	80	80	%
	実績	87.5				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
中央図書館の来館者数	目標値	491,092	491,092	491,092	491,092	人
	実績	236,394				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
図書館分館の来館者数	目標値	1,293,153	1,293,153	1,293,153	1,293,153	人
	実績	921,113				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
新香里ヶ丘図書館の来館者数	目標値	126,600	190,000	190,000	190,000	人
	実績	174,686				

実行計画を構成する事務事業

生涯学習事業	あらゆる世代の人が身近なところで学ぶことができる機会の創出を図り、成果を地域で生かし、市民同士がつながりを育むことができる環境づくりが求められており、市民あるいは他部署との連携事業や美術関係事業等を展開する。	担当課	文化生涯学習課
「なんでも、どこでも出前塾」実施事業	市民一人ひとりの生きがいや自己実現、自らの居場所や仲間づくり、地域とのつながりを生む市民の主体的な生涯学習活動の支援を行う。	担当課	文化生涯学習課
香里ヶ丘図書館建替事業	若年・子育て世代を中心とする新たな定住を促し、持続可能な都市を目指すために、香里ヶ丘地区のまちづくりの一環として、老朽化した香里ヶ丘図書館を建替える。	担当課	中央図書館
社会教育活動推進事業	社会教育基礎講座や家庭教育支援事業、社会教育（人権）講座などを通して、人が地域で生活するのに必要な基礎的な知識や技術を提供することにより、学習する主体を育てるとともに事業参加者の「気づき」を促す。	担当課	教育政策課
自動車文庫運営事業	図書館及び分室を利用することが不便な地域の市民に対して、自動車文庫により図書館サービスを提供する。	担当課	中央図書館
障害者利用促進事業	障害のある利用者等の読書環境を整備するとともに、音訳協力者等の養成を行い、障害者等の利用促進を図る。	担当課	中央図書館
図書館分館運営事業	図書館サービスにおける地域の拠点として、中央図書館および図書館分室と連携しながら、図書館資料の貸出やレファレンスサービス等の図書館サービスを提供する。	担当課	中央図書館
中央図書館運営事業	枚方市立図書館の核として図書館運営に係る企画立案、貸出サービス、読書活動の推進、関連機関との連携等の中心となり図書館サービスを提供する。	担当課	中央図書館

図書館分室運営事業	分館の利用が困難だが比較的人口が集中している地域に設置し、中央図書館および分館と連携しながら、図書館資料の貸出や読書支援等の図書館サービスを提供する。	担当課	中央図書館
子どもに本を届ける事業	子どもがたくさんの本と出会うことができるように、基金を積み立て、その基金を使って絵本や児童書を購入する。	担当課	中央図書館

令和2年度事業費（決算ベース）

事業費総額	199,911千円
-------	-----------

実績と評価

実績	生涯学習事業の参加者数は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、多くの事業が中止となり、開催できた事業でも定員を減らしての実施であったため、目標値未達となった。 社会教育活動推進事業開催講座の募集定員に対する参加者数の割合は目標値を達成したが、新型コロナウイルス感染症の影響により各種講座の開催数は減少した。 中央図書館の来館者数及び図書館分館の来館者数は、新型コロナウイルス感染拡大にかかる緊急事態宣言に伴い、図書館自体を閉館していた時期があったため、想定よりも少なくなり、目標値未達となった。 新香里ヶ丘図書館の来館者数は、積極的なPRにより、想定よりも多くの方の来館があり、目標値を達成した。	評価	－
----	--	----	---

実行計画シート

実行計画 名称		18-1	枚方市駅周辺の賑わいの創出			
総合計 画体 系	基本目標等		地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち		市長公約との関係	○
	施策目標等		18.人々が集い賑わい、魅力あふれる中心市街地のあるまち			
と総 合 戦 略 係	基本目標		3.産業の活性化と人々の交流・賑わいの創出によりまちの魅力を高める			
	施策目標		3-5.人々が集い賑わい、魅力あふれる中心市街地のあるまち			
取り組みの概要			交通結節機能や文化施設等の機能を活かし、人々が集い交流し、さまざまな活動が活発に展開される魅力的な広域中心拠点の形成に向けて取り組む。あわせて新たな行政機能の充実や新庁舎整備を含む枚方市駅周辺の再整備に取り組む。			

進捗を測る主な指標

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
枚方市駅周辺再整備ビジョン推進事業 具体化に向けた進捗率	目標値	40	60	80	100	%
	実績	40				
指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
枚方市駅周辺地区第一種市街地 再開発事業進捗率 (R2年度～R7年度の年割)	目標値	17	33	50	67	%
	実績	5				
指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
にぎわい空間創出事業 来場者数	目標値	5800	6100	6400	6700	人
	実績	4,109				

実行計画を構成する事務事業

枚方市駅周辺再整備ビジョン推進事業	「枚方市駅周辺再整備ビジョン」に基づき、本市の中心市街地として魅力あふれる賑わいのあるまちの実現に向けた連鎖型まちづくりの具体化を図るため、枚方市駅周辺再整備基本計画や枚方市新庁舎整備基本構想を策定し、各街区における取り組みを進める。	担当課	市駅周辺等まち活性化部
枚方市駅周辺地区第一種市街地再開発事業	他の街区に先駆け、「枚方市駅周辺再整備ビジョン」に定めるまちなか交流拠点及び広域駅前拠点の一部の形成を図るため、駅前広場や区画道路等の公共施設及び多様な都市機能と都市居住が集積する建築物の一体的な整備など、事業の実現に向けた技術的・財源的支援を行う。	担当課	市駅周辺等まち活性化部
枚方市駅周辺再整備事業	枚方市駅周辺再整備ビジョンに基づき、外周道路の整備、歩行者動線の整備等により安全な歩行空間、渋滞解消が可能となり市駅周辺ビジョン実現に向けた取り組みを進める。	担当課	道路河川整備課
にぎわい空間創出事業	枚方市駅周辺エリアを市民文化発信のコア地区として位置づけ、地域を活性化するため、岡東中央公園(にぎわい広場)で開催される各種イベント等を支援し、にぎわいの空間を創出する。	担当課	観光交流課
友好・交流都市物産展開催事業	都市交流の一環として、国内各友好都市や市民交流都市の物産を集めた物産展を枚方市民との「ふれあいの場」として位置づけ、広く市民に各都市の特産物の普及・宣伝を行うとともに、市民間の交流を促す。	担当課	観光交流課

令和2年度事業費(決算ベース)

事業費総額	802,386千円
-------	-----------

実績と評価

実績	枚方市駅周辺再整備ビジョン推進事業具体化に向けた進捗率は、目標値を達成した。枚方市駅周辺再整備基本計画及び枚方市新庁舎整備基本構想について、市議会や枚方市における国・府・市有財産の最適利用推進連絡会議、パブリックコメントを経て、令和3年3月に策定した。また、枚方市駅周辺地区第一種市街地再開発事業については、大阪府において令和3年2月に権利変換計画が認可された。枚方市駅周辺地区第一種市街地再開発事業進捗率(R2年度～R7年度の年割)は、市街地再開発組合において公共施設の設計等に時間を要したため、目標値未達となった。 にぎわい空間創出事業 来場者数は、新型コロナウイルス感染症の影響によりイベント開催数が想定より少なかったため、来場者数も減少した。	評価	—
----	--	----	---

実行計画シート

実行計画 名称		19-1	歴史的資源等の保存と活用				
総合計 画 体 系	基本目標等		地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち			市長公約との関係	○
	施策目標等		19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち				
との 関 係 略	基本目標		3.産業の活性化と人々の交流・賑わいの創出によりまちの魅力を高める				
	施策目標		3-6.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち				

取り組みの概要		歴史文化遺産を活用し、情報発信することによりまちへの愛着を育む。また、淀川舟運や東部地域の自然などの観光資源を整備し、交流機会を創出する。
---------	--	---

進捗を測る主な指標

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
ひらかた観光ステーション来場者数	目標値	52000	53000	54000	55000	人
	実績	24,528				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
舟運事業者が運航する舟運イベントの参加者数	目標値	2600	2780	2970	3150	人
	実績	541				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
枚方まつりや各種イベント等の来場者数	目標値	140000	140000	140000	140000	人
	実績	8,500				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
七夕イベント参加者数	目標値	9000	9000	9000	9000	人
	実績	－				

実行計画を構成する事務事業

枚方宿地区まちづくり協議会支援助成事業	歴史を生かした町並み景観の形成を促進するため活動を行う枚方宿地区まちづくり協議会の活動を支援することで、枚方宿地区住民の自主的なまちづくりを促し、地域の活性化を促進する。	担当課	観光交流課
国内友好都市等交流促進事業	友好都市との交流を深め市民への認知度を高める。教育・文化・産業等の各分野で相互交流を行う。	担当課	観光交流課
旧田中家鋳物民俗資料館管理運営事業	枚方に古くから残る鋳物の歴史や民具を活用し、効果的な活用に取り組むことで、枚方の歴史や人々の暮らしについての認識を深め、郷土愛を育てる。	担当課	文化財課
文化財活用事業	市内に点在する歴史文化遺産について、地域性や時代等によるまとまりを踏まえ、3つの「歴史回廊」を設定し文化財の活用を進める。	担当課	文化財課
枚方市駅観光拠点事業	枚方市の観光・物産・イベント等の案内、及び友好都市の物産の紹介などを実施し、ひらかた観光ステーションの利用価値を高め、もって枚方市駅観光拠点としての機能を強化する。	担当課	観光交流課
枚方フェスティバル協議会支援事業（補）	市内の様々なイベントを支援し、市民のふるさと枚方への愛着を一層深め、心と心のふれあいの輪を広げていくことで魅力あるまちづくりを図る。	担当課	観光交流課
市の花「桜」発信事業	郷土シンボルである市の花「桜」に対する市民の認識を深める。	担当課	観光交流課
市の花「菊」発信事業	市の花「菊」を発信するため、各々実施主体が異なる菊関連イベントの開催期間等を合わせ効率的に市の花「菊」をPRする。	担当課	観光交流課
菊人形支援事業（補）	2006年4月に策定された「新たな菊文化創造プラン」に基づく菊人形支援事業の実施により、枚方市の伝統的文化である菊人形に関する文化の普及を図る。	担当課	観光交流課
文化財保護管理事業	枚方市域に残された文化財（埋蔵文化財・民俗文化財）を将来に伝えるべく、適切に保護・保存するとともに、市民に対して文化財保護への理解と郷土への愛着を育むことを目的とした活動を行う。	担当課	文化財課

特別史跡百済寺跡再整備事業	昭和40年から42年の整備後、40年以上の歳月を経て各所の老朽化損壊変形が目立ち、表土の流失が著しい状態である。雨水流出抑制対策を含めた抜本的な遺構保存工事と合わせ、史跡公園として再整備を行う。	担当課	文化財課
「七夕」発信事業	地域資源「七夕」の発信を継続的に取り組み、地域や小学校・保育園などにも積極的に出張PRを行うなど、市民に郷土愛の醸成を図ることで「七夕伝説ゆかりのまち」を定着させ、機運を高める。	担当課	観光交流課
観光まちづくり推進事業	平成29年度に策定した「観光施策に関する考え方」に基づき、観光振興に向けて観光におけるニーズを定量的に把握するため、枚方訪問客へのヒアリングなどを行い、基礎データの収集及び分析を行う。また、本市の交流人口の増加に向けて、本市の魅力スポットの情報発信や観光情報発信に係る効果測定、観光客周遊の促進や地域資源の活用など、調査に基づき事業を実施する。	担当課	観光交流課
淀川舟運推進事業	阪神淡路大震災の教訓から災害時における輸送手段を確保するとともに、「川にひらかれたまち枚方」として魅力と活力のあるまちづくりを推進するため、淀川舟運整備推進協議会と連携し、淀川での舟運の再生を目指す。	担当課	観光交流課

令和2年度事業費（決算ベース）

事業費総額	118,240千円
-------	-----------

実績と評価

実績	ひらかた観光ステーション来場者数、舟運事業者が運航する舟運イベントの参加者数、枚方まつりや各種イベント等の来場者数及び七夕イベント参加者数は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う中止や開催日の減少等により、目標値未達となった。	評価	－
----	---	----	---

実行計画シート

実行計画 名称		19-2	産学公連携の推進			
総合計 画体 系	基本目標等		地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち		市長公約との関係	—
	施策目標等		19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち			
との 総合 関係 略	基本目標		3.産業の活性化と人々の交流・賑わいの創出によりまちの魅力を高める			
	施策目標		3-6.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち			

取り組みの概要	市民サービスや地域経済の活性化を図るため、学生のまちづくりへの参画を図り、産学公連携の取り組みを進める。
---------	--

進捗を測る主な指標

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
5大学で実施した事業に参加した市民(学生含む)の人数	目標値	2600	2700	2800	2900	人
	実績	934				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
「ひらかた市民大学」の参加者数	目標値	200	200	200	200	人
	実績	101				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
「子ども大学探検隊」の参加者数	目標値	250	250	250	250	人
	実績	—				

実行計画を構成する事務事業

学園都市ひらかた推進協議会事務	大学・市民・行政の3者が連携し、「学園都市ひらかた」の実現に向けたまちづくりの展開を図る。	担当課	企画政策室
ひらかた市民大学開催事業	市内5大学との連携・協力により特色ある各大学の専門的な知識・情報を生かして学習できる講座を市民に提供することで多様化・高度化する市民の学習意欲に応えるとともに生涯学習の推進・生きがいの増進を目指す。	担当課	文化生涯学習課
子ども大学探検隊事業	次代を担う子どもたちに、市内5大学に親しみを感じてもらい、将来への夢を育むきっかけをつくる取り組みとして、小学生対象の「大学探検隊」を実施する。あわせて、この取り組みを広くPRすることで、学園都市ひらかたの魅力を発信する。	担当課	文化生涯学習課

令和2年度事業費（決算ベース）

事業費総額	180千円
-------	-------

実績と評価

実績	5大学で実施した事業に参加した市民(学生含む)の人数は、新型コロナウイルス感染拡大により、予定していた事業の多くが中止となったため、目標値未達となった。 「ひらかた市民大学」の参加者数についても、新型コロナウイルス感染拡大により、2大学のみでの実施となり、感染症防止のために定員を少なくしたため、目標値未達となった。 「子ども大学探検隊」の参加者数は、新型コロナウイルス感染拡大により開催ができなかったため、目標値未達となった。	評価	—
----	--	----	---

実行計画シート

実行計画 名称		19-3	国際化施策の推進			
総合計 画体 系	基本目標等		地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち		市長公約との関係	○
	施策目標等		19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち			
との 総合 関係 略	基本目標		3.産業の活性化と人々の交流・賑わいの創出によりまちの魅力を高める			
	施策目標		3-6.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち			

取り組みの概要	友好都市との交流を推進し、多文化共生に向けた異文化への理解を図るとともに、市内の国際化に向けた取り組みを行う。
---------	---

進捗を測る主な指標

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
海外友好都市との交流事業 市民対象事業参加者の満足度	目標値	80	80	80	80	%
	実績	－				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
海外友好都市教育交流事業 作品展の入場者数	目標値	500	500	500	500	人
	実績	－				

実行計画を構成する事務事業

国際交流補助事業	市民の国際理解と友好親善の促進を図り、豊かな地域社会の国際化に寄与する。	担当課	観光交流課
海外友好都市交流促進事業	教育・文化・スポーツ・経済等の分野に亘って、市民レベルの友好交流を促進し、相互理解と信頼を深め、都市間の友好の絆を強める。	担当課	観光交流課
海外友好都市教育交流事業	学校園において、上海市長寧区等の幼小中学校との文通や書画等の作品交流を実施することにより、次世代を担う子どもたちの、郷土や自国を愛し、隣人を理解し、世界平和を願う心を育成する。	担当課	学校教育室 教育研修担当

令和2年度事業費（決算ベース）

事業費総額	13,161千円
-------	----------

実績と評価

実績	海外友好都市との交流事業市民対象事業参加者の満足度は、新型コロナウイルス感染症の影響により事業が中止となったため、目標値未達となった。	評価	－
----	---	----	---

実行計画シート

実行計画 名称		20-1	就労環境の向上			
総合計 画体 系	基本目標等		地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち		市長公約との関係	—
	施策目標等		20.いきいきと働くことのできるまち			
との 合 関 係 略	基本目標		3.産業の活性化と人々の交流・賑わいの創出によりまちの魅力を高める			
	施策目標		3-2.いきいきと働くことのできるまち			

取り組みの概要	合同企業面接会や企業向けセミナーを開催するとともに、市内大学の学生を含む若年層の市内企業への就職に向けたマッチングを行うなど、市内企業の雇用の安定を図る。
---------	---

進捗を測る主な指標

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
来場者における就職率	目標値	16	16	16	16	%
	実績	7				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
就職困難者の新規相談者数	目標値	100	100	100	100	人
	実績	80				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
就職困難者の就職者数	目標値	30	30	30	30	人
	実績	23				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
企業向け採用支援セミナー参加企業数	目標値	40	40	40	40	社
	実績	26				

実行計画を構成する事務事業

雇用対策事業	企業の求人開拓と、就職困難者等に就職面接の機会を提供する。	担当課	商工振興課
地域就労支援事業	障害者、母子家庭の母親、父子家庭の父親、中高年齢者など、働く意欲がありながら、様々な就労阻害要因のために就労できない就職困難者等に対する就労支援を行う。	担当課	商工振興課
市内企業若者雇用推進事業	雇用環境の改善と産業活性化に向け、市内中小企業等の人材確保及び若年求職者を中心とした安定雇用を図るため、求職前段階から就職、さらに就職後の定着支援までを一貫とする産業人材の育成確保支援策を実施する。	担当課	商工振興課

令和2年度事業費（決算ベース）

事業費総額	17,576千円
-------	----------

実績と評価

実績	来場者における就職率は、企業就職面接会への来場者数は想定通りであったが、セミナーのみの参加者が多かったこともあり、目標値未達となった。 就職困難者の新規相談者数及び就職者数は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、講座の実施時期の変更や、参加人数の制限があったことで、目標値未達となった。相談業務は相談者の状況を把握し適切な支援を行うため対面で行うが、緊急事態宣言発令時は電話やメールでの対応とするなど、これまで通りの支援を行うことができず、就職に繋がった人数が想定より少なくなった。 企業向け採用支援セミナー参加企業数は、セミナー開催回数は増加したものの、十分な周知期間を確保できず、目標値未達となった。	評価	—
----	--	----	---

実行計画シート

実行計画 名称		20-2	雇用機会の確保			
総合計 画体 系	基本目標等		地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち		市長公約との関係	—
	施策目標等		20.いきいきと働くことのできるまち			
との 総合 関係 略	基本目標		3.産業の活性化と人々の交流・賑わいの創出によりまちの魅力を高める			
	施策目標		3-2.いきいきと働くことのできるまち			

取り組みの概要	さまざまな要因により就労することが困難な人に対して、就労相談や情報提供を行い、雇用機会の創出に取り組む。
---------	--

進捗を測る主な指標

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
就労等により増収できた人数	目標値	172	172	172	172	人
	実績	50				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
就労支援延べ件数	目標値	1000	1000	1000	1000	件
	実績	1,615				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
就労支援事業の参加者で就労した人数	目標値	220	220	220	220	人
	実績	201				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
自立・就業し支援が終結した件数	目標値	3	3	3	3	件
	実績	1				

実行計画を構成する事務事業

生活困窮者自立支援事業	生活困窮者に係る相談を受け、関係機関と連携し、継続的・寄り添い型の対応を通じて、自立に向けた包括的な支援を行う。	担当課	地域健康福祉室 健康福祉総合相談担当
生活保護受給者自立支援事業	稼働年齢層にある被保護者に対し、就職による早期の自立が図れるよう、就労意欲を喚起し、求職活動を支援していく。	担当課	福祉事務所 生活福祉担当
ホームレス自立支援事業	ホームレスの自立支援等に関する事業を行い、ホームレス問題の解決を図る。	担当課	福祉事務所 生活福祉担当

令和2年度事業費（決算ベース）

事業費総額	61,391千円
-------	----------

実績と評価

実績	就労等により増収できた人数は、り生活困窮にかかわる相談件数が増加したものの、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、り就職活動が困難な状況が続いていたため、目標値未達となった。 就労支援延べ件数は保護申請・相談が増加した下半期に併せて支援数が増加したため、想定より件数が多く、目標値を達成した。 一方で、就労支援事業の参加者で就労した人数は、緊急事態宣言による庁内ハローワークの一時閉鎖および参加者の外出回避による影響で想定より少なくなり、目標値未達となった。 自立・就業し支援が終結した件数は、ホームレス3名の内1名を生活保護担当との連携により自立につなげたが、目標値には届かなかった。	評価	—
----	---	----	---

実行計画シート

実行計画 名称		21-1	起業・創業の支援			
総合計 画体 系	基本目標等		地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち		市長公約との関係	○
	施策目標等		21.地域産業が活発に展開されるまち			
との 総合 関係 略	基本目標		3.産業の活性化と人々の交流・賑わいの創出によりまちの魅力を高める			
	施策目標		3-1.地域産業が活発に展開されるまち			

取り組みの概要		創業・起業に関するセミナーや地域活性化支援センターにおける経営相談を行うことにより、事業展開に取り組める環境づくりを進める。
---------	--	--

進捗を測る主な指標

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
事業者及び起業家向けのセミナーやIT講習会の参加者数	目標値	680	680	680	680	人
	実績	322				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
テイクオフ補助金の交付を受け、市内で創業する件数	目標値	3	3	3	3	件
	実績	0				

実行計画を構成する事務事業

地域活性化支援センター運営事業	枚方市立地域活性化支援センターにおける業務（地域産業の育成及び振興を図る事業など）を円滑に行う。	担当課	商工振興課
テイクオフ補助事業	創業初期の中小企業を支援し、本市の経済活性化に資する。	担当課	商工振興課

令和2年度事業費（決算ベース）

事業費総額	38,399千円
-------	----------

実績と評価

実績	事業者及び起業家向けのセミナーやIT講習会の参加者数は、事業整理に伴うセミナー開催数の減少及び新型コロナウイルス感染症拡大の関係から一部セミナーの中止及びオンラインセミナーに変更したため、参加人数が減少し、目標値未達となった。 テイクオフ補助金の交付を受け、市内で創業する件数は、対象となる事業者が無かったことから、目標値未達となった。	評価	D
----	---	----	---

実行計画シート

実行計画 名称		21-2	商業の活性化			
総合計 画体 系	基本目標等		地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち		市長公約との関係	○
	施策目標等		21.地域産業が活発に展開されるまち			
との 総合 関係 略	基本目標		3.産業の活性化と人々の交流・賑わいの創出によりまちの魅力を高める			
	施策目標		3-1.地域産業が活発に展開されるまち			

取り組みの概要	地域と一体となり、賑わいづくりや地域課題の解決に取り組む商店街等の支援を行うことで、身近な地域で買い物ができる利便性の向上や地域の活性化を図る。
---------	--

進捗を測る主な指標

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
商店街への来街者数の増加率	目標値	103	103	103	103	%
	実績	109				

実行計画を構成する事務事業

商店街等活性化促進事業（補）	地域コミュニティの担い手でもある商店街等を支援することにより、地域や商店街等の主体的取組みを醸成し、変遷する消費者ニーズに応えるとともに、新たなニーズを発掘しうる商業の集積を図る。	担当課	商工振興課
公設市場維持管理事業	市民に生活必需品等を販売するとともに、主として日常生活に必要なサービスを提供し、もって市民の消費生活の利便に供する。	担当課	商工振興課
商店街整備計画等認定事業	商店街の整備、店舗の集団化、共同店舗等の整備等の事業の実施を円滑にし、中小小売商業者の経営の近代化を促進すること等により、中小小売商業の振興を図り、もって経済の健全な発展に寄与する。	担当課	商工振興課
枚方市商業振興事業補助事業	市内の商業団体が商業の振興および育成事業等を実施した場合に、枚方市商業振興事業補助金を交付することにより、市内の商業振興に資する。	担当課	商工振興課

令和2年度事業費（決算ベース）

事業費総額	61,164千円
-------	----------

実績と評価

実績	商店街への来場者数の増加率は、新型コロナウイルス感染症拡大により、来街者が減少した商店街もあった中、一部の商店街のイベントにおいては、目標通り来街者の増加が得られたため、目標値を達成した。	評価	B
----	--	----	---

実行計画シート

実行計画 名称		21-3	工業の活性化			
総合計 画体 系	基本目標等		地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち		市長公約との関係	○
	施策目標等		21.地域産業が活発に展開されるまち			
との 総合 関係 略	基本目標		3.産業の活性化と人々の交流・賑わいの創出によりまちの魅力を高める			
	施策目標		3-1.地域産業が活発に展開されるまち			

取り組みの概要		市内製造業を中心に産業の集積を行うとともに、中小企業の競争力強化に向けての支援や操業環境の確保に取り組むことで、市内工業の活性化を図る。
---------	--	--

進捗を測る主な指標

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
地域産業基盤強化奨励金交付から3年後、引き続き市内で操業する事業者の割合	目標値	100	100	100	100	%
	実績	100				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
住工共生環境対策支援事業補助金交付から3年後、引き続き市内で操業する事業者の割合	目標値	100	100	100	100	%
	実績	0				

実行計画を構成する事務事業

地域産業基盤強化事業（補）	地域産業基盤強化奨励金を交付することにより、企業等の設備投資の促進を図り、企業等の経営基盤の強化及び新たな雇用の創出に資する。	担当課	商工振興課
住工共生環境対策支援事業	環境対策を行った中小企業者に対して交付することにより、中小企業者の操業環境を維持し、及びその事業の定着を促進し、もって雇用の継続及び税収入の確保を図る。	担当課	商工振興課

令和2年度事業費（決算ベース）

事業費総額	17,040千円
-------	----------

実績と評価

実績	地域産業基盤強化奨励金交付から3年後、引き続き市内で操業する事業者の割合は目標値を達成した。住工共生環境対策支援事業補助金交付から3年後、引き続き市内で操業する事業者の割合については、3年前の補助金交付実績がないため企業の定着に係る指標を測ることができなかった。	評価	C
----	---	----	---

実行計画シート

実行計画 名称		22-1	新規農業者の育成				
総合計 画体 系	基本目標等		地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち			市長公約との関係	○
	施策目標等		22.農を守り、生かすまち				
との 総合 関係 略	基本目標						
	施策目標						

取り組みの概要	「農」を守るため、多様な担い手の育成や確保を推進し、あわせて農業者の経営改善のための技術支援を実施する。
---------	--

進捗を測る主な指標

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
遊休農地面積	目標値	55	50	45	40	a
	実績	12				
指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
農地台帳面積	目標値	608	608	608	608	ha
	実績	608				

実行計画を構成する事務事業

新規就農者育成事業	・新規就農者が安定経営できるように、関係機関などと連携しながら、技術指導のサポートや農地確保の支援等を行う。 ・認定新規青年就農者に農業次世代人材投資資金を給付、就農意欲の喚起と就農後の定着を図る。	担当課	農業振興課
農業振興事業	エコ農産物の営農技術の向上や流通量拡大に向けて学ぶ場を設けるとともに、直販事業に対する支援を行う等、地場産野菜の普及及び販売機会の拡大を図る。	担当課	農業振興課

令和2年度事業費（決算ベース）

事業費総額	15,138千円
-------	----------

実績と評価

実績	遊休農地面積は、想定より遊休農地面積の解消が進み、目標値を達成した。 農地台帳面積についても、目標値を達成した。	評価	B
----	---	----	---

実行計画シート

実行計画 名称		23-1	里山の保全			
総合計 画体 系	基本目標等		自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち		市長公約との関係	○
	施策目標等		23.豊かな自然環境を大切にするまち			
との 合 関 係 略	基本目標					
	施策目標					

取り組みの概要	里山などの豊かな自然空間の保全活動や活用に取り組み自然の大切さを発信するとともに、森林ボランティアなどの育成を行い、次世代に継承する。
---------	---

進捗を測る主な指標

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
自然観察会等参加者数	目標値	265	275	285	295	人
	実績	91				
指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
里山保全団体への加入者数(累計)	目標値	2	5	9	14	人
	実績	2				

実行計画を構成する事務事業

自然保護啓発事業	都市に残された自然環境や市域に生息する動植物を守るとともに、人と自然が共生する環境づくりをめざす。	担当課	環境政策室
里山保全事業	第二京阪道路以東の東部地域に存する里山を、市民全体の貴重な財産として保全継承していくため、市民、地権者等、枚方市が実施する里山保全に関する各種事業等を実施する。	担当課	農業振興課

令和2年度事業費(決算ベース)

事業費総額	4,880千円
-------	---------

実績と評価

実績	自然観察会等参加者数は、目標値未達となった。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、自然観察会「水辺の楽校」と「自然環境を考える講演会」が開催できなかった。さらに、自然観察会「山田池公園昆虫教室」が雨天のため開催できなかったため、参加人数が例年より減少した。 里山保全団体への加入者数(累計)は、里山保全活動団体のフィールドで行う実習で会員と交流することにより、想定通りの加入に繋がり、目標値を達成した。	評価	A
----	--	----	---

実行計画シート

実行計画 名称		24-1	公園施設の整備と維持管理			
総合計 画 体 系	基本目標等		自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち		市長公約との関係	○
	施策目標等		24.まちなかのみどりを育てるまち			
との 総 合 関 係 略	基本目標					
	施策目標					

取り組みの概要		子育て世帯など幅広い世代の人々にとって憩いの場となる公園の整備を行うとともに、官民連携による公園管理により利用頻度・満足度を向上し、まちなかの緑地づくりを推進する。
---------	--	--

進捗を測る主な指標

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
公園有料施設・便益施設等の利用者数	目標値	90,000	90,000	20,000	100,000	人
	実績	30,000				
指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
各年度における運動広場などの公園有料施設（プール除く）における教室、イベント参加者数	目標値	3,700	3,800	3,800	3,800	人
	実績	461				

実行計画を構成する事務事業

王仁公園施設再編計画策定・推進事業	市民へのより良いサービスの提供と維持管理の効率化など、プールの機能を含めた施設全体を包括的かつ経営的にパークマネジメントする視点に立ち、PPP／PFI手法の導入による民間活力の活用を含め、今後の公園のあり方について検討し、施設再編を進める。	担当課	みち・みどり室
官民連携公園施設管理運営事業	鏡伝池緑地及び香里ヶ丘中央公園みどりの広場は指定管理制度を導入することにより、維持管理費の縮減と市民サービスの向上を図る。 中の池公園、王仁公園及び香里ヶ丘中央公園においては、有料施設（運動施設）として、利用の安全確保に努め、円滑な管理運営を行う。	担当課	みち・みどり室

令和2年度事業費（決算ベース）

事業費総額	100,722千円
-------	-----------

実績と評価

実績	公園有料施設・便益施設等の利用者数は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、プール利用停止や公園有料施設を一時閉鎖したにより利用者数が減少し、目標値未達となった。 各年度における運動広場などの公園有料施設（プール除く）における教室、イベント参加者数についても、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、イベントの実施を自粛したため、参加者数が減少し、目標値未達となった。	評価	－
----	--	----	---

実行計画シート

実行計画 名称		24-2	市民参加によるみどりを支える仕組みの充実			
総合計 画体 系	基本目標等		自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち		市長公約との関係	○
	施策目標等		24.まちなかのみどりを育てるまち			
との 関 係 略	基本目標					
	施策目標					

取り組みの概要	「みどりの基本計画」に基づく施策を推進するとともに、市民や事業者が取り組む緑化活動の支援を行う。
---------	--

進捗を測る主な指標

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
みどりに関する講座の受講者数(累計)	目標値	40	173	326	499	人
	実績	190				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
菊花展の来場者数(累計)	目標値	30,000	61,000	93,000	126,000	人
	実績	20,400				

実行計画を構成する事務事業

プレーパーク推進事業	枚方市香里ヶ丘地区に位置する緑地において、緑地の効率的な維持管理を行うとともに、定住促進のための子育て環境の充実と地域の活性化を図ることを目的に、既存の斜面緑地を活かし、子どもが自ら考え創意工夫する冒険遊び場としてプレーパークを運営する。	担当課	みち・みどり室
緑化推進事業	緑化推進について、みどりのプラットフォームの運営において、市民の意識の醸成と持続的な活動の担い手を育むため、「みどりでつながるまちづくりシンポジウム」などの普及啓発活動を実施する。また、まちなかの緑化を推進する。	担当課	みち・みどり室
菊花展開催及び菊づくり普及啓発事業	枚方の菊文化を守り育てるため、「ひらかた菊フェスティバル」の一環として菊花展を開催するとともに、「菊文化継承のための基本的な考え方」に基づく市民の「菊づくり」を菊花展実行委員会と連携を図りながら推進、支援する。	担当課	みち・みどり室

令和2年度事業費(決算ベース)

事業費総額	12,614千円
-------	----------

実績と評価

実績	みどりに関する講座の受講者数(累計)は、市立中学校から出前講座の要請があり、実績値が目標値を上回った。 菊花展の来場者数(累計)は、目標値未達となった。なお、菊花展では、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、菊づくりの連続講座を中止したため、例年に比べ受講者の出展鉢数が減少した。	評価	A
----	---	----	---

実行計画シート

実行計画名称		25-1	ごみ総量の削減と資源化の推進			
総合計画体系	基本目標等		自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち		市長公約との関係	○
	施策目標等		25.ごみを減らし、資源の循環が進むまち			
と総の合関係略	基本目標					
	施策目標					

取り組みの概要	市民によるリサイクル活動の支援や啓発を行うとともに、事業系ごみに関する適正処理の指導などにより、事業者による廃棄物の減量化と再資源化を促進する。また、廃棄物処理施設や設備の適切な維持管理に努めるとともに、計画的な改修などにより焼却施設の延命化を図る。
---------	---

進捗を測る主な指標

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
ごみ減量に関する各種啓発イベント等への参加人数	目標値	22,377	22,377	22,377	22,377	人
	実績	3,957				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
市民ボランティアの登録人数	目標値	200	200	200	200	人
	実績	94				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
再生資源ごみの資源化率	目標値	22.7	22.9	23.0	23.1	%
	実績	20.9				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
事業系一般廃棄物搬入量	目標値	32,336	32,148	31,960	31,771	トン
	実績	28,623				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
長寿命化総合計画に係る各年度の計画進捗率	目標値	—	100	100	—	%
	実績	100				

実行計画を構成する事務事業

ごみ減量化啓発事業	家庭ごみ減量のための4R(リフューズ・リデュース・リユース・リサイクル)の行動を掲げ、食品ロスをなくす取り組みやマイボトル・マイカップの持参など、ごみ減量のための取り組みを行うことの普及・啓発を行う。	担当課	減量業務室
ごみ減量化対策事業	法及び枚方市一般廃棄物の減量及び適正処理の促進等に関する規則第29条に基づく廃棄物減量等推進員制度事業を推進することで、市民のごみ減量意識の高揚を図り、清掃行政の円滑な実施に資する。	担当課	減量業務室
再生資源集団回収報償金制度運用事業	(1)古紙・古布の資源化によるごみ減量と、森林資源など地球環境の保護を図る (2)焼却ごみの削減を図る (3)市民による資源ごみの分別とリサイクルなど、ごみ問題に対する意識の向上・啓発を図る	担当課	減量業務室
事業系ごみ減量及び適正処理推進事業	事業系一般廃棄物の適正処理や減量化を推進するために多量排出事業者等への指導や啓発を行い、事業系ごみの減量を推進する。	担当課	環境政策室
東部清掃工場焼却施設長寿命化に係る整備事業	当工場の長寿命化総合計画における目標稼働年数を踏まえつつ、日常の点検整備や、長寿命化工事・改造工事等を計画的に実施し、財政負担の軽減・平準化と環境負荷の低減を図りながら、本市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画及び各年度の同実施計画に沿った一般ごみの焼却処理を円滑に行う。	担当課	施設管理室

令和2年度事業費(決算ベース)

事業費総額	56,909千円
-------	----------

実績と評価

実績	ごみ減量に関する各種啓発イベント等への参加人数は、新型コロナウイルス感染拡大防止により「ひらかた夢工房」の活動停止や自粛を行ったため、目標値未達となった。 市民ボランティアの登録人数は目標値未達となった。 再生資源ごみの資源化率は、目標値未達となった。新聞の購買低下により毎年回収量が減っており、今後も減少する見込みである。ごみ処理(一般ごみ)の総量が減少すれば目標値に近づける。 事業系一般廃棄物搬入量は、想定よりも減少し、目標値を達成した。 長寿命化総合計画に係る各年度の計画進捗率は、目標値を達成した。令和2年9月に大阪府と交付金申請について調整したところ、事業費が大きく5か年に亘る工事であることから、交付金の確保に向けて追加で基幹改良発注支援業務委託を発注し、事業内容の技術検証等を行った。	評価	C
----	--	----	---

実行計画シート

実行計画 名称		26-1	産業廃棄物等の適正処理の推進			
総合計 画体 系	基本目標等	自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち			市長公約との関係	—
	施策目標等	26.安全で良好な生活環境が確保されたまち				
との 総合 関係 略	基本目標					
	施策目標					

取り組みの概要	産業廃棄物を排出する事業者に対し、産業廃棄物の適正な処理に係る指導及び排出抑制に向けた取組について指導を行う。
---------	---

進捗を測る主な指標

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
立入検査を行った産業廃棄物処理業者数	目標値	18	18	18	18	者
	実績	8				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
不法投棄件数	目標値	0	0	0	0	件
	実績	0				

実行計画を構成する事務事業

産業廃棄物指導等事業	産業廃棄物を排出する事業者やPCB廃棄物及びPCB使用機器を保有する事業者に対し、早期に処理を行うよう指導する。	担当課	環境指導課
不法投棄防止対策事業	啓発活動や不法投棄行為者に対する指導等を行うことにより、不法投棄の防止を図る。	担当課	環境指導課

令和2年度事業費（決算ベース）

事業費総額	173千円
-------	-------

実績と評価

実績	立入検査を行った産業廃棄物処理業者数については、目標値未達となった。新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言中は、感染防止の観点から立入検査ができなかったが、届出や報告により適正処理を確認した。 同じく緊急事態宣言中の交代勤務体制の期間は、パトロールが実施ができず、不法投棄されやすい場所の巡回パトロール数は減少したものの、不法投棄件数は0で目標値を達成した。	評価	A
----	---	----	---

実行計画シート

実行計画 名称		26-2	上水道及び生活排水の適正処理の推進			
総合計 画体 系	基本目標等		自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち		市長公約との関係	—
	施策目標等		26.安全で良好な生活環境が確保されたまち			
との 総 合 関 係 略	基本目標					
	施策目標					

取り組みの概要	下水道の整備を推進し、生活環境の改善と水質保全を図るとともに、安全・安心な上下水道利用及び生活水の確保のため、設備の更新や耐震化を計画的に行う。
---------	--

進捗を測る主な指標

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
管路事故件数(断減水の影響が100戸を超えるもの)	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	件
	実績	0.0				
指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
公共下水道普及率	目標値	97.1	97.2	97.2	97.3	%
	実績	97.4				

実行計画を構成する事務事業

配水支管整備事業	安全で安心な水道水を安定的に供給する。	担当課	上水道工務課
公共下水道（污水）整備事業	下水道整備を行うことにより、快適な生活環境を支える都市基盤の整備並びに淀川水系の水質汚濁を防止する。	担当課	污水整備課

令和2年度事業費(決算ベース)

事業費総額	1,500,162千円
-------	-------------

実績と評価

実績	管路事故件数(断減水の影響が100戸を超えるもの)は、大規模な漏水事故は発生せず、目標値を達成した。 公共下水道普及率は、目標値を達成した。なお、行政人口の減少も寄与している。	評価	A
----	---	----	---

実行計画シート

実行計画 名称		27-1	地球温暖化対策の推進			
総合計 画 体 系	基本目標等		自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち		市長公約との関係	○
	施策目標等		27.地球温暖化対策に取り組むまち			
との 総 合 関 係 略	基本目標					
	施策目標					

取り組みの概要	イベントやキャンペーン、環境教育・学習を通じて地球温暖化防止に係る普及啓発を行い、環境意識を醸成するとともに、市民団体や事業者等と連携して、温室効果ガスの排出量削減に向けた省エネルギーの取り組みを進める。
---------	--

進捗を測る主な指標

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
地球温暖化対策協議会事業計画に基づき活動した延べ事業所数	目標値	500	670	680	690	社
	実績	490				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
地球温暖化防止に係る各種イベントの参加者数	目標値	1,200	1,250	1,350	1,500	人
	実績	-				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
環境出前学習参加者数	目標値	4,320	4,380	4,440	4,500	人
	実績	1,428				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
COOLCHOICEひらかたみんなでエコ宣言シートにより環境に配慮した行動に取り組むと宣言した人数(累計)	目標値	2,500	3,000	3,500	4,000	人
	実績	212				

実行計画を構成する事務事業

地球温暖化防止対策事業	環境にやさしい都市を目指すため、市民・市民団体・事業者・行政が連携し、市域で排出される温室効果ガス(二酸化炭素等)の総排出量を削減する。	担当課	環境政策室
環境教育推進事業	市内の保育所・学校園への出前学習や小学校4年生への環境副読本の配布など、環境について学ぶ機会を提供する。	担当課	環境政策室
環境保全啓発補助事業	環境の保全と創造についての取り組みを推進するために設立された「NPO法人ひらかた環境ネットワーク会議」が取り組む環境保全活動の支援を行う。	担当課	環境政策室

令和2年度事業費(決算ベース)

事業費総額	24,445千円
-------	----------

実績と評価

実績	地球温暖化対策協議会事業計画に基づき活動した延べ事業所数は、目標値には届かなかったが、概ね想定通りだった。新型コロナウイルス感染症の影響で、各種イベント等が中止となり、参加企業が見込みより少なかった。 地球温暖化防止に係る各種イベントの参加者数は、新型コロナウイルス感染症の影響で各種イベントが中止となり、目標値未達となった。 環境出前学習参加者数は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、申し込みのあった一部の園でしか開催できず、目標値未達となった。 COOLCHOICEひらかたみんなでエコ宣言シートにより環境に配慮した行動に取り組むと宣言した人数(累計)は、目標値未達となった。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、エコ宣言を呼びかけるイベント(エコフォーラム、コマツフェア、関西外国語大学学祭、NPOフェスタ等)が中止となり、啓発活動が実施できなかった。	評価	-
----	--	----	---

実行計画シート

実行計画 名称		28-1	美しい景観形成の推進			
総合計 画体 系	基本目標等		自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち		市長公約との関係	○
	施策目標等		28.美しく魅力あるまち並みが育まれるまち			
との 合 戦 略	基本目標					
	施策目標					

取り組みの概要	ポイ捨て防止などのマナーの向上をめざすとともに、地域の道路や公園等の美化活動への支援を行うなど、まちの美化に向けた取り組みを行う。また、国内外で取り組まれている海洋プラスチック問題についても取り組みを進める。
---------	--

進捗を測る主な指標

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
登録団体が実施した清掃活動回数	目標値	1,310	1,315	1,320	1,325	回
	実績	1,036				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
清掃活動により収集されたごみの量	目標値	28,000	27,500	26,500	25,000	袋
	実績	16,288				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
市民の環境美化満足度	目標値	100	100	100	100	%
	実績	83				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
プラごみダイエット～ポイ捨てゼロ宣言に賛同し、取り組みに協力すると答えた市民の延べ人数	目標値	1,000	3,000	3,000	3,000	人
	実績	640				

実行計画を構成する事務事業

まち美化啓発事業	平成14年に制定した「枚方市ポイ捨てによるごみの散乱及び犬のふんの放置の防止に関する条例」及び平成20年に制定した「枚方市路上喫煙の制限に関する条例」に基づく啓発事業を行うことにより、環境美化に対する市民マナーの向上を図るとともに、市民等によるクリーンリバーや地域清掃活動を実施し、清潔で美しいまちづくりを進める。	担当課	環境政策室
道路アダプト事業	公共空間である駅周辺や住宅街の市の管理する道路を市民が道路の里親となり管理を行い、市民や事業者と市がパートナーシップを組み街の美観を守る制度の推進する。	担当課	道路河川管理課
プラごみ削減・ポイ捨て防止推進事業	本事業を通して、海洋プラスチック問題の解決・改善やSDGsの17のゴールの1つである「14 海の豊かさを守ろう」などの達成をめざす。	担当課	環境政策室

令和2年度事業費（決算ベース）

事業費総額	3,629千円
-------	---------

実績と評価

実績	登録団体が実施した清掃活動回数及び清掃活動により収集されたごみの量は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、活動を自粛する団体が多く、目標値未達となった。市民の環境美化満足度は目標値未達となった。もっとも、道路アダプト事業参加団体は想定より増加している。プラごみダイエット～ポイ捨てゼロ宣言に賛同し、取り組みに協力すると答えた市民の延べ人数は目標値未達となった。新型コロナウイルス感染症の影響でイベントでの周知活動ができなかったことや参加者募集開始時期が遅れたため、目標には届かなかった。	評価	B
----	--	----	---

実行計画シート

実行計画 名称		計画推進1-1	広報・広聴活動の充実			
総合計 画体 系	基本目標等	計画の推進に向けた基盤づくり			市長公約との関係	○
	施策目標等	29.市民との情報の共有化を進めます				
との 関 係	基本目標					
	施策目標					

取り組みの概要	広報紙やホームページ、ツイッター等のソーシャルメディアなどにより、市民のニーズに合った情報発信を行う。また、広聴活動については、「市長への提言」や市民アンケートなどを通じて、広く市民の意見を聴き、市政に活用する。
---------	--

進捗を測る主な指標

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
スマホアンケートでFMひらかたを聞いたことがあると答えた人の割合	目標値	80	80	80	80	%
	実績	29				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
市ホームページの年間ユーザー数と市公式SNSへのいいねの数の合計	目標値	2,672,000	3,022,000	3,372,000	3,722,000	件
	実績	4,564,048				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
広報誌の年間配布部数(通常号のみ)	目標値	2,230,000	2,230,000	2,230,000	2,230,000	部
	実績	2,249,639				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
枚方への愛着、熱量の高い「ひらかたプロデューサーズ」の登録者数(総数)	目標値	300	400	500	600	人
	実績	213				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
市政モニターアンケート年間回答者数	目標値	385	385	385	385	人
	実績	378				

実行計画を構成する事務事業

FM放送活用事業	地域コミュニティFMであるエフエムひらかたを活用し、平常時は市政やイベント、地域情報などを市民に幅広く提供しFMへの親しみを持ってもらう。また、災害時には貴重な地域情報伝達手段として注意喚起など迅速な情報発信を行う。	担当課	広報プロモーション課
ホームページ活用事業	速報性と豊富な情報量を生かして、緊急情報や重要な市政ニュースをはじめ、各種手続きや申請など様々な市政情報をリアルタイムに発信する。	担当課	広報プロモーション課
広報ひらかた発行事務	市民に行政情報を正確に分かりやすく伝えるとともに、まちの話題や市民の声を紹介することで本市の魅力を発信する。市民の市政やまちづくりへの参加を促進する。	担当課	広報プロモーション課
シティプロモーション推進事業	シティプロモーションを推進し、市民のシビックプライド(愛着・誇り・関わり・推奨)を高め、住み続けたい、住みたいと思える魅力的なまちにする。	担当課	広報プロモーション課
モニタリング事業	既存事務事業の見直しや新規事業の実施などに際し、市民ニーズを把握するために様々なアンケート手法により市政に対する市民の意見等を聴取する。	担当課	広聴相談課

令和2年度事業費(決算ベース)

事業費総額	137,948千円
-------	-----------

実績と評価

実績	スマホアンケートでFMひらかたを聞いたことがあると答えた人の割合については、令和2年度スマホアンケート未実施のため、令和2年2月に独居高齢者向けに行ったアンケート結果を実績値としている。市ホームページの年間ユーザー数と市公式SNSへのいいねの数の合計は目標値を達成した。新型コロナウイルス関連情報など、最新情報の随時更新が頻繁にあったため、市ホームページから求める情報を取得する人が増加している。広報誌の年間配布部数(通常号のみ)は、市内事業者を含め全戸配布を行い、目標値を達成した。。枚方への愛着、熱量の高い「ひらかたプロデューサーズ」の登録者数(総数)は、目標値未達となった。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、外向きのイベントが実施できず新規登録者が増えなかったが、市内高校と連携し「ひらかたプロデューサーズ高校生」など新たな取り組みを行った。市政モニターアンケート年間回答者数は目標値未達であったが、年間回答者数から登録者数を除した回答率は、前年度の約70%に対し、今年度は約90%に向上した。	評価	B
----	--	----	---

実行計画シート

実行計画 名称		計画推進1-2	情報化の推進				
総合計 画体 系	基本目標等		計画の推進に向けた基盤づくり			市長公約との関係	○
	施策目標等		29.市民との情報の共有化を進めます				
との 合 関 係 略	基本目標						
	施策目標						

取り組みの概要	AIや電子申請等、ICTを活用した技術を積極的に活用し、市民サービスの向上を図る「スマート自治体」の実現をめざす。また、公共データのオープンデータ化をさらに進めることにより、市民の利便性向上に向けた諸課題の解決を図る。
---------	---

進捗を測る主な指標

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
総物件数に占めるオンライン数の割合	目標値	59	60	61	62	%
	実績	58				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
スマート自治体実現に係る業務削減時間数	目標値	2,000	2,500	2,700	3,000	時間
	実績	3,400				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
外部公開されたオープンデータ数	目標値	40	41	42	44	件
	実績	29				

実行計画を構成する事務事業

デジタル技術を活用したスマート自治体推進事業	人口減少社会の中、労働力の確保が難しい状況が予測されるが、AIや電子申請等、ICTを活用した技術を積極的に活用していくことで、行政サービスの質を高め、市民サービスの向上を図る。また、オープンデータ等、データ利活用の促進を図ることにより、市民の利便性向上と官民協働によるまちづくりを推進する。	担当課	ICT戦略課
------------------------	---	-----	--------

令和2年度事業費（決算ベース）

事業費総額	137,948千円
-------	-----------

実績と評価

実績	総物件数に占めるオンライン数の割合は、オンライン手続きの多くを占める図書予約の大幅減少が影響し、わずかに目標値を下回ったが、図書予約を除く全体の利用率は向上した。 スマート自治体実現に係る業務削減時間数は、紙情報のデジタル化（AI-OCR）や事務処理の自動化（RPA）の活用により、当初想定した以上の効率化の効果が出ており、目標値を達成した。 外部公開されたオープンデータ数は、目標値未達となった。個人情報保護の観点から取り扱い見直しに伴い、公開数が減少となった。	評価	B
----	--	----	---

実行計画シート

実行計画名称		計画推進2-1	市民活動の支援		
総合計画体系	基本目標等		計画の推進に向けた基盤づくり	市長公約との関係	○
	施策目標等		30.市民による活発なまちづくり活動を支援します		
と総合戦略関係	基本目標				
	施策目標				

取り組みの概要	市民団体やNPOに活動の情報収集・発信や活動の促進要因を設定するなど、継続的な活動に対する支援を行い、まちが活性化するような取り組みを推進する。
---------	--

進捗を測る主な指標

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
ひらかたポイントカード発行枚数	目標値	150,000	200,000	250,000	300,000	枚
	実績	110,971				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
多様な主体との協働による事業件数	目標値	170	180	190	200	件
	実績	198				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
ひらかた市民活動支援センター及びサブリNPOセンター登録団体数	目標値	550	570	590	610	団体
	実績	276				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
校区福祉活動の延べ参加人数	目標値	79,000	79,000	79,000	79,000	人
	実績	25,494				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
自治会館を整備した自治会の数	目標値	12	12	12	12	件
	実績	8				

実行計画を構成する事務事業

ひらかたポイント事業	①市の実施事業や、まちづくりへの市民の参画意欲の向上を図る。 ②市民の健康増進を図り、誰もが健やかに、生きがいを持って暮らせるまちにする。	担当課	健康福祉総務課
協働のまちづくり推進事業	社会状況の変化とともに地域の課題が多様化・複雑化している中で、これらを解決していくため、市民や市民団体、NPO、事業者などの多様な主体とまちづくりの目標や地域課題を共有し、信頼関係をより深めながら、適切な役割分担を行い、協働によるまちづくりを進めていく。	担当課	市民活動課
NPO活動支援事業（補）	NPOに対して、様々な支援を行うことにより、市民活動の活性化を図る。	担当課	市民活動課
校区福祉活動推進事業	社会福祉協議会を通じて、地域で安心して生活できるよう、地域住民の参加と協力による支え合い、助け合い活動を小学校区域で行う体制を整備する。	担当課	健康福祉総務課
自治会館建設等支援事業	住民自治組織(自治会)がその地域において活動を行うための拠点となる集会施設の設置等を促進する。	担当課	市民活動課

令和2年度事業費(決算ベース)

事業費総額	142,379千円
-------	-----------

実績と評価

実績	ひらかたポイントカード発行枚数は、目標値未達であったが、「新しい生活様式」に係る高齢者のICT利用に関する調査のポイント付与にあたって、カード発行枚数が増加するなど、令和元年度実績(52,380)から大幅に増加した。 多様な主体との協働による事業件数は、協働への取り組みの推進により、目標値を達成した。 ひらかた市民活動支援センター及びサブリNPOセンター登録団体数は目標値未達となった。 校区福祉活動の延べ参加人数は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、目標値を大きく下回る結果となった。 自治会を整備した自治会館の数は、自治会内での合意形成や、資金計画上の課題等により、助成制度の活用を断念された自治会もあったことなどから、想定より件数が少なく、目標値未達となった。	評価	C
----	---	----	---

実行計画シート

実行計画 名称		計画推進3-1	「見える」行政改革の推進				
総合計 画体 系	基本目標等		計画の推進に向けた基盤づくり			市長公約との関係	○
	施策目標等		31.持続可能な行財政運営を進めます				
との 関 係 略	基本目標						
	施策目標						

取り組みの概要	スマート自治体の推進や選択と集中の強化、財源確保等を進めるとともに、行政改革の見える化を行う。
---------	---

進捗を測る主な指標

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
「行財政改革プラン2020」の改革課題の達成数	目標値	81	83	83	83	件
	実績	1				
指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
公表した事務事業数	目標値	1,100	1,107	1,112	1,117	件
	実績	926				

実行計画を構成する事務事業

行財政改革プラン2020推進事業	行財政改革プラン2020に掲げる行政改革課題の達成に向け、その進捗管理を行うことで、枚方市の将来像を見据えながら、より健全な行財政運営を進める。	担当課	行革推進課
事務事業実績測定等運営事務	本市の事務事業の概要、実績度や今後の方向性など、事業の詳細情報を把握できる資料として、毎年継続的に実施、公表することで、市民等への説明責任が履行され、行政の透明性が向上し、市民の信頼を得られていると同時に、各事業の実績を毎年度測定することにより、実施内容やコスト配分等を振り返り、今後の事務事業の執行に反映し、また、本市の各種取組への二次的な利活用など、基幹的なツールとしての役割を果たすことを目的として実施する。	担当課	行革推進課

令和2年度事業費（決算ベース）

事業費総額	157千円
-------	-------

実績と評価

実績	「行財政改革プラン2020」の改革課題の達成数は、課題達成年度を令和2年度としていた課題数を達成した。 公表した事務事業数は、目標値未達となったが、事務事業単位の見直しを図った結果、想定よりも事務事業数が減少する結果となったが、測定対象となる事務事業に対し、適切に公表を行うことができた。	評価	D
----	---	----	---

実行計画シート

実行計画 名称		計画推進3-2	公共施設の適正化				
総合計 画体 系	基本目標等		計画の推進に向けた基盤づくり			市長公約との関係	○
	施策目標等		31.持続可能な行財政運営を進めます				
との 合 略	基本目標						
	施策目標						

取り組みの概要	今後の財政状況と施設の更新等費用のバランスを保つため、長寿命化の推進並びに公共施設の総量の適正化を図ります。また、新たな財源確保策として、民間提案制度によるネーミングライツや市有地の有効活用の取り組みを進めます。
---------	--

進捗を測る主な指標

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
市民一人あたりの公共施設面積	目標値	1.9	1.9	1.9	1.9	㎡
	実績	1.9				

指標名	年度	R2	R3	R4	R5	単位
ネーミングライツや未利用地等の有効活用を実施中の件数	目標値	10	12	14	16	件
	実績	12				

実行計画を構成する事務事業

公共施設等総合管理事務	公共施設等について、総合的かつ計画的に管理していくための「枚方市公共施設マネジメント推進計画」を策定し、施設評価及び個別施設計画の策定に向けた取り組みを進める。	担当課	行革推進課
市有資産等有効活用促進事務	市有財産を有効活用するため、対象物件を調査し貸付や売却など効果的な運用に向けた取り組みを進める。	担当課	総務管理室 財産管理担当

令和2年度事業費（決算ベース）

事業費総額	297千円
-------	-------

実績と評価

実績	市民一人あたりの公共施設面積は、目標値を達成した。 ネーミングライツや未利用地等の有効活用を実施中の件数は、PR活動の結果、目標値を達成した。	評価	A
----	--	----	---

施策指標一覽

施策指標一覧

施策目標 1 災害に対する備えができているまち

指標の名称	指標の説明	めざすべき方向	目標値(R5)	単位	担当課
防災体制が整っていると感じている市民の割合	(市民意識調査により把握)	↗	40.2	%	—
重要物資備蓄目標達成率	重要物資備蓄品の中で特に重要であるアルファ化米と毛布の備蓄量／備蓄目標量	↗	100	%	危機管理室
自主防災組織が年1回以上の訓練を実施した割合	年1回以上の訓練を実施した自主防災組織の数／全自主防災組織の数	↗	93.0	%	危機管理室
民間木造住宅耐震改修戸数(累計)	「枚方市木造住宅耐震改修事業補助金交付要綱」に基づく木造住宅耐震改修補助等により改修・除却(解体)した戸数(累計)	↗	900	戸	住宅まちづくり課
橋梁長寿命化修繕計画に基づく修繕率	橋梁長寿命化修繕計画に基づく整備済橋梁数／計画における整備予定橋梁数	↗	100	%	土木政策課
主要な雨水幹線管渠の整備率	主要な雨水幹線管渠の整備延長距離／計画延長距離	↗	45.6	%	雨水整備課、経営戦略室

施策目標 2 災害時に、迅速・的確に対応できるまち

指標の名称	指標の説明	めざすべき方向	目標値(R5)	単位	担当課
【再掲】 防災体制が整っていると感じている市民の割合	(市民意識調査により把握)	↗	40.2	%	—
災害時の情報発信手段の整備件数	防災行政無線、メール、ツイッターなど災害時の情報発信手段の整備件数	↗	10	件	危機管理室
ひらかた安全安心メール登録者数	防災・防犯情報を携帯電話等を通じて迅速に配信する「ひらかた安全安心メール」の登録者数	↗	3,900	件	危機管理室
救急車の平均到着時間	救急車を呼んでから病院に到着するまでの平均所要時間	↘	—	分	危機管理室
【再掲】 自主防災組織が年1回以上の訓練を実施した割合	年1回以上の訓練を実施した自主防災組織の数／全自主防災組織の数	↗	93.0	%	危機管理室

施策目標 3 暮らしに身近な安全が確保されたまち

指標の名称	指標の説明	めざすべき方向	目標値(R5)	単位	担当課
防犯体制が整い、身近な安全が確保されていると感じている市民の割合	(市民意識調査により把握)	↗	38.4	%	—
犯罪発生件数	市内の刑法犯罪発生件数(1日当たり)	↘	—	件	危機管理室
消費者相談のうち解決済の割合	消費者相談解決済件数(あっせん不調・処理不能を除く)／消費者相談件数(年度内処理済件数)	↗	98.3	%	消費生活センター
個人情報の取扱いに関する研修の参加者数(累計)	個人情報の保護及び情報漏えい防止に関する市役所職員対象の研修等に参加した人数(累計)	↗	428	人	コンプライアンス推進課

施策目標 4 安全で快適な交通環境が整うまち

指標の名称	指標の説明	めざすべき方向	目標値(R5)	単位	担当課
安全で快適な道路環境が整っていると感じている市民の割合	(市民意識調査により把握)	↗	35.2	%	—
幹線道路の整備率	国道、府道を含む幹線道路の整備延長距離／計画延長距離	↗	64.1	%	道路河川整備課
京阪本線連続立体交差事業の進捗状況	(工程管理により把握) 京阪本線(寝屋川市・枚方市)連続立体交差事業の進捗状況	整備完了(H40予定)	鉄道高架化 工事施工	—	市街地整備室
交通事故件数(車両)	市内で発生した車両が関わる交通事故件数	↘	—	件	交通対策課
国道1号における交通量	国道1号における交通量(1日当たり・12時間調査)	↘	—	台	土木政策課
歩道の設置延長距離	市道における歩道の設置延長距離	↗	120	km	道路河川整備課
交通事故件数(歩行者・自転車)	市内で発生した自転車や歩行者が関わる交通事故件数	↘	—	件	交通対策課
交通安全に関する啓発イベント・教室講習等の参加者数	自転車や歩行者などの交通安全に関する啓発イベント・教室講習等の参加者数	↗	25,000	人	交通対策課

施策目標5 快適で暮らしやすい環境を備えたまち

指標の名称	指標の説明	めざすべき方向	目標値(R5)	単位	担当課
公共交通機関が整っているなど都市機能が充実していると感じている市民の割合	(市民意識調査により把握)	↗	46.9	%	—
公共交通利用促進啓発イベントの参加者数	鉄道やバスなど公共交通の利用を促進する啓発イベントの参加者数	↗	8,000	人	土木政策課
京阪バス主要停留所乗降客数の市域人口に対する割合	京阪バスの主要停留所(枚方市駅、樟葉駅、長尾駅)における乗降客数(1日当たり)/市域人口	↗	—	%	土木政策課
鉄道駅利用者の市域人口に対する割合	市内鉄道駅(京阪電鉄9駅、JR片町線(学研都市線)3駅)の乗降客数(1日当たり)/市域人口	↗	—	%	都市計画課
特定空家等及び特定空き地等の改善率	周囲への危険性が高いと市が判断して「特定空家等」及び「特定空き地等」と認めた物件のうち、危険が取り除かれ指定の解除に至った数/「特定空家等」及び「特定空き地等」と認めた物件の数	↗	100	%	住宅まちづくり課

施策目標6 誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち

指標の名称	指標の説明	めざすべき方向	目標値(R5)	単位	担当課
心身ともに健康に暮らせる環境が整っていると感じている市民の割合	(市民意識調査により把握)	↗	61.1	%	—
コンソーシアム連携事業への参加者数	健康・医療に関わる市内団体により構成される「健康医療都市ひらかたコンソーシアム」の連携事業への参加者数(会議を除く研修会・講習会への参加者数)	↗	12,000	人	健康福祉総務課
健康づくりに関する教室・講演会への参加者数	ウォーキングなど健康づくりに関する教室・講演会への参加者数	↗	16,800	人	地域健康福祉室 健康増進・介護 予防担当
スポーツイベントの参加者数	各種スポーツ教室など地域におけるスポーツイベントの参加者数	↗	47,000	人	スポーツ振興課
特定健康診査受診率	高齢者の医療の確保に関する法律に定める特定健康診査の受診者/対象者(国民健康保険に加入する40歳以上75歳未満の者)	↗	50	%	地域健康福祉室 健康増進・介護 予防担当
大腸がん検診受診率	市が実施する大腸がん検診の受診者/対象者(40歳以上70歳未満の者)	↗	40	%	地域健康福祉室 健康増進・介護 予防担当
こころの健康相談の相談件数	うつ病などこころの病気について医療に係る相談を実施するこころの健康相談件数	↗↘	—	件	保健予防課
こころの病気に関する相談窓口を知っている市民の割合	(市民意識調査により把握)	↗	50	%	—
指定難病医療費助成制度更新申請者の療養状況把握割合	療養状況を把握できた者の数/指定難病医療費助成制度更新申請者数	↗	100	%	保健予防課
薬物乱用防止に向けた支援件数(累計)	薬物乱用防止キャンペーンでの啓発資材の配布数(累計)	↗	13,500	枚	保健医療課

施策目標 7 公衆衛生や健康危機管理が充実したまち

指標の名称	指標の説明	めざすべき方向	目標値(R5)	単位	担当課
【再掲】 心身ともに健康に暮らせる環境が整っていると感じている市民の割合	(市民意識調査により把握)	↗	61.1	%	—
1歳までにBCG接種を終了している者の割合	結核を予防するBCGワクチンを1歳までに接種した児の数／0歳の人口	↗	98	%	地域健康福祉室 母子保健担当
収去検査における違反・不適件数	食品衛生及び生活衛生に関する立入・収去検査において違反・不適であった件数	↘	0	件	保健衛生課
引き取った犬猫の飼い主等への返還・譲渡の割合	飼い主への返還、新たな飼い主へ譲渡した件数／保健所で引き取った犬猫の件数(年度中に顛末が確定したもの)	↗	75	%	保健衛生課

施策目標 8 安心して適切な医療が受けられるまち

指標の名称	指標の説明	めざすべき方向	目標値(R5)	単位	担当課
安心して適切な医療が受けられる環境が整っていると感じている市民の割合	(市民意識調査により把握)	↗	67.5	%	—
【再掲】 コンソーシアム連携事業への参加者数	健康・医療に関わる市内団体により構成される「健康医療都市ひらかたコンソーシアム」の連携事業への参加者数(会議を除く研修会・講習会への参加者数)	↗	12,000	人	健康福祉総務課
地域医療機関から市立病院への紹介件数	地域医療機関からの市立病院への患者の紹介件数	↗	13,144	件	市立病院 医療相談・連携室
北河内夜間救急センターから二次医療機関に後送した患者の入院率	夜間21～6時における北河内夜間救急センターから二次医療機関に後送し入院に至った患者数／後送された患者数	↗	80	%	健康福祉総務課
医療通訳士の利用件数	外国人住民等が市内対象医療機関を受診する際の医療通訳士の利用件数	↗	500	件	健康福祉総務課
医療機関への手話通訳者の派遣件数	聴覚に障害のある方が医療機関を利用する際の手話通訳者の派遣件数	↗	1,500	件	地域健康福祉室 障害福祉担当

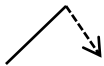
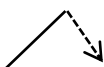
施策目標 9 高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち

指標の名称	指標の説明	めざすべき方向	目標値(R5)	単位	担当課
高齢者が地域でいきいきと暮らせる環境が整っていると感じている市民の割合	(市民意識調査により把握)	↗	35.0	%	—
認知症サポーター養成講座の参加者数(累計)	認知症に対する正しい知識と具体的な対応方法を学ぶ認知症サポーター養成講座の参加者数(累計)	↗	32,100	人	地域健康福祉室 健康福祉総合 相談担当
介護保険給付に占める在宅サービスの割合	居宅サービス及び地域密着型サービス給付費合計／介護保険給付費	↗	70.5	%	地域健康福祉室 長寿・介護保険 担当
介護保険施設等の施設数	特別養護老人ホームなど介護保険施設等の施設数	↗	101	施設	地域健康福祉室 長寿・介護保険 担当
高齢者居場所など集いの場の参加率	高齢者居場所など集いの場の参加人数／65歳以上の人口	↗	6	%	地域健康福祉室 健康増進・介護 予防担当
ひらかた生き生きマイレージ(介護予防ポイント事業)による活動件数	ひらかた生き生きマイレージ事業において65歳以上の高齢者が介護保険施設等でサポーター活動を行う件数	↗	7,500	件	地域健康福祉室 健康増進・介護 予防担当

施策目標10 障害者が自立し、社会参加ができるまち

指標の名称	指標の説明	めざすべき方向	目標値(R5)	単位	担当課
障害者が地域でいきいきと暮らせる環境が整っていると感じている市民の割合	(市民意識調査により把握)	↗	26.9	%	—
障害者のグループホーム利用者数	障害者が地域で共同生活するグループホームの実利用者数(一月あたり)	↗	424	人	地域健康福祉室 障害福祉担当
地域活動支援センター事業の利用者数	障害者の日中活動や地域との交流の場である地域活動支援センターの利用者数	↗	43,653	人	地域健康福祉室 障害福祉担当

施策目標11 すべての人がお互いの人権を尊重しあうまち

指標の名称	指標の説明	めざすべき方向	目標値(R5)	単位	担当課
一人ひとりが人権を尊重し合っていると感じている市民の割合	(市民意識調査により把握)		23.2	%	—
人権啓発事業の参加者数	人権に関する講座など人権啓発事業の参加者数		1,000	人	人権政策室
DV被害に関する相談件数	配偶者暴力相談支援センター「ひらかたDV相談室」におけるDV被害に関する相談件数		—	件	人権政策室
DV被害に関する相談窓口を知っている市民の割合	(市民意識調査により把握)		50	%	—
高齢者虐待に関する相談件数	高齢者虐待に関する市への相談件数		—	件	地域健康福祉室 健康福祉総合 相談担当
障害者虐待に関する相談件数	「障害者虐待防止センター」における障害者虐待に関する相談件数		—	件	地域健康福祉室 障害福祉担当

施策目標12 男女がともに参画し、個性を発揮できるまち

指標の名称	指標の説明	めざすべき方向	目標値(R5)	単位	担当課
男女共同参画社会が実現していると感じている市民の割合	(市民意識調査により把握)		19.9	%	—
審議会等への女性委員登用率	女性委員比率が35%を達成している審議会等／全審議会等		100	%	人権政策室
管理職に占める女性の割合	市役所における女性管理職／全管理職		30	%	人事課
育児休業を取得した男性職員数(累計)	市役所における育児休業を取得した男性職員数(累計)		49	人	職員課

施策目標13 平和の大切さを後世に伝えるまち

指標の名称	指標の説明	めざすべき方向	目標値(R5)	単位	担当課
平和の大切さが継承されていると感じている市民の割合	(市民意識調査により把握)		45.9	%	—
平和に関するイベントの参加者数	3月1日の「枚方市平和の日」などに開催する平和に関するイベントの参加者数		6,700	人	人権政策室

施策目標14 安心して妊娠・出産できる環境が整うまち

指標の名称	指標の説明	めざすべき方向	目標値(R5)	単位	担当課
安心して妊娠・出産できる環境が整っていると感じている市民の割合	(市民意識調査により把握)		43.5	%	—
妊娠11週以下での妊娠の届出率	妊娠11週以下での妊娠の届出数／全届出数		96.0	%	地域健康福祉室 母子保健担当

施策目標15 子どもたちが健やかに育つことができるまち

指標の名称	指標の説明	めざすべき方向	目標値(R5)	単位	担当課
安心して子育てできる環境が整っていると感じている市民の割合	(市民意識調査により把握)		49.5	%	—
乳幼児健康診査の受診率	1歳6か月児健康診査受診児の人数／全1歳6か月児の人数		97	%	地域健康福祉室 母子保健担当
保育所等利用待機児童数	希望施設に入所できていない児童数		0	人	保育幼稚園入園課
留守家庭児童会室待機児童数	留守家庭児童会入室の待機児童数		0	人	教育支援室 放課後子ども担当
放課後等デイサービス利用者数	学校通学中の障害児を対象に放課後や長期休暇中に生活力向上の訓練を行う放課後等デイサービスの実利用者数(一月あたり)		954	人	地域健康福祉室 障害福祉担当
児童発達支援利用者数	就学前の障害児を対象に日常生活の基本的な動作や集団生活への適応の訓練を行う児童発達支援の実利用者数(一月あたり)		339	人	地域健康福祉室 障害福祉担当
地域子育て支援拠点事業利用者数	子育て世帯が交流できる場を確保する地域の子育て支援拠点事業の利用者数		69,400	人	私立保育幼稚園課
児童虐待に関する相談件数	家庭児童相談における児童虐待に関する相談件数		—	件	子どもの育ち見守りセンター
児童虐待に関する相談窓口を知っている市民の割合	(市民意識調査により把握)		50	%	—
ひきこもり等に関する相談件数	「ひきこもり等子ども・若者相談支援センター」におけるひきこもり・若者無業者(ニート)等に関する相談件数		—	件	子どもの育ち見守りセンター
ひきこもり等に関する相談窓口を知っている市民の割合	(市民意識調査により把握)		50	%	—
ひとり親家庭の自立支援に関する給付金制度利用者数(累計)	ひとり親家庭を対象とした自立支援教育訓練給付金や高等職業訓練促進給付金の利用者数(累計)		120	人	子どもの育ち見守りセンター

施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち

指標の名称	指標の説明	めざすべき方向	目標値(R5)	単位	担当課
子どもたちへの教育環境が充実していると感じている市民の割合	(市民意識調査により把握)		44.4	%	—
学校の授業時間以外での学習を全くしていないと回答した児童・生徒の割合	(全国学力学習状況調査「児童生徒質問紙調査」により把握)		小3.0 中6.2	%	学校教育室 教育指導担当
学校の授業時間以外に読書を「10分以上」する児童・生徒の割合	(全国学力学習状況調査「児童生徒質問紙調査」により把握)		小66.1 中58.2	%	学校教育室 教育指導担当
国語の授業で目的に応じて自分の考えを話したり書いたりしている児童・生徒の割合	(全国学力学習状況調査「児童生徒質問紙調査」により把握)		小85.3 中88.6	%	学校教育室 教育指導担当
受講した研修内容を授業等に活用している教職員の割合	研修を受講した教職員が各学校園において会議等で伝達したり授業等で実践した割合		100	%	学校教育室 教育研修担当
教員が、児童・生徒一人一人のよい点や可能性を見つけ、児童・生徒に伝えるなど積極的に評価している割合	(全国学力学習状況調査「学校質問紙調査」により把握)		小100.0 中100.0	%	学校教育室 教育研修担当
自分にはよいところがあると回答した児童・生徒の割合	(全国学力学習状況調査「児童生徒質問紙調査」により把握)		小81.9 中70.6	%	学校教育室 教育指導担当
いじめの認知件数	アンケートや児童生徒からの申告等によるいじめの認知件数		—	件	教育支援室 児童生徒支援担当
不登校児童・生徒の割合	不登校児童・生徒数／全児童・生徒数		小0.59 中4.0	%	教育支援室 児童生徒支援担当
子どもが安全な学習環境で学校生活を過ごしていると感じている市民の割合	(市民意識調査により把握)		51.8	%	—
学校施設整備計画に基づく整備率	学校施設整備計画第1次実施計画(前期)に基づく整備済棟数／計画における整備予定棟数		100	%	施設整備室
中学校給食の喫食率	市内19中学校の学校給食の喫食率		50.0	%	おいしい給食課
支援教育に関する専門的な知識・技能を持つ専門家の派遣回数	支援教育に関する専門的な知識・技能を持つ専門家を学校園に派遣した回数		544	回	教育支援室 児童生徒支援担当

施策目標17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち

指標の名称	指標の説明	めざすべき方向	目標値(R5)	単位	担当課
生きがいを持って学び続けられる環境が整っていると感じている市民の割合	(市民意識調査により把握)	↗	32.6	%	—
文化芸術に親しめる環境が整っていると感じている市民の割合	(市民意識調査により把握)	↗	29.6	%	—
気軽にスポーツ活動ができる環境が整っていると感じている市民の割合	(市民意識調査により把握)	↗	34.6	%	—
生涯学習市民センター利用件数	生涯学習市民センター(9施設)の利用件数	↗	65,601	件	文化生涯学習課
図書館来館者数	図書館(中央図書館・分館・分室)の延べ年間来館者数	↗	2,065,279	人	中央図書館
図書館貸出冊数(個人・団体)	図書館(中央図書館・7分館・11分室・自動車文庫)の年間個人・団体貸出冊数	↗	3,960,126	冊	中央図書館
文化施設ホール利用者数	新たに整備する総合文化施設の大・小ホール・イベントホールの年間利用者数 ※総合文化施設の整備までは、現市民会館大ホールの利用者数	↗	229,000	人	文化生涯学習課
スポーツ施設利用者数	体育館・グラウンドなど市立スポーツ施設の年間利用者数	↗	1,179,000	人	スポーツ振興課

施策目標18 人々が集い賑わい、魅力あふれる中心市街地のあるまち

指標の名称	指標の説明	めざすべき方向	目標値(R5)	単位	担当課
枚方市駅周辺が賑わい、魅力あふれる中心市街地であると感じている市民の割合	(市民意識調査により把握)	↗	47.6	%	—
枚方市駅利用者の市域人口に対する割合	枚方市駅の乗降客数(1日当たり)／市域人口	↗	—	%	市駅周辺等まち活性化部
枚方市駅周辺の広場におけるイベント参加者数	枚方市駅周辺の岡東中央公園や岡本町公園で開催されたイベントの参加者数	↗	210,000	人	観光交流課

施策目標19 地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち

指標の名称	指標の説明	めざすべき方向	目標値(R5)	単位	担当課
市の観光資源が生かされ、人々の交流が盛んに行われていると感じている市民の割合	(市民意識調査により把握)	↗	24.2	%	—
旧田中家鋳物民俗資料館等と学校教育との連携行事参加者数	旧田中家鋳物民俗資料館及び枚方宿鍵屋資料館の市内小学校の団体入館者数及び資料館職員が市内小学校に出向いて行う出前講座の受講者数	↗	5,150	人	文化財課
観光ステーション利用者数	市内の観光情報の発信や枚方のオリジナルグッズを扱うひらかた観光ステーションにおける購入者数	↗	35,000	人	観光交流課
市と大学との連携事業に参加した市民の人数	ひらかた市民大学・子ども大学探検隊に参加した市民の人数	↗	410	人	文化生涯学習課
市と大学との連携事業に参加した学生数	イベントの開催など市と市内大学との連携事業に参加した学生数	↗	2,900	人	企画政策課

施策目標20 いきいきと働くことのできるまち

指標の名称	指標の説明	めざすべき方向	目標値(R5)	単位	担当課
市内での産業活動が活発に行われていると感じている市民の割合	(市民意識調査により把握)	↗	25.7	%	—
地域就労支援センター相談者等のうち就労に結びついた人数	地域就労支援センター相談者及び合同企業就職面接会参加者のうち実際に就労に結びついた人数	↗	109	人	商工振興課
就労支援対象者(生活保護受給者・生活困窮者)のうち就労に結びついた人数	生活保護受給者及び生活困窮者のうち就労支援事業及び「就労支援ひらかた(ハローワークコーナー)」において実際に就労に結びついた人数 ※生活困窮者への就労支援はH27年度から実施。また「就労支援ひらかた」はH27年4月に開設	↗	220	人	地域健康福祉室 健康福祉総合相談担当

施策目標21 地域産業が活発に展開されるまち

指標の名称	指標の説明	めざすべき方向	目標値(R5)	単位	担当課
【再掲】 市内での産業活動が活発に行われていると感じている市民の割合	(市民意識調査により把握)		25.7	%	—
地域産業基盤強化奨励金を受けて、新規立地及び設備投資した件数(累計)	地域産業基盤強化奨励金制度の認定を受けて、市内の産業集積地域において製造業事業者が新規立地や設備投資を行った件数(累計)		24	件	商工振興課
地域活性化支援センターにおける経営相談の件数	地域活性化支援センターにおける経営相談の件数		259	件	商工振興課
市の創業支援を受けて創業した件数	地域活性化支援センターにおける創業支援や地域資源を活用した新規事業支援により創業した件数		31	件	商工振興課
市内企業が市の支援を受けて各種展示会の出展に取り組んだ件数	市内企業が市の支援を受けて各種展示会に出展し販売拡大に取り組んだ件数		20	件	商工振興課
商店街が市の支援を受けて活性化に取り組んだ件数	商店街が市の支援制度を活用して活性化に取り組んだ件数		34	件	商工振興課
市内民営事業所数	市内の全民営事業所数(経済センサス-基礎調査より)		—	事業所	商工振興課

施策目標22 農を守り、生かすまち

指標の名称	指標の説明	めざすべき方向	目標値(R5)	単位	担当課
農地が保全されるなど、「農」を守り、生かされていると感じている市民の割合	(市民意識調査により把握)	↗	26.6	%	—
エコ農産物認証申請栽培面積	農薬の使用回数や化学肥料の使用量など一定基準を満たすエコ農産物認証を申請して、認証された面積	↗	6,900	アール	農業振興課
市内各所での「ふれあい朝市」の開催回数	枚方市駅周辺をはじめとした市内各所での「ふれあい朝市」の開催回数	↗	800	回	農業振興課
認定農業者及び認定新規就農者	農業経営基盤強化促進法に基づき本市が認定した農業者数(意欲的な担い手である「認定農業者」と新規に農業を開始した「認定新規就農者」)	↗	10	人	農業振興課
農業ふれあい体験者数	地元農家が育てた野菜などを収穫する農業ふれあいツアーの体験者数	↗	5,500	人	農業振興課
食農体験学習実施校数	地元農家の指導により植え付けから収穫までを連続的に体験する食農体験学習を実施した小学校数	↗	21	校	農業振興課

施策目標23 豊かな自然環境を大切にすまち

指標の名称	指標の説明	めざすべき方向	目標値(R5)	単位	担当課
里山や農地などの豊かな自然環境が保全されていると感じている市民の割合	(市民意識調査により把握)	↗	43.2	%	—
森林ボランティア育成講座修了者数(累計)	森林ボランティア育成講座の受講者のうち規定の日数に出席し修了証を取得した人数(累計)	↗	393	人	農業振興課
里山保全活動団体の活動日数	東部地域で活動する里山保全活動団体の年間活動日数	↗	4,412	日	農業振興課
緑地面積	都市公園やそれに準じる施設、緑地保全地域などの法律や条例などで土地利用を管理して確保する緑地など、将来にわたって確保される可能性の高い担保性のある緑地面積	↗	1,521	ha	みち・みどり室
東部地域の緑被率	第二京阪道路以東の地域におけるみどりで被われた土地の面積の割合	→	77.9	%	みち・みどり室

施策目標24 まちなかのみどりを育てるまち

指標の名称	指標の説明	めざすべき方向	目標値(R5)	単位	担当課
普段の生活の中でみどりとふれあえると感じている市民の割合	(市民意識調査により把握)		51.4	%	—
街路樹延長距離	市道の緑化済道路延長距離		35,700	m	道路河川整備課
【再掲】 緑地面積	都市公園やそれに準じる施設、緑地保全地域などの法律や条例などで土地利用を管理して確保する緑地など、将来にわたって確保される可能性の高い担保性のある緑地面積		1,521	ha	みち・みどり室
まちなかの緑被率	第二京阪道路以西の地域におけるみどりで被われた土地の面積の割合		29.7	%	みち・みどり室

施策目標25 ごみを減らし、資源の循環が進むまち

指標の名称	指標の説明	めざすべき方向	目標値(R5)	単位	担当課
ごみ減量や資源循環が進んでいると感じている市民の割合	(市民意識調査により把握)		49.8	%	—
市民1人当たりのごみの排出量	ごみの排出量(一日あたり)／人口		823	g	減量業務室
ごみの資源化率	資源化できたごみの量／ごみの排出量		23.1	%	減量業務室
新たなごみ処理施設整備の進捗状況	(工程管理により把握) 京田辺市との広域連携による新たなごみ処理施設整備の進捗状況	整備完了 (H35予定)	建設工事着手	—	環境政策室

施策目標26 安全で良好な生活環境が確保されたまち

指標の名称	指標の説明	めざすべき方向	目標値(R5)	単位	担当課
安全で良好な生活環境が確保されていると感じている市民の割合	(市民意識調査により把握)		45.5	%	—
環境基準(大気・水質・騒音)の達成状況	環境監視による大気・水質・騒音の環境基準達成度		100	%	環境指導課
産業廃棄物の不適正処理に関する通報に対する処理完了率	産業廃棄物の不適正処理に関する通報のうち処理が完了した件数／通報件数		100	%	環境指導課
耐震性能を有する水道管路の割合	耐震性能を有する水道管路延長距離／水道管路延長距離		26.6	%	上水道管理課
公共下水道(汚水)の人口普及率	公共下水道整備人口／行政人口		97.4	%	汚水整備課、経営戦略室
生活排水の適正処理率	生活排水の処理人口(公共下水道接続人口＋合併処理浄化槽処理人口等)／行政人口		97.3	%	環境指導課

施策目標27 地球温暖化対策に取り組むまち

指標の名称	指標の説明	めざすべき方向	目標値(R5)	単位	担当課
地球温暖化対策の取り組みが進んでいると感じている市民の割合	(市民意識調査により把握)		29.0	%	—
公共建築物における太陽光発電量	公共建築物における太陽光発電の総出力		1,270	kW	環境政策室
市民1人当たりの市内の二酸化炭素排出量	市内の二酸化炭素排出量／人口		5.82	t-CO2	環境政策室

施策目標28 美しく魅力あるまち並みが育まれるまち

指標の名称	指標の説明	めざすべき方向	目標値(R5)	単位	担当課
まちの美化が進んでいると感じている市民の割合	(市民意識調査により把握)	↗	42.6	%	—
継続して環境美化活動を行う市民団体数	公共場所(駅前・道路・公園等)の美化活動を行う市民活動団体(アダプトプログラム登録団体)数	↗	257	団体	環境政策室、みち・みどり室
修景補助を受けた建物の件数(累計)	歴史的景観保全地区において市からの修景補助を受けた建物修景件数(累計)	↗	56	件	住宅まちづくり課
景観アドバイザーより助言を受けた件数(累計)	建築等に関する計画を進める際に、景観アドバイザーより助言を受けた件数(累計)	↗	48	件	住宅まちづくり課

計画推進1 市民との情報の共有化を進めます

指標の名称	指標の説明	めざすべき方向	目標値(R5)	単位	担当課
行政からの情報発信が充実していると感じている市民の割合	(市民意識調査により把握)	↗	37.9	%	—
行政に対し意見を言う場が確保されていると感じている市民の割合	(市民意識調査により把握)	↗	18.8	%	—
市ホームページの年間ユーザー数	市ホームページを年度内に1回以上利用したユーザー数	↗	3,720,000	件	広報プロモーション課
粗大ごみ戸別収集のインターネット予約受付率	粗大ごみ戸別収集のインターネット予約受付件数／粗大ごみ戸別収集の予約受付件数	↗	49.5	%	減量業務室
住民票等のコンビニ交付件数	住民票・印鑑証明書・課税証明書のコンビニ交付件数	↗	35,000	件	市民室
市政モニターの年間平均回答者数	市政モニターを対象としたアンケートの年間平均回答者数	↗	385	人	広聴相談課

計画推進2 市民による活発なまちづくり活動を支援します

指標の名称	指標の説明	めざすべき方向	目標値(R5)	単位	担当課
市民によるまちづくり活動が活発であると感じている市民の割合	(市民意識調査により把握)	↗	26.1	%	—
自治会等加入世帯率	自治会等に参加している世帯数／全世帯数	↗	72.2	%	市民活動課
市内NPO、ボランティアの団体数	ひらかた市民活動支援センター、サプリ村野NPOセンター及び枚方市ボランティアセンターの登録団体数	↗	797	団体	市民活動課
特定非営利活動法人(NPO法人)の法人数	市内にのみ事務所を有する特定非営利活動法人(NPO法人)の認証を受けている法人数	↗	128	法人	市民活動課

計画推進3 持続可能な行財政運営を進めます

指標の名称	指標の説明	めざすべき方向	目標値(R5)	単位	担当課
人件費の割合	歳出総額における人件費の割合(普通会計)	↘	14.5	%	人事課
行財政改革プラン2020(R2～5)の進捗率	行財政改革プラン2020に掲げる「取り組み課題」の達成項目数／「取り組み課題」の項目数	↗	100	%	行革推進課
健全化判断比率	地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき算定する実質赤字比率・連結実質赤字比率・実質公債費比率・将来負担比率	↘	実質赤字比率:なし 連結実質赤字比率:なし 実質公債費比率: ▲0.1以下 将来負担比率:なし	—	財政課
個人情報の漏えい防止等セキュリティに関する研修参加率	個人情報の漏えい防止等セキュリティに関する職員対象の研修参加者数/全職員	↗	100	%	ICT戦略課
職員研修受講者の理解度	研修受講職員を対象に実施する事後アンケートにおいて、理解度を測る設問(5段階)に対して「よく分かった」「分かった」を選択した職員の割合	↗	100	%	人事課

計画推進4 自治体間の広域連携や地方分権の推進を図ります

指標の名称	指標の説明	めざすべき方向	目標値(R5)	単位	担当課
複数の自治体との取り組み件数	複数の自治体と共同で行っている取り組み件数	↗	10	件	企画政策課
大阪府からの権限移譲事務数(累計)	大阪府から権限移譲を受けた事務数(累計)	↗	36	件	企画政策課

枚方市SDGs相対表	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																	
01 災害に対する備えができていますまち						●					●		●				●
02 災害時に、迅速・的確に対応できるまち			●								●		●				●
03 暮らしに身近な安全が確保されたまち											●					●	●
04 安全で快適な交通環境が整うまち			●						●		●						
05 快適で暮らしやすい環境を備えたまち									●		●						●
06 誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち		●	●														●
07 公衆衛生や健康危機管理が充実したまち			●														
08 安心して適切な医療が受けられるまち			●														●
09 高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち			●					●			●						●
10 障害者が自立し、社会参加ができるまち			●	●				●			●						●
11 すべての人がお互いの人権を尊重しあうまち				●	●					●						●	
12 男女がともに参画し、個性を発揮できるまち				●	●			●		●							
13 平和の大切さを後世に伝えるまち				●												●	
14 安心して妊娠・出産できる環境が整うまち		●	●														
15 子どもたちが健やかに育つことができるまち	●	●	●	●				●								●	●
16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			●	●						●	●					●	●
17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち			●	●							●						●
18 人々が集い賑わい、魅力あふれる中心市街地のあるまち								●	●		●						●
19 地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち				●				●		●	●						●
20 いきいきと働くことのできるまち	●		●	●	●			●		●							●
21 地域産業が活発に展開されるまち								●	●								●
22 農を守り、生かすまち		●						●									●
23 豊かな自然環境を大切にすまち		●				●					●	●			●		●
24 まちなかのみどりを育てるまち											●				●		●
25 ごみを減らし、資源の循環が進むまち									●		●	●		●			●
26 安全で良好な生活環境が確保されたまち						●					●	●		●			
27 地球温暖化対策に取り組むまち							●				●	●	●				●
28 美しく魅力あるまち並みが育まれるまち											●	●			●		●
29 市民との情報の共有化を進めます									●							●	●
30 市民による活発なまちづくり活動を支援します											●						●
31 持続可能な行財政運営を進めます											●					●	●
32 自治体間の広域連携や地方分権の推進を図ります																	●